

博 多 VII

— 博多遺跡群第28次発掘調査報告 —

福岡市埋蔵文化財調査報告書第147集

1987

福岡市教育委員会

福岡市報告書 第147集 博多VII 正誤表

頁	行	題	正
神田目次	Fig. 23	Ⅴ号・5号小石灰壁	4号・5号小石灰壁 (1:30)
神田目次	Fig. 30	中世石垣外壁SK2001、SK2002、 (1:40)	中世石垣外壁SK2001、SK2002、 SK2003土灰 (1:40)
神田目次	Fig. 32	2 SK339	2 SK338
神田目次	Fig. 41	2 SK333	2 SK338
神田目次	Fig. 44	SK095土灰	SK095土灰
神田目次	Fig. 45	SK124土灰	SK124土灰
神田目次	Fig. 46	中石造物	中石造物
神田目次	Fig. 48	中世陶器群 (写真)	中世陶器群 (写真) (1:2, 1:3, 1:4)
神田目次	Fig. 54	磨削土器実測図 (1:3)	磨削土器 (実測)
神田目次	Fig. 57	磨削土器 (写真)	磨削土器 (1:3)
神田目次	Fig. 59	中世瓦礫	中世瓦礫 (1:3)
神田目次	Fig. 60	中世瓦礫陶器 (1:3)	中世瓦礫陶器 (1:3)
神田目次	Fig. 61		
神田目次	Fig. 62		
神田目次	Fig. 63		
神田目次	Fig. 64		
神田目次	Fig. 65		
神田目次	Fig. 66		
神田目次	Fig. 67		
神田目次	Fig. 68		
神田目次	Fig. 69		
神田目次	Fig. 70		
神田目次	Fig. 71		
神田目次	Fig. 72		
神田目次	Fig. 73	近世瓦実測図 (1:3)	近世瓦の瓦頭 (写真)
神田目次	Fig. 74	Fig. 72 近世瓦実測図 (1:3)	Fig. 74 近世瓦実測図 (1:3)
神田目次	Fig. 74		
神田目次	Fig. 75		
神田目次	Fig. 76		
神田目次	Fig. 77		
神田目次	Fig. 78		
神田目次	Fig. 79		
神田目次	Fig. 80		

頁	行	題	正
本文		Fig. 1 神の浜・博多祇の地形 概要図 (約1/10,000)	博多追跡印跡群地図及び地形図元 版 (1:10,000)
本文	27	放てて	放てて
本文	13 Fig. 15	(縮尺700)	(1/700)
本文	9	SK-325	SK336
本文	16 Fig. 17		Fig. 18
本文	27 36	3~45m	3~4.5m
本文	28 Fig. 30	SK001、SK002、SK025土灰	SK001、SK002、SK025土灰
本文	35	F37	Fig. 37
本文	43 10	前業	前業
本文	43 15	瓦障	瓦障
本文	43 21	漆元	漆元
本文	53 感應鉄鉱	1715朱玉か?	感應土器実測図 (1:2, 1:3)
本文	54 Fig. 55	磨削土器実測図 (1:3)	SK370
本文	64 15	SK371	1
本文	73 4	206	1~45
本文	73 4	1~4	40~43
本文	73 5	9	45~50
本文	73 5	他の唐草文のよう	地むら唐草文のよう
本文	73 5	それらの墨花文は	それらの墨花文は
本文	73 7	9	48
本文	73 7	8	47
本文	73 7	11	50
本文	75 4	跡をとられた	跡をとられた
本文	75 79	約40cm	約40cm
本文	75 27	周縁部、後に	周縁部、後に
本文	75 29	小口込みと斜面	小口込みと斜面
本文	91 領域番号	Fig. 70	Fig. 70
本文	120 2	遺物	遺物

P77中正誤		Tab. 2-①	
遺物番号	出土場所	遺物番号	出土場所
9	SK319	9	SK378
10	SK319	10	SK378
12	SK322	12	SK328
15	SK363	15	SK382
30	SK379	30	SK378
35	SK379	35	SK318
53	SK321	53	SK320
72	SK354	72	SK353

P78中正誤		Tab. 2-②	
遺物番号	出土場所	遺物番号	出土場所
85	SK325	85	SK323
95	SK331	95	SK330
104	SK328	104	SK327
105	SK375	105	SK374
106	SK336	106	SK335

P80中正誤		Tab. 2-③	
番 号	出土場所	番 号	出土場所
40	SK367	40	SK304

P83中正誤		Tab. 4-①	
遺物番号	出土場所	遺物番号	出土場所
21	SK336	21	SK335
25	SK356	25	SK355

P84中正誤		Tab. 4-②	
遺物番号	出土場所	遺物番号	出土場所
70	SK349	70	SK349

P86中正誤		Tab. 5-①	
番 号	経行日	番 号	出土場所
29	29	29	29
29	29	29	29

P88中正誤		Tab. 5-②	
番 号	経行日	番 号	経行日
40	TE水道区 井戸上に「文」	40	TE水道区 井戸上に「文」

P90中正誤		Tab. 6-①	
番 号	出土場所	番 号	出土場所
53	SK384	53	SK383
54	SK384	54	SK383

P95中正誤		Tab. 6-②	
施設番号	時期	施設番号	時期
102号	近世	102号	中世 少し遅めより繋け 込まれたみたみ

P99中正誤		Tab. 6-⑦	
施設番号	期 号	施設番号	期 号
122号	井戸の土 盛り	122号	16~古の土の上 あり

P114中正誤		Tab. 6-⑩	
施設番号	期 号	施設番号	期 号
406号	井戸の 盛り	406号	20000の盛り

博多 VII

— 博多遺跡群第28次発掘調査報告 —

福岡市埋蔵文化財調査報告書第147集

遺跡番号 HKT 調査番号 8508



作業風景

昭和62年3月31日

福岡市教育委員会



前方後円墳の葺石（II区）



中近世の造構検出状態（I区）



博多道路群周辺航空写真

序 文

福岡都市圏の中核として躍進する博多は、弥生時代以来、大陸文化流入の門戸として栄えてきており、特に中世においては日本の対外交渉の拠点として繁栄した都市であります。

近年、再開発による高層ビル化がすすむなかで継続的に発掘調査がすすめられ、古代～中世の「博多」の姿がしだいに明らかになりつつあります。

本書に概要を収めた第28次調査は、博多の中心部から南寄りの古砂丘頂上部に位置しています。中世都市「博多」に関連する数多くの遺構・遺物のほかに、前方後円墳や奈良・平安時代の遺物も多く出土しており、福岡平野の歴史を考えるうえで貴重な資料をうることができました。本書が調査・研究の場で活用されるとともに、埋蔵文化財保護に対する認識と理解の一助となれば幸いです。

発掘調査にあたり、ご指導・ご助言をいただいた諸先生、関係者、及び工事関係者各位に深甚なる謝意を表します。

昭和62年3月31日

福岡市教育委員会

教育長 佐藤善郎

例　　言

1. 本書は、博多地区の再開発ビル建設に伴い、福岡市教育委員会が昭和60年度(1985)に実施した緊急発掘調査の報告書である。
2. 本書の執筆はつぎのとおりである。
　　I、II、IV — 井沢洋一　III — 1. 井沢　2. 米倉秀紀・井沢　3. 井沢
　　4. 山崎龍雄・井沢・常松幹雄　5. 井沢・常松・山崎
付編　1. 池田洋子　2. 中橋孝博
3. 本書に掲載する遺構実測図は、井沢、山崎龍雄、常松幹雄、米倉秀紀、吉留秀敏、加藤良彦、谷沢仁、清原ユリ子が作成した。遺構の整図は井沢、池田による。
4. 遺物実測図は、井沢洋一、米倉秀紀が分担して行い、拓本については山本久美、墨書き器について古賀由美子が担当した。整図は井沢、池田による。
5. 遺構一覧表は、池本幸子、里尾真理による。青銅器・鉄製品一覧表は東豊子による。
6. Fig. 3 図は博多 X の図面を利用した。
7. 本書に掲載した遺構写真は各調査担当者が撮影し、遺物については井沢、藤美代子、池田が撮影・焼付を行った。
8. 本書で用いる方位は磁針方位である。
9. 本書で使用する遺構の呼称は記号化した。すなわち溝—S D、土壙—S K、井戸—S E、古墳—S Oとする。
10. 本書の編集は常松、米倉の助言を得て井沢が行った。

本　文　目　次

I章 はじめに.....	1
II章 遺跡の立地と概要.....	2
III章 調査の記録.....	7
付編　1. 博多遺跡群出土の鏡について.....	118
2. 6号講検出の人骨について.....	121

挿 図 目 次

Fig. 1	博多遺跡群調査地点及び地形復元図(1:10,000)	1
Fig. 2	博多遺跡群周辺の遺跡(1:5,000)	2
Fig. 3	『石城志』所載の博多古図	3
Fig. 4	博多近隣古図(天文9年—1812年)	4
Fig. 5	博多遺跡群第28次調査位置図(1:1,500)	5
Fig. 6	第28次調査地全景 ①Ⅰ区、②Ⅱ区	6
Fig. 7	博多遺跡群第28次調査構造配置図(1:300)	折り込み
Fig. 8	第28次調査地周辺の環境	7
Fig. 9	Ⅰ・Ⅱ区東西横断土層図(1:80)	8
Fig. 10	Ⅰ・Ⅱ区土層図(1:80)	9
Fig. 11	弥生式土器実測図(1:3)	10
Fig. 12	北側周溝土層状態(1:60)	11
Fig. 13	前方後円墳実測図(1:350)	11
Fig. 14	前方後円墳部及び葺石 ①北側裾部の状態	12
	②Ⅱ区葺石F群検出状態	12
Fig. 15	前方後円墳復元図(1:700)	13
Fig. 16	前方後円墳葺石実測図(1:60)	14
Fig. 17	埴輪及び古墳時代遺物	15
Fig. 18	埴輪実測図(1:4)	16
Fig. 19	埴輪実測図(1:4、1:3)	17
Fig. 20	葺石上面の埴輪出土状態	18
Fig. 21	1号～3号小石室(1:30)	19
Fig. 22	小石室墓 ①1号小石室、②2号小石室、③3号小石室	20
Fig. 23	4号・5号小石室墓	21
Fig. 24	6号・7号小石室墓、S R 001(1:30)	22
Fig. 25	4号小石室	22
Fig. 26	小石室墓 ①5号小石室、②6号小石室、③7号小石室	23
Fig. 27	古墳時代の遺物実測図(1:3)	24
Fig. 28	律令時代の遺物	25
Fig. 29	奈良・平安時代の遺物実測図(1:3)	26
Fig. 30	中世石組井戸S E 001、S E 002(1:40)	28

Fig. 31	石組井戸 ①S E 001、②S E 002.....	29
Fig. 32	井戸検出状態 ①S E 061、②S K 339、③S E 047・S E 052	30
Fig. 33	S D 01～S D 03溝土層図(1:30、1:60).....	31
Fig. 34	溝SD 02 ①SD 02、北から ②SD 02土層断面の状態.....	32
Fig. 35	溝SD 02-05 ①SD 02土層断面の状態 ②③SD 05土層図(1:30)、 ④SD 05土層断面の状態.....	33
Fig. 36	溝SD 05・06 ①SD 06(西から) ②SD 06 人骨出土状態図(1:60) ③SD 06、SD 07 土層断面図(1:60)	34
Fig. 37	SD 06溝 動物骨出土上状態.....	36
Fig. 38	溝出土遺物(1:3、1:4).....	37
Fig. 39	S K 061土壤実測図(1:30).....	38
Fig. 40	S K 291(1:30).....	39
Fig. 41	円形土壙検出状態 ①SK 266、②SK 383、③SK 291	39
Fig. 42	瓦敷実測図及び写真(1:60)	40
Fig. 43	SK 092土壤(1:30).....	41
Fig. 44	SK 065土壤(1:30).....	42
Fig. 45	SK 127土壤出土遺物実測図(1:3)	44
Fig. 46	中世遺物実測図(1:3、1:4).....	45
Fig. 47	中石遺物実測図(1:3、1:4).....	46
Fig. 48	中世陶磁器(写真).....	47
Fig. 49	中世陶磁器(写真).....	48
Fig. 50	中世遺物実測図(1:3、1:4).....	49
Fig. 51	中世陶磁器(写真).....	51
Fig. 52	中世陶磁器(写真).....	52
Fig. 53	中世遺物(写真).....	53
Fig. 54	墨書き土器実測図(1:3).....	54
Fig. 55	墨書き土器実測図(1:2).....	55
Fig. 56	墨書き土器実測図(1:2).....	56
Fig. 57	墨書き土器(写真).....	57
Fig. 58	墨書き土器(写真).....	58
Fig. 59	中世瓦類(写真).....	59
Fig. 60	中世瓦類実測図(1:3).....	60
Fig. 62	近世遺構の集合状態.....	63

Fig. 62	瓦井戸実測図(1:40)	64
Fig. 63	瓦井戸検出状態 ①SE 004 ②SE 007 ③SE 006	65
Fig. 64	SE 059井戸(1:40).....	65
Fig. 65	石組遺構(SX 01)(1:60)	66
Fig. 66	近世陶磁器.....	67
Fig. 67	近世陶磁器(写真).....	68
Fig. 68	近世陶磁器(写真).....	69
Fig. 69	近世遺物(写真).....	70
Fig. 70	近世墨書き土器.....	71
Fig. 71	近世墨書き土器及び底部銘(写真).....	72
Fig. 73	近世瓦実測図(1:3).....	74
Fig. 72	近世の瓦類(写真).....	73
Fig. 74	中近世の青銅製品.....	81
Fig. 75	中近世の青銅器・鉄製品.....	82
Fig. 76	中近世の貨幣拓本(1:1).....	87
Fig. 77	近世の貨幣拓本(1:1).....	88
Fig. 78	貨幣写真.....	91
Fig. 79	貨幣写真.....	92

表 目 次

Tab. 1	溝一覧表.....	61
Tab. 2	墨書き土器一覧表.....	77
Tab. 3	青銅製品一覧表.....	79
Tab. 4	鉄製品一覧表.....	83
Tab. 5	貨幣一覧表.....	85
Tab. 6	遺構(土壤・井戸)一覧表.....	92

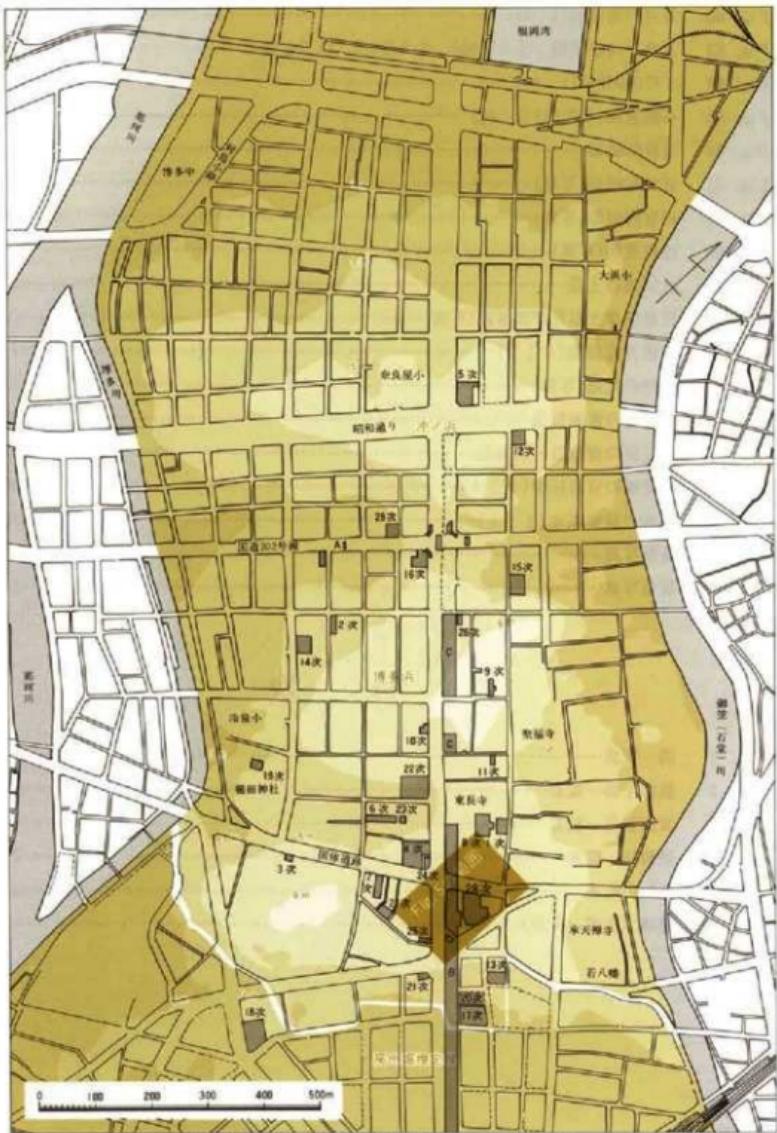


Fig. 1 沖ノ浜・博多浜の地形復元案（約1/10,000） 数字は調査次数を表す

- A 朝霞町工区調査区（地下鉄開通）
- B 店屋町・祇園町・博多駅前工区調査区（地下鉄開通）
- C 都市計画道路（博多駅～祇園橋）拉幅部調査区

I章 はじめに

1. 調査に至る経過

那珂川と御笠川の二大河川によって形成された福岡平野の、博多湾に面した地域には古砂丘が形成されており、特に那珂川と御笠川に挟まれた古砂丘は、狭義の「博多」と言われる地域でもある。近年の博多における再開発は、市営地下鉄の営業開始と共に著しく道路整備やビルの高層化等の開発は目白押しである。こうした開発に伴う遺跡の発掘調査は現在までに35次を数える。遺跡は弥生時代から近世に及ぶが、調査の主目的となるのは中世博多の都市景観の復元であろう。今回の発掘調査は西鉄ビル建築に伴うもので昭和60年5月22日から8月31日までの期間に発掘調査を実施した。調査地の地番は福岡市博多区紙園町1番である。対象面積は2,343m²であるが、安全対策の一環として整地等を行ったため、実際の調査面積は1,745m²である。

2. 調査の組織

調査委託 西日本鉄道株式会社

調査主体 福岡市教育委員会文化部埋蔵文化財課

庶務担当 折尾学（埋蔵文化財第1係長） 真高憲雄（埋蔵文化財第2係長）

松延好文

調査担当 井沢洋一、山崎龍雄、常松幹雄、米倉秀紀

調査補助 谷沢 仁、池田洋子

調査協力 山本一男、高浪信夫、熊本義徳、広田熊雄、神尾順次、吉住作美、野中辰雄
山雲義住、大内士郎、中村界平、横井久雄、吉岡田鶴子、松井フユ子、松井邦子、
井上真寿美、有富いつ子、平井和子、佐藤テル子、庄野崎ヒデ子、清原百合子、坂口フミ子、後藤ミサヲ、板倉文子、西尾たつよ、柴田勝子、宮原邦江、門司弘子、緒方マサヨ、金子由理子、堀川ヒロ子、尾畠信江、菱原幸江、徳永ノブヨ、北原ヒサ子、松尾キミ子、柴田ツネト、萬スミヨ、三島博子、野田文香、児玉美由紀、磯崎忍、早弓友子、広松秀子、吉内素子、安田ひろ子

整理作業 大内士郎、池本幸子、東豊子、里屋真理、山本久美、斎藤恭子、古賀由美子、
内藤紀美子、岸田久美、瀬戸公美子、内村明子、坂本淳子、岸川ひろみ、松永みどり、岩崎泰子

なお、今回の発掘調査にあたっては、施主の西日本鉄道株式会社にご理解とご協力を賜った。又、埋蔵文化財課の吉留秀敏、加藤良彦の各氏に協力を得たことを記し、深く感謝する次第である。

II章 遺跡の立地と環境

福岡平野は東に三都山地が、南から西にかけては背振山地が横たわり、北方には博多湾が広がる面積約2406m²の沖積平野である。この平野は平尾丘陵（標高100mの鴻ノ巣山）によって東部は狭義の福岡平野と西部の早良平野に分かれる。狭義の福岡平野は那珂川と御笠川の二大河川によって形成されるが、博多湾に面した地域には砂堆が発達しており、これらが袖ノ濱の北側にあった息浜（沖ノ浜）と袖ノ濱の南側の博多浜と言われる古砂丘に相当する。いずれも地形上、博多の町割りの基盤であり、且つ海外交易という経済活動の中心地域である。又、この地域が埋蔵文化財として保存対象とする中・近世の「博多」でもある。

現存する博多古図の多くは18世紀以後の作成とされている。したがって、それらは古代から中世の地形を忠実に写したものとは言いがたい。中山平次郎は『古代乃博多』のなかで、「博多古図なるものは、『筑前国続風土記』に依て啓発された旧地形に関する考案の上に、諸事蹟に対する自家の見解を記入したもの」と述べている。これまでの博多古図に共通しているのは、博多の町が入海を挟んで北側の息浜（沖の浜）と南側の櫛田神社や聖福寺、承天寺のある一帯（博多浜）に分かれていることである。また、『石城志』の古図では、比恵川が石堂川と流れを一にしているのだが、『伏敵編』や住吉神社の絵馬によると、比恵川は承天寺の南側を西に、冷泉津に注いでいるなど、異なっている部分もある。



Fig. 2 博多周辺の遺跡 (1/50,000)

1. 博多第28次調査 2. 瑞穂遺跡 3. 比恵遺跡
4. 鴻臚館跡 5. 莽崎宮 6. 聖福寺 7. 櫛田神社

古図によると、息浜と博多浜をつなぐ4mの等高線の付近（呉服町交差点）は、何れも入海となっており、より西側にかけられた橋によって結ばれていたことになっている。ところが地下鉄関係の調査では、この地点に杭・板・石で土留された南北方向の側溝や、それに直交する溝や木積築、井戸も検出されている。^{註3}ここでの遺構最下面の時期は、青磁が殆どなく白磁のみが卓越する11世紀後半から12世紀初頭に比定されるという。平清盛が大宰大式となったのは保元2年(1157)のことだが、この時期には少なくとも息浜と博多浜は地続きになっていたのである。

博多浜のなかにも、石堂川沿いには菅崎宮を氏神とする町々がある。これは比恵川の流れをかえて石堂川とする以前からの慣習とも言われている。ともかく比恵川は、かつて承天寺の南北緯35度45分を通り冷泉津へ流れていたことはほぼ間違いないようである。明治13年の地図にも、溝状の流れが記されており、若八幡の南側や住吉1丁目にある湾曲する道路にその形跡を止めているようだ。また、この溝は元龜のはじめ（1570頃）大友氏の武将、臼杵安房守鑑廣が博多防衛のために掘らせたという房州堀にも大筋で一致するようである。

以上、博多の現況図から旧地形の推定を試みた結果、第28次調査区の位置、いわゆる博多浜の南東部に位置した旧町割の南界に近い部分として捉えられる。

(常松・井沢)

《注》

1. 中山平次郎著、岡崎敬校閲『博多古図』「古代の博多」 九州大学出版会 1984年
 2. 高さの基準は東京滴の平均海面(T.P.)である。
 3. 折尾学、池端義也、本郷朝子「中世の博多—発掘調査の成果から一」『古代の博多』 九州大学出版会 1984年
 4. 井上純二『博多・座土神』『福岡・博多の町名』 萩原市都市計画局 1982年
 5. 吉永正春「房州屋と金穴門」 ふくおか歴史散歩 第二巻 1987年

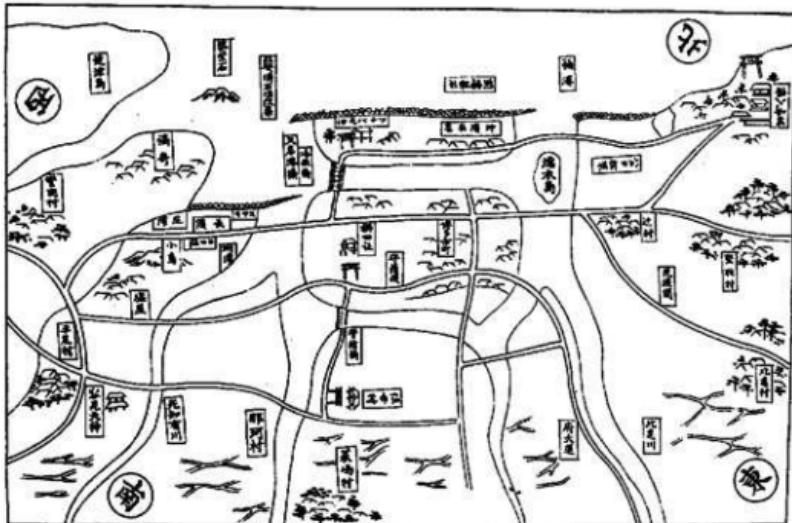


Fig. 3 「石城志」所載の博多古図

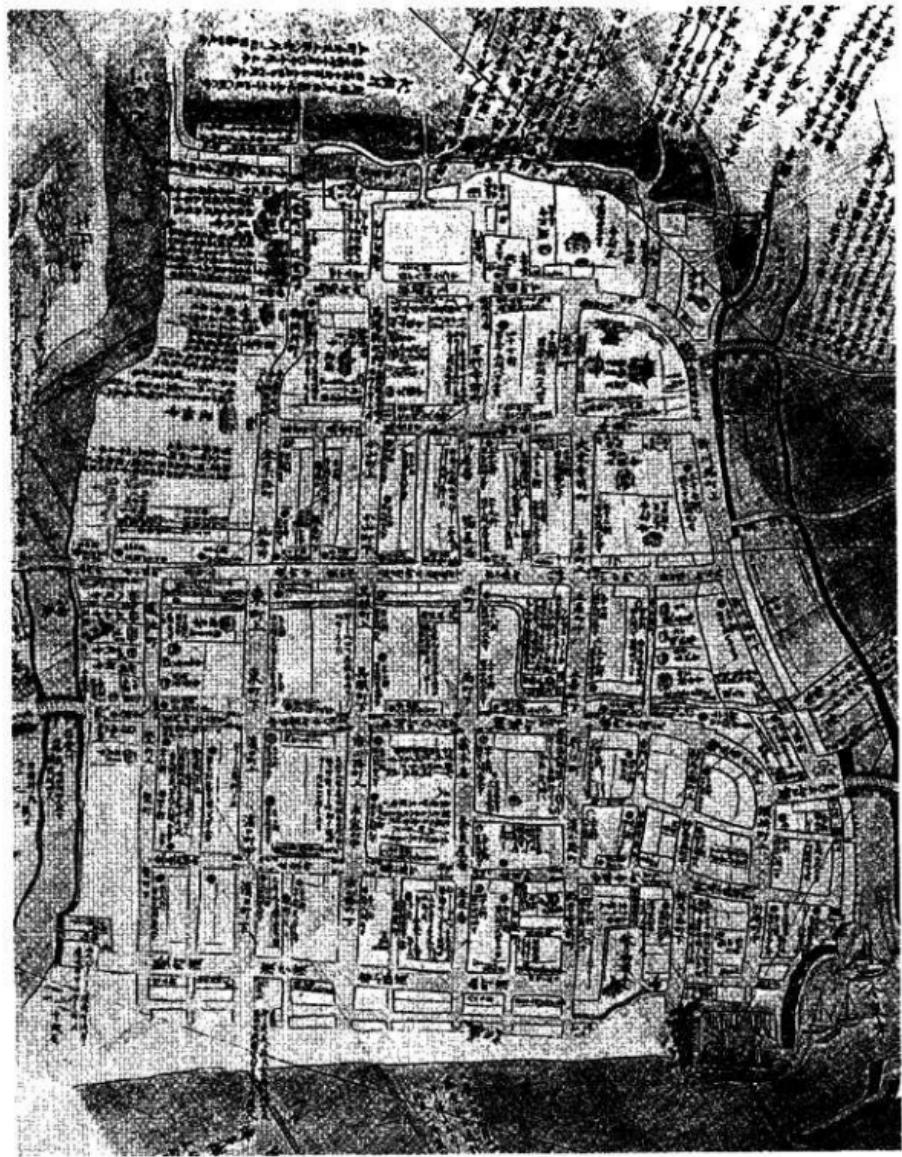


Fig. 4 播多近隣古図（天保 9 年 - 1812 年）

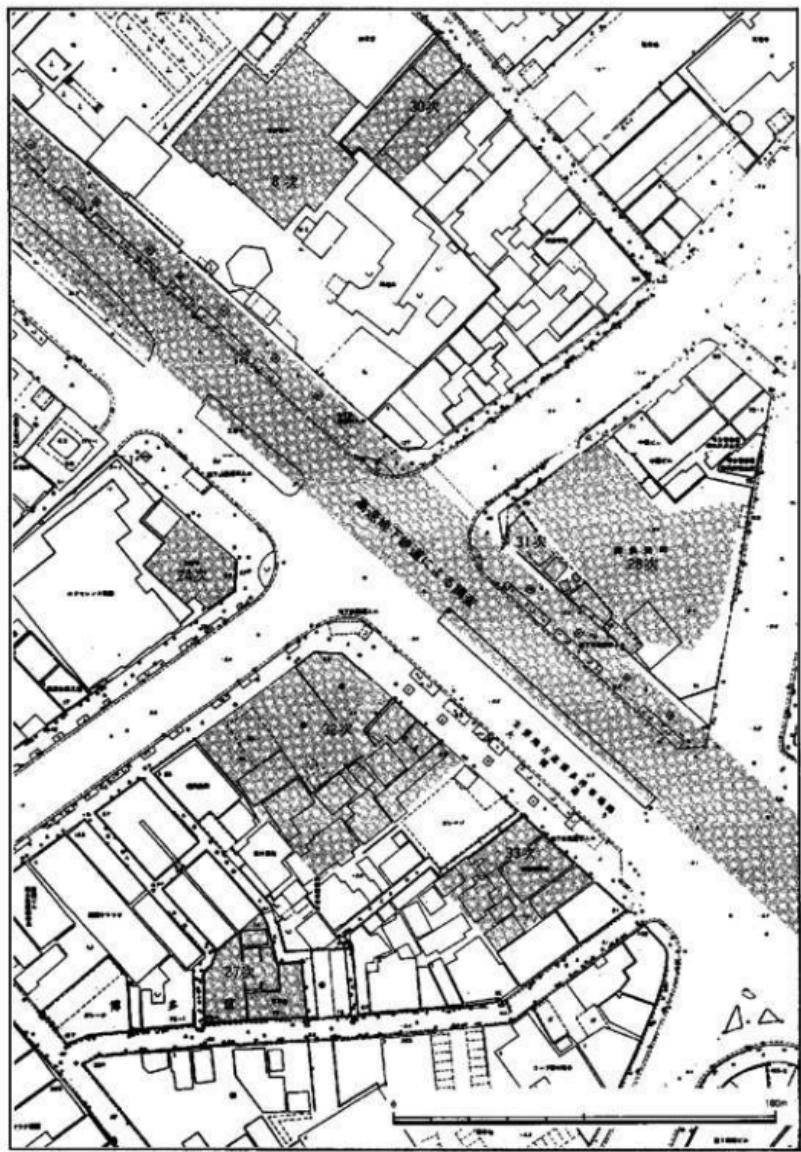


Fig. 5 博多遺跡群第28次調査位置図 (1/1,500)



①



②

Fig. 6 第28次調査地全景 ①Ⅰ区 ②Ⅱ区

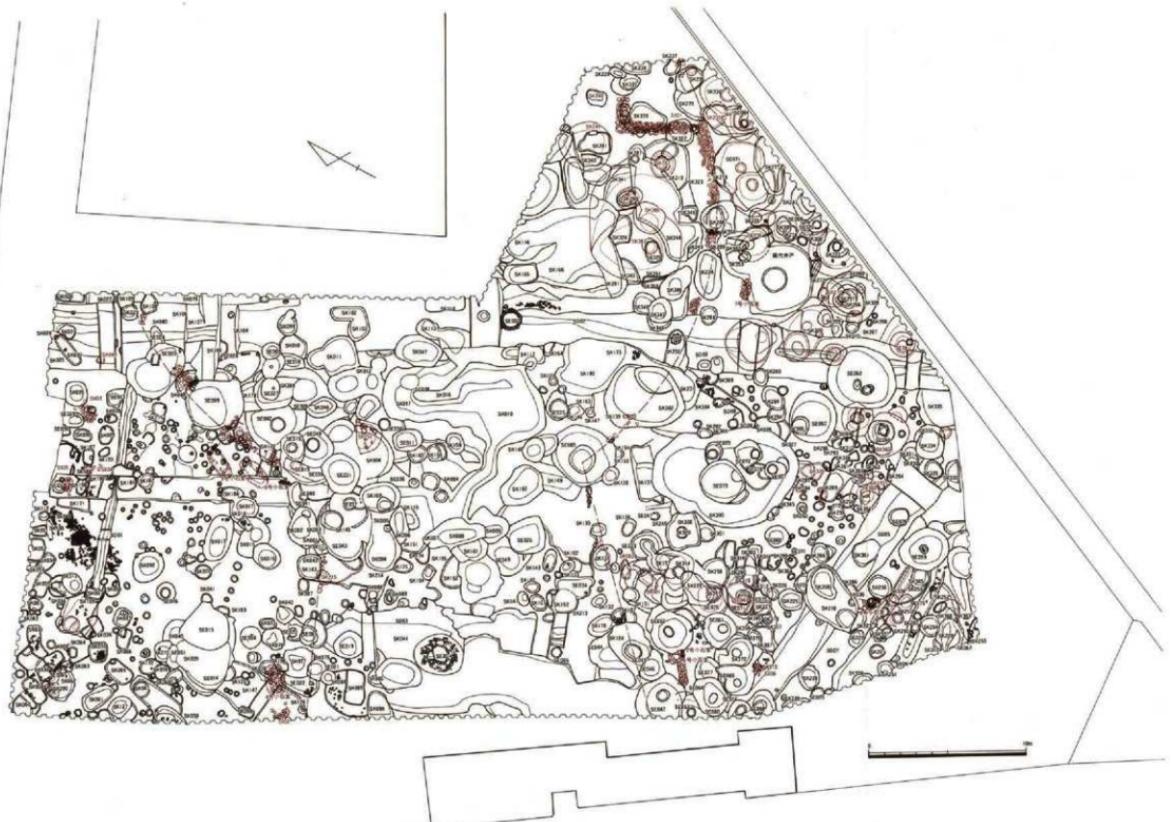


Fig. 7 第28次調査道構配図 (1/300)

III章 調査の記録

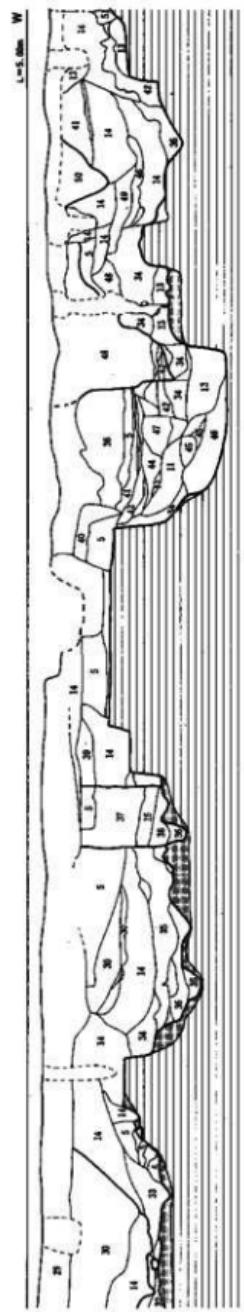
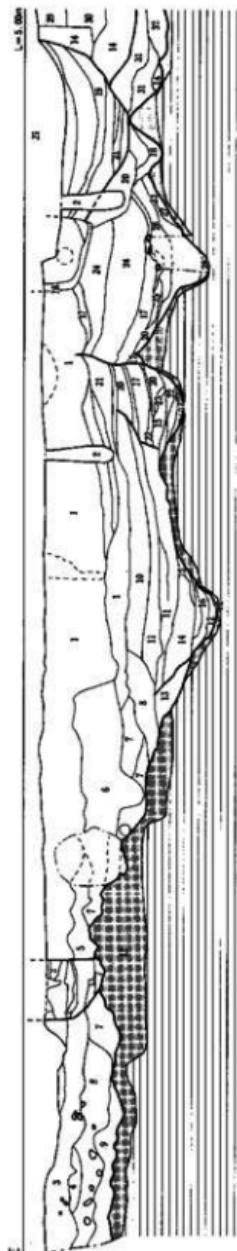
1. 調査の概要

博多遺跡群の発掘調査は福岡市高速鉄道建設に伴う発掘調査を端緒として、周辺の再開発に伴う調査の結果、数々の成果を得ている。博多の町が古砂丘上に立地していることは明きらかであるが、当該調査地はこの砂丘上、標高 5.2 m を測る博多浜の砂丘頂上部に位置する。この調査区の北側、26次調査地点との比高差は約 2 m、南側一博多駅方向の17次調査地との比高差は約 1 m を測る。調査は施主・施工者との協議の結果、調査に先行して地表下約 1.5 m の深さに表土を除去・排出しており、この結果、地表面からの土層状態及び各時代の遺構面の観察が不可能になると共に、中世遺構の形状、規模などの把握が困難な状況になった。調査では排水の関係から、調査区を南北の二区（I・II区）に分け、北側の I 区より調査を開始した。発掘調査に先立っては、調査区の表面が荒れていたため、再度表土の除去を行った。I 区の現地表下約 2 m では焼土層を伴う硬く叩き締められた面を検出したため、この面を第 1 面として調査に着手した。I 区の北側は整地層、版築層が存在するが、この版築層は北方の呂服町方向へ深くなる。南側は既に黄褐色・黃白色の地山砂層が表出しておらず、II 区ではこれらの砂層面は南側へ下る。I 区の北側では、弥生時代から中世に及ぶと思われる数面の遺構面を把握したが、期間の関係上調査は断念した。古墳の葺石を検出した I 区の東側から II 区地域においては中世遺構を完全に撤去し、古墳の全形把握に努めた。検出した遺構は、土壙 386 基、井戸 86 基、溝



Fig. 8 第26次調査地周辺の環境

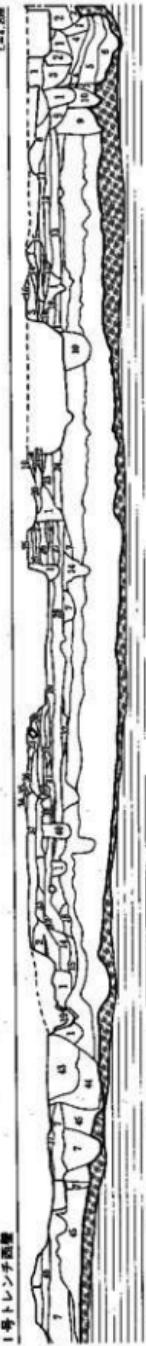
8 条、前方後円墳 1 基、小石室 7 基、土壤墓 2 基、炉跡 2 基である。古墳時代・奈良・平安時代～近世に及ぶが、圧倒的に近世の遺構が主体を占める。土壙の内、井戸の可能性をもつものが多いが、教えて土壙として報告する。
(井沢)



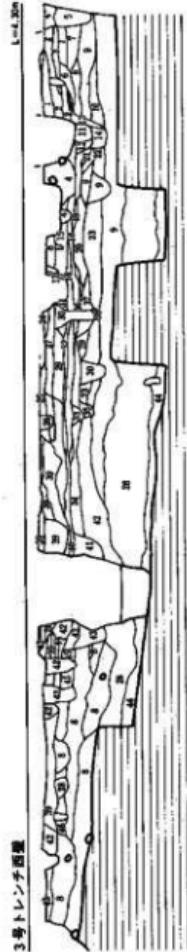
- 調査区域西方の土層断面
1. 黄褐色砂岩(赤色を含む)
 2. 黄褐色砂岩(赤色を含む)
 3. 黄褐色土層
 4. 黄褐色砂質土層
 5. 黄褐色風化物とそれを含む
 6. 黄褐色砂質土
 7. 黄褐色砂質土
 8. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 9. 黄褐色砂質土(白色を含む)
 10. 白色砂質土
 11. 黄褐色砂岩
 12. 黄褐色砂岩(風化物を含む)
 13. 黄褐色砂岩(風化物を含む)
 14. 黄褐色砂岩(風化物を含む)
 15. 黄褐色砂岩(風化物を含む)
 16. 黄褐色砂質土
 17. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 18. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 19. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 20. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 21. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 22. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 23. 黄褐色砂質土
 24. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 25. 黄褐色砂質土
 26. 黄褐色砂質土
 27. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 28. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 29. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 30. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 31. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 32. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 33. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 34. 黄褐色砂質土
 35. 黄褐色土層(赤色を含む、風化物を含む)
 36. 黄褐色土層(赤色を含む、風化物を含む)
 37. 黄褐色土層(赤色を含む)
 38. 黄褐色土層(赤色を含む)
 39. 黄褐色土(風化物を含む)
 40. 黄褐色土(風化物を含む)
 41. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 42. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 43. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 44. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 45. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 46. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 47. 黄褐色砂質土(風化物を含む)
 48. 黄褐色土(風化物を含む)
 49. 黄褐色土層(風化物を含む)
 50. 黄褐色土層(風化物を含む)
 51. 黄褐色土層(風化物を含む)

Fig. 9 I-II区東西横断土層図 (1/80)

1号トレンチ西壁



3号トレンチ西壁



1号トレンチ西壁土壌名鑑

1. 地下水位が深く、上層部は砂質土の混合層
2. 地下水位が深く、成化物を含む
3. 地下水位が深く、成化物を含む、底土を含む
4. 地下水位が深く、成化物を含む、底土を含む
5. 地下水位が深く、成化物を含む
6. 地下水位が深く、成化物を含む
7. 地下水位
8. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
9. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
10. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
11. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
12. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
13. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
14. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
15. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
16. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
17. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
18. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
19. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
20. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
21. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
22. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
23. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
24. 地下水位と成化物土の混合層(成化物を含む)
25. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
26. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
27. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
28. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
29. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
30. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
31. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
32. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
33. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
34. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
35. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
36. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
37. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
38. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
39. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
40. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
41. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
42. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
43. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
44. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
45. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)
46. 成化物土と成化物土の混合層(成化物を含む)

Fig. 10 I・II区土層図 (1/80)

2. 弥生時代の遺構と遺物

調査期間の部上、この時代の遺構については精査することができなかった。弥生時代の遺物は全て包含層、又は整地層、中世の土壤内より出土したものである。調査区周辺では17次調査にて後期の住居跡を、35次調査では中期の住居跡を検出している。今回の遺物には弥生時代中期から終期終末までの土器の他、磨製石斧も出土している。

3は丹塗り土器であるが、当調査区の西側一帯に甕棺墓が存在することを考え合わせれば、祭祀又は甕棺に利用された土器と考えられよう。

(井沢)

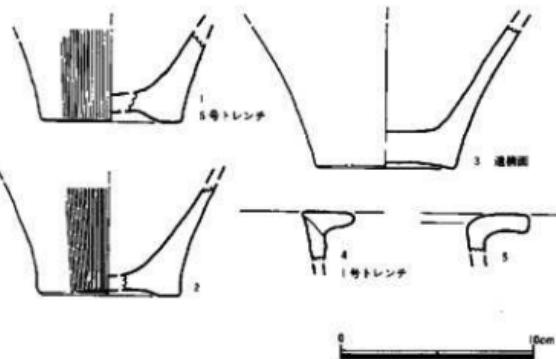


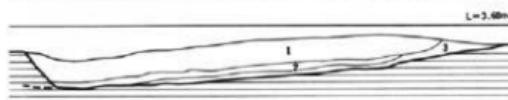
Fig. 11 弥生式土器実測図 (1/3)

3. 古墳時代の遺構と遺物

古墳時代の遺構は、前方後円墳1基、小石室墓7基、土壙(墓)2基である。これらの遺構に伴った遺物は極めて少なく、前方後円墳から埴輪片、小石室墓から鉄製刀子、須恵器片、土師器片が出土しただけで、いずれも現位置を離れている。ただし中・近世の遺構内や調査区北側の整地層内から埴輪、須恵器、土師器、管玉などが出土している。

1) 前方後円墳（博多第1号墳）

前方後円墳は調査区のほぼ中央にあり、主軸をN-50°40'-E近くにとる。前方部・後円部とも調査区外に伸び、前方部ラインの延長は隣接する第31次調査区西端で確認されている。横丘は後世の削平のためほとんど遺存せず、わずかに基底部葺石の一部のみが断続的に残っているにすぎない。葺石の残存部分は、前方部に4カ所ある。いずれも墓石部分のみしか残存しておらず、必ずしも現位置か疑問が残るが、第31次調査区の成果を考えると、大きな位置のズレはない。後円部は大きく見て7カ所に分けられ、北から反時計回りにA~Gの名を付すと、B-E-Fの3群は配列に乱れがなく、ほぼ原形を保っているものと思われる。石材は玄武岩・花崗岩を多



- 土壤名称
 1. 黒褐色細砂層
 2. 1に白色粉を少しきむ
 3. 黒褐色細砂に白色細砂
 のブロックを含む層

Fig. 12 北側周溝土層状態 (1/60)

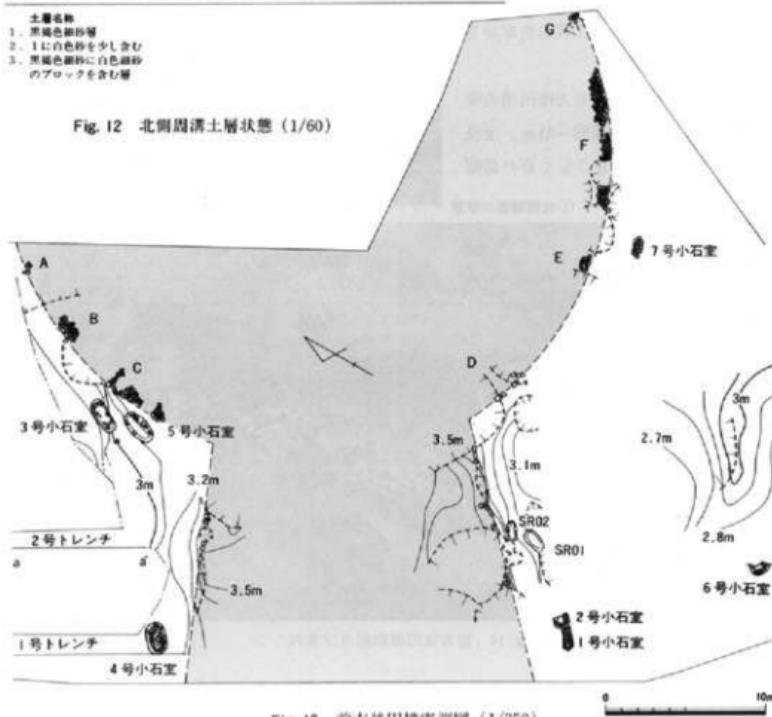


Fig. 13 前方後円墳実測図 (1/350)

く使用する。墓石は長さ40~50cm程度の角礫を用い、その上に長さ10~30cm程の角礫・円礫をぎっしり詰める。墳丘裾部の立ち上がり角度は約22°である。墓石下の墳丘は大きく3層に分かれ、墓石直下の第Ⅰ層が暗茶褐色砂層で腐食砂層である。第Ⅱ層は黄色砂層で炭化物を含む。第Ⅲ層は黄白色砂層である。第Ⅰ層は旧表土と考えられ、少なくともこの面から下は地山整形を行っている。その高さは約1.5m以上を測る。墳裾レベルは、墓石の下で見ると、後円部はほぼ標高3.3mを測り、前方部は3.5~3.6mとやや高い。

周濠部分も後世の造構や擾乱によってかなり不明確ではあるが、全体のコンターや墳丘南側の地形変換ラインの存在等から標高2.6~2.7mを底とし、くびれ部からの幅12m以上を測る周濠の存在が考えられる。周濠内の覆土は3層に分かれ、第Ⅰ層は黒褐色細砂でもっとも厚い。第Ⅱ層はⅠ層に黄白細砂のブロックを含み、第Ⅲ層は第Ⅱ層よりさらに黄白色細砂を多く含む。

以上の諸点を総合し、前方後円墳の原形を考えれば、後円部径38~41m、全長56m以上(60~65cm位か?)、くびれ部幅



①北側堆部の状態

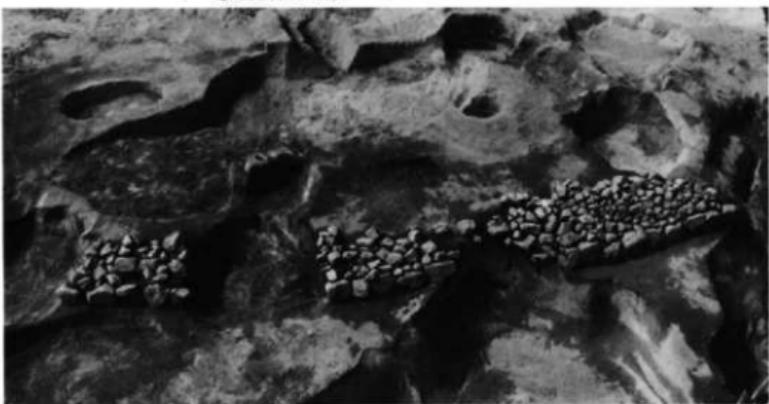


Fig. 14 前方後円墳裾部及び墓石

②II区墓石F群検出状態



Fig. 15 前方後円墳復元図（縮尺700）

13~17m、前方部幅24m以上、くびれ部付近における周濠幅50m以上程度であろう。また残存する葺石の傾斜角から、他の前方後円墳に比べて高さが低かったものと思われる。これは地山及び盛土が砂であったため、必然的なものであろう。

内部主体については完全に破壊されているため全く推測の域を出ないが、後述する7号小石室において、赤色顔料を施した安山岩の板石数枚が用いられており、前方後円墳の石室材であった可能性がある。

2) 前方後円墳出土遺物

前方後円墳に伴った出土遺物は、埴輪片及び数点の土器片のみである。中・近世遺構から出土したものも含めて、埴輪片はコンテナ約5箱出土している。またSK-325からは碧玉製管玉

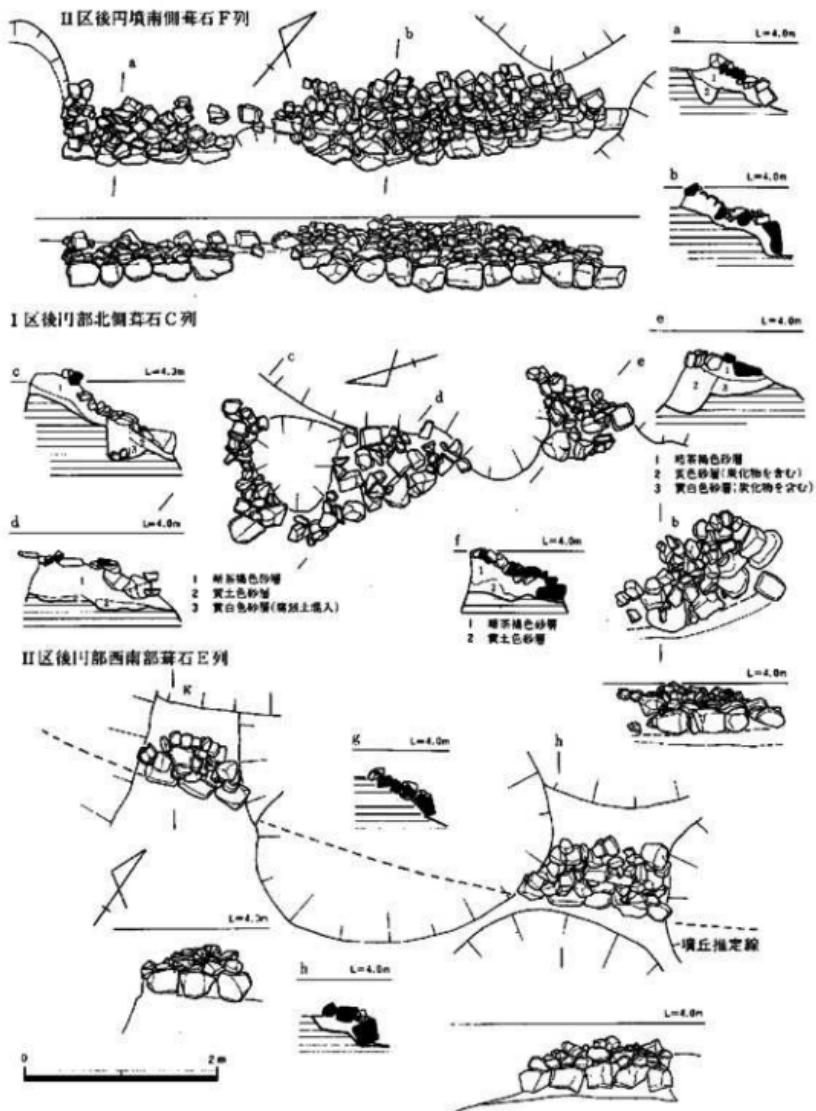


Fig. 16 前方後円墳墓石実測図 (1/60)

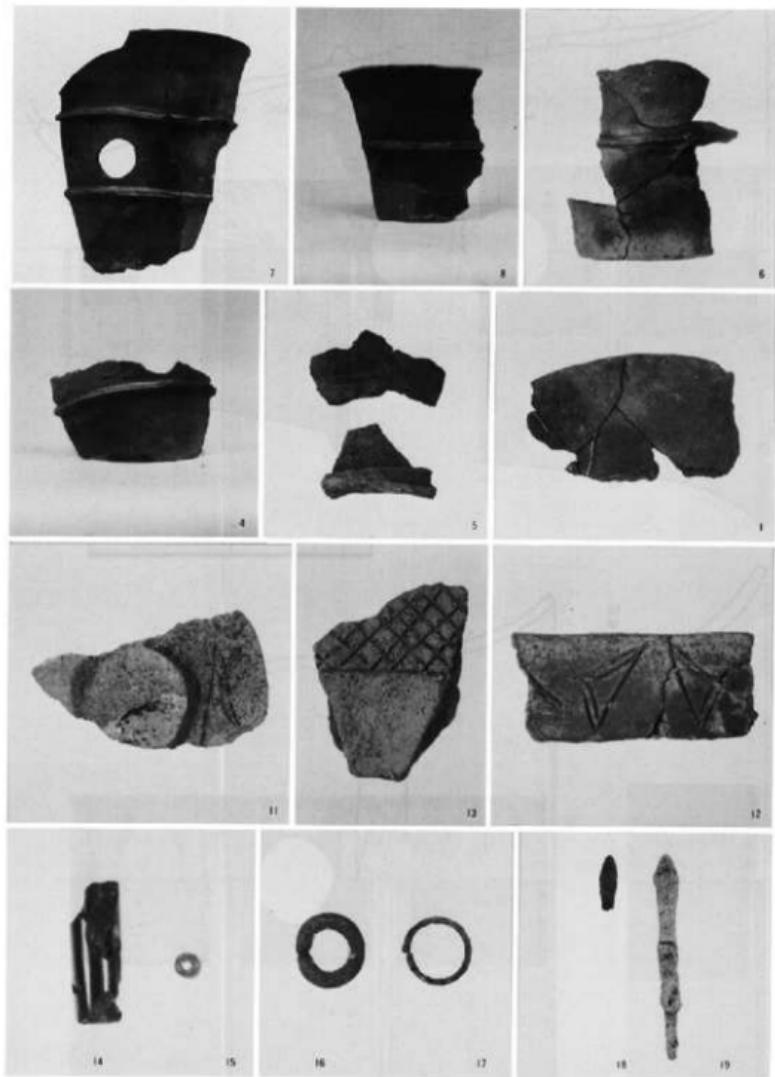


Fig. 17 墓輪及び古墳時代遺物

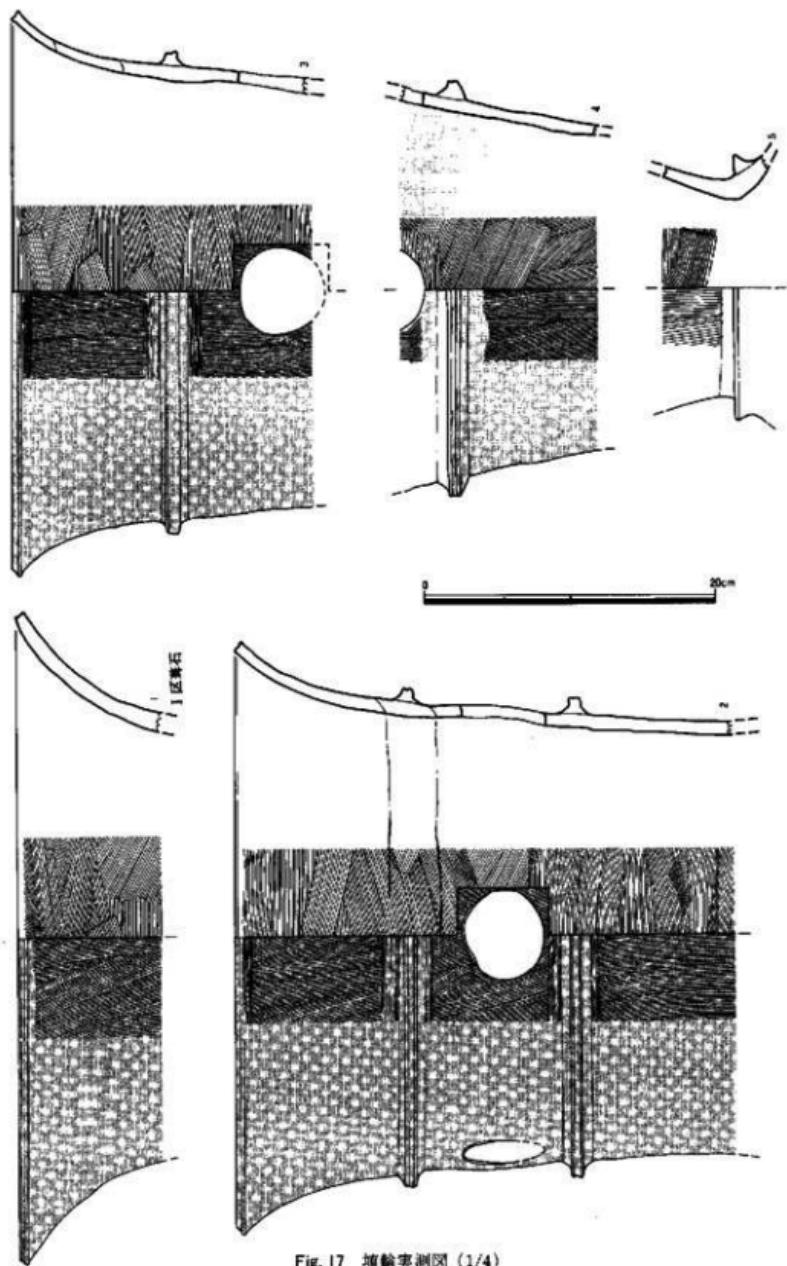


Fig. 17 墓輪実測図 (1/4)

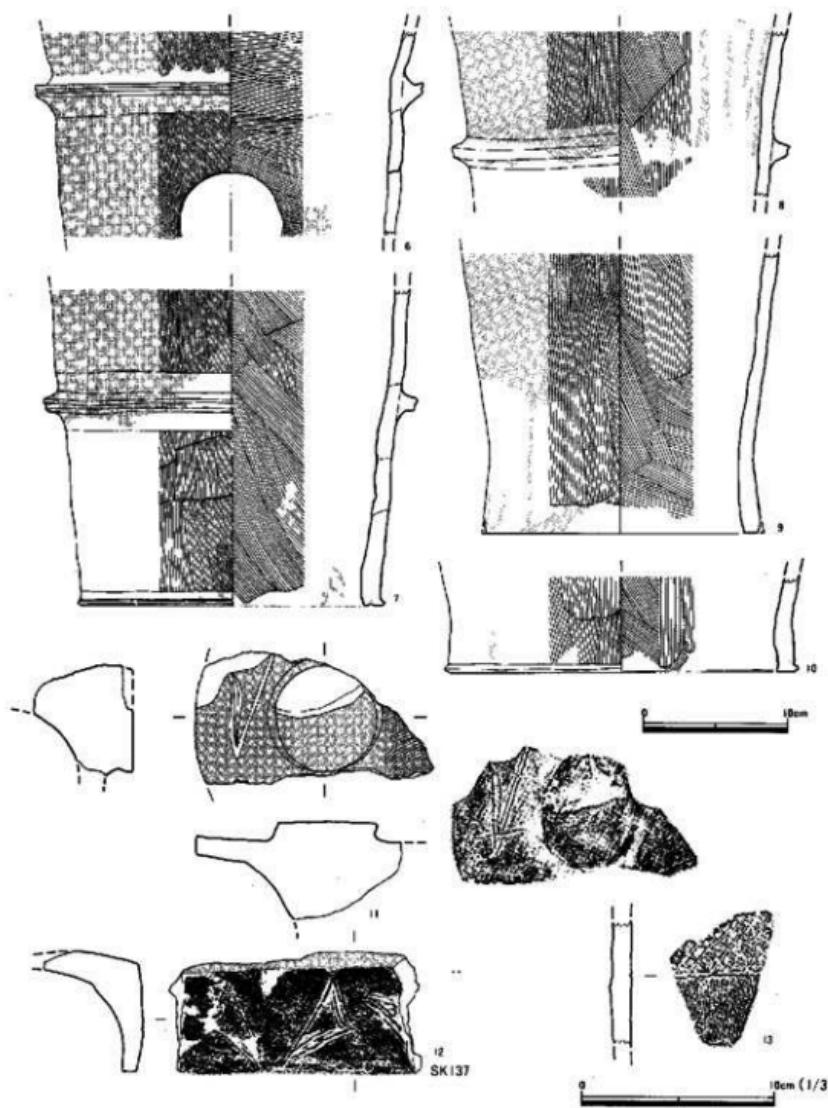


Fig. 19 地輪実測図 (1/4, 1/3)

片が1点出土している。これらのうち土師器は小片のうち実測し得ず、ここでは埴輪についてのみ述べる。

出土した埴輪は、1・2号小石室周辺からは大破片が、後円部北側蓋石上からは小片がまとまって出土した以外は、小片が各地点から出土している。円筒埴輪は完形に近いものがないため、全体の器形はわからないが、透し穴の位置等から凸帯4段のものが多いと思われる。2~4・7・8は円筒埴輪（1部朝顔形のものに含むかもしれない）片で、凸帯の断面形は台形に近いM字凸帯である。外面調整はタテハケのみ、内面調整は各方向のハケの他接合部を中心に指ナデ・ナデである。調整は全体的にやや難で、ハケ調整の結果できた凹凸が著しい。赤色顔料はほとんどの破片に塗布されており、凸帯一段目以下には、赤色顔料が垂れ下がっているものが多い。口径35~40cm、底径19~21cmを測る。

1・5・6は朝顔形円筒埴輪で、口縁部及び頸部の破片である。基本的には円筒埴輪と同じ作りであるが、頸部片のうち赤色顔料を塗付していないものもある。1は口縁部片で口径45cmを測る。全面に赤色顔料を塗布する。形象埴輪は十数点出土したが、実測可能なものは3点にすぎない。その3点も小片のため、何の形象埴輪か判然としない。いずれも赤色顔料を塗布する。



Fig. 20 葬石上面の埴輪出土状態

2) 小石室墓 (S O)

小石室墓は7基検出したが、いずれも前方後円墳壠部近くに位置し、壠丘に沿うように配置し

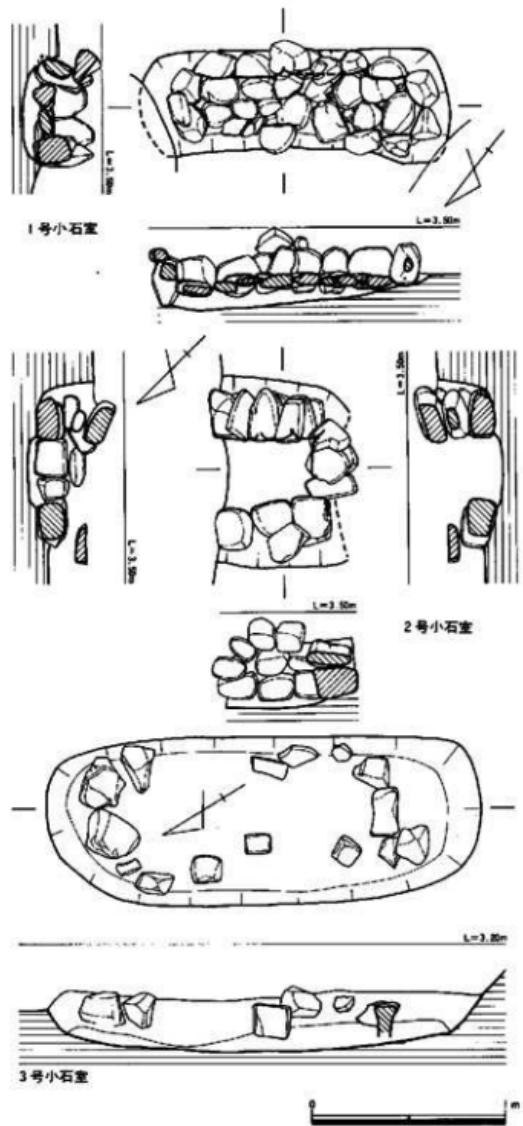


Fig. 21 1号～3号小石室 (1/30)

ている。完存している石室はないが、1・4号小石室は比較的残りが良い。掘り方プランはいずれも長方形を呈する。石材は前方後円墳蓋石とほぼ同じサイズの花崗岩を用いており、蓋石を転用したものと思われる。後世の掘乱のため不明瞭なものもあるが、掘り込んだ面は、3・5号小石室は周溝埋没後で他の石室も同様であろう。以下、各石室について簡単に述べる。

1号小石室 (Fig. 21・22)

前方部南側で検出した。掘り方は長さ1.56m、幅0.60mを測る。石室は一番下の段のみがほぼ遺存し、長さ2.24m 幅0.72mを測る。石室小口部にはそれぞれ2石を、側壁には6～7石を用いる。床面にはやや扁平な礫を敷いている。

2号小石室 (Fig. 21・22)

1号小石室の東側にあり、掘り方を1号小石室に切られる。SE-052によって東側が破壊され、西側の下3段のみ遺存している。掘り方幅は0.98m、石室幅は0.36mを測る。壁面はすべて丸味を帯びた角礫を小口積みにして構築されている。



① 1号小石室



② 2号小石室



Fig. 22 小石室墓

③ 3号小石室

3号小石室 (Fig. 21・20)

後円部北側のくびれ部付近で検出した。掘り方の長さ2.23m、幅0.96mを測る。石材は少なく、両小口部、及び側壁の一部にのみ石材が認められた。木棺墓であろうか。

4号小石室 (Fig. 23・25)

前方部の北側、調査区西端近くで検出した。7基の中でもっとも良好に遺存する。掘り方の長さ1.94m、幅1.26m、石室の長さは1.24m、幅0.5mを測る。最下段は大ぶりの礫を用い、小口部はそれぞれ1石、側壁は北側4石、南側6石から成る。2段目以上は長さ20~30cm、幅10~20cm程度の礫を小口積みにする。

5号小石室 (Fig. 23・26)

3号小石室の南で検出した。掘り方の長さ2.18m、幅1.08mを測る。石材は側壁の一部にのみ認められ、又、礫は掘り方に密着しており、他の石室とは異なる。南側小口部から刀子状の鉄製品片が出土した。木棺墓の可能性あり。

6号小石室 (Fig. 24・26)

前方部の南側やや離れたところで検出した。残存状況が悪いため判然としないが、小口部のみが遺存しているもの

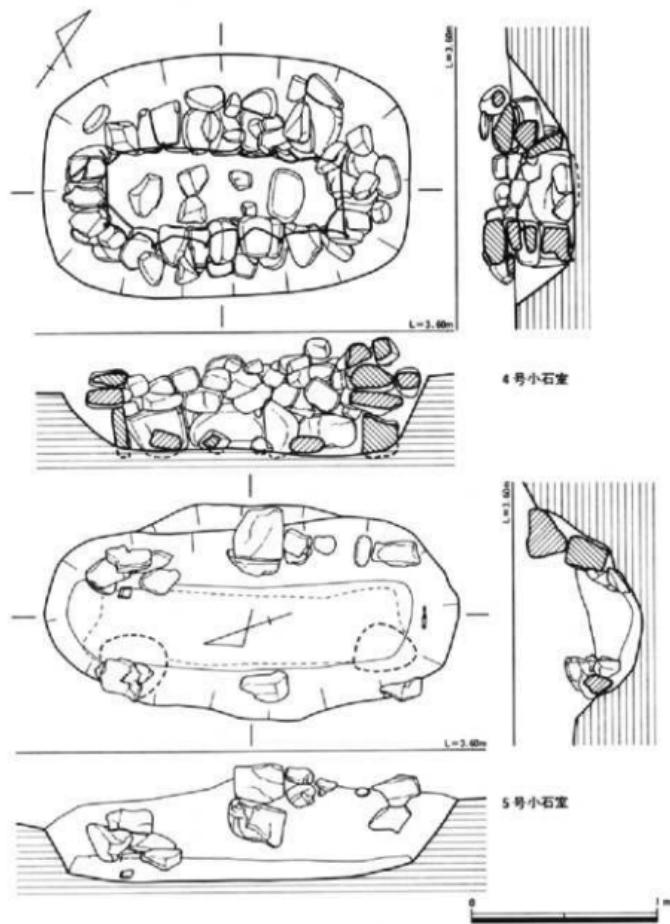
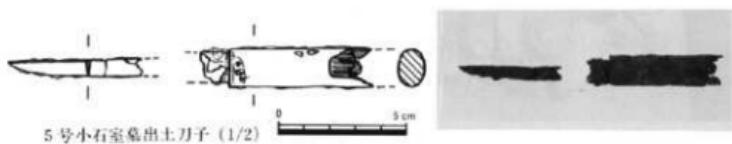


Fig. 23 4号・5号小石室墓 (1/30)



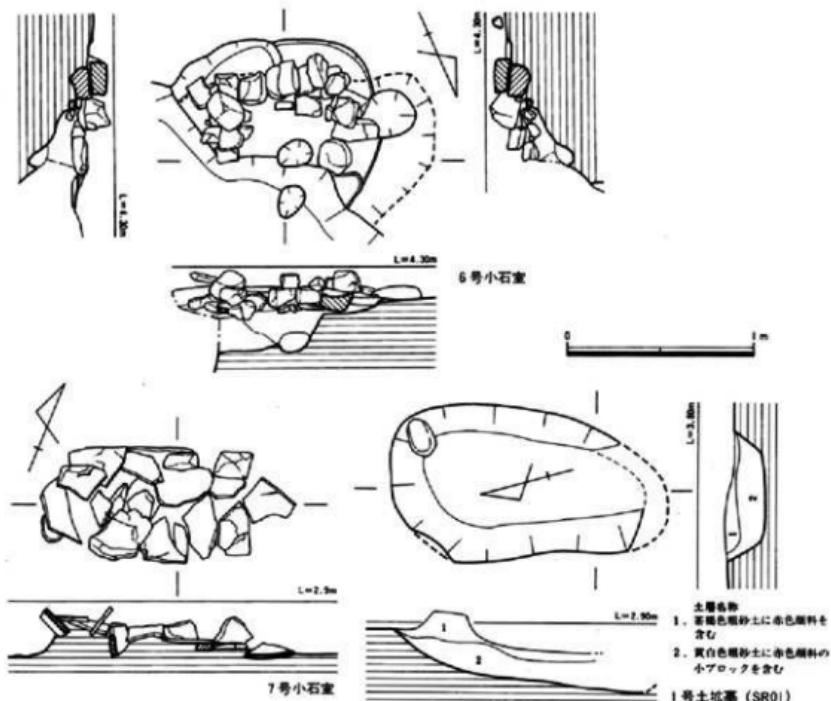


Fig. 24 6号・7号小石室墓, SR01 (1/30)



Fig. 25 4号小石室

と思われる。ただし、掘り方が明確に検出できなかったこと、石材が他の石室ほど整っていないことから石室が破壊された後の残骸かもしれない。

7号小石室 (Fig. 24・26)
後円部南側で検出した。
十数点の板石と數点の小砾
が長方形に配置され、石室



① 5号小石室



② 6号小石室



③ 7号小石室

Fig. 26 小石室墓

の残骸と考えたが、床敷の礫とするとレベルがそろわず、確實性は少ない。板石の中には赤色顔料が施されているものもあり、前方後円墳の内部主体の石材であった可能性が高い。

3) 土壙(墓)

調査中に土壙墓と称したもののが2基ある。いずれも構造上、墓とすべき積極的根拠は見出しえなかつた。

SR 01 (Fig. 24) 前方部南側で検出した。南端部は確認されている。現存の長さ1.32m、幅0.84mを測る。断面形は逆台形を呈し、床面は南にむかって下降する。覆土から赤色顔料を検出した。

SR 02 1号土壙のすぐ北で検出した。長さ1.26m、幅0.57m、深さ25cmを測る。覆土は暗茶褐色細砂である。検出面は黄白色細砂(地山)である。規模が小さく墓とは断定できない。

4) その他の古墳時代遺物

(Fig. 27)

埴輪以外の遺物は、遺構に伴うものが少なく、いずれも整地層、又は中近世土壙内より出土した。前期の土師器は布留式土器併行期の土器が出土しているが、庄内併行期の土器は無い。この時期には17次と27次調査で方形周溝墓も検出しており、墓

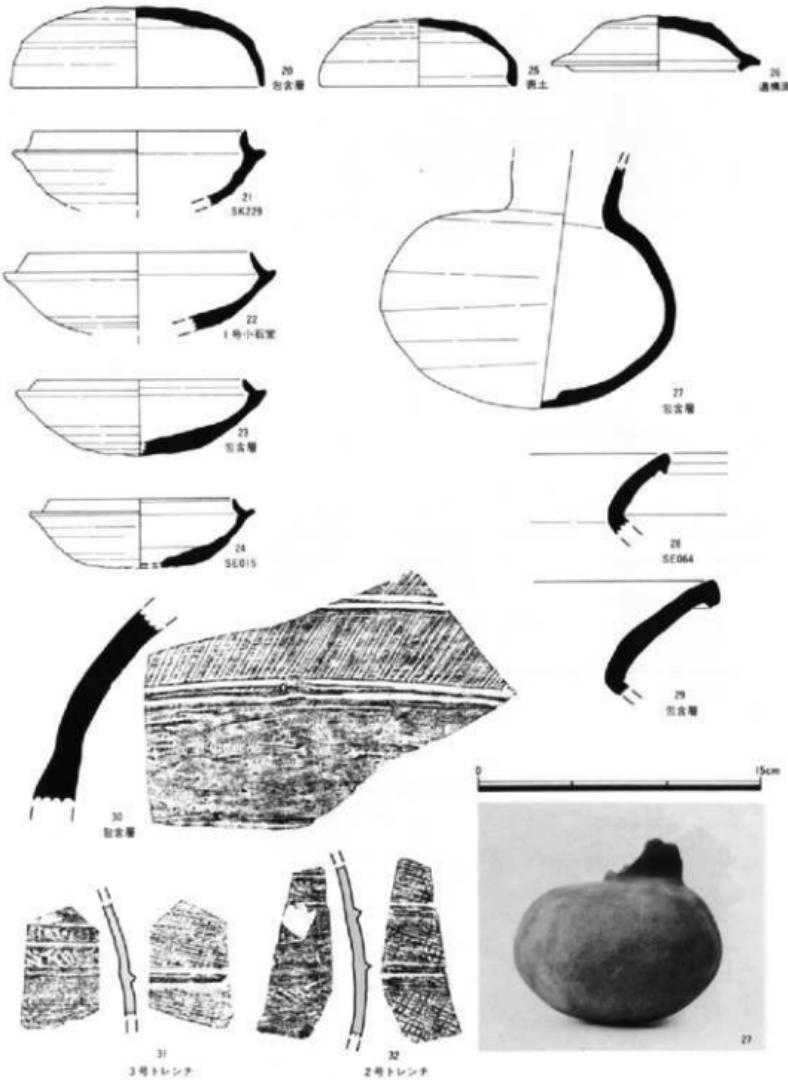


Fig. 27 古墳時代の遺物実測図 (1/3)

地、集落の存在が明らかになっている。又、5世紀から6世紀の甕・瓶・高杯・鉢などが散見できるが、数量的には多くは無い。須恵器は整地層より多量に出土している。器種には杯身・蓋・魁・平瓶・甕がある。杯身・蓋は須恵器編年のⅢ～Ⅳ期が主体を占める。22は1号小石室内外に流れ込んだ状態で出土した。鉄製品には鉄鎌・刀子等がある。玉類には青銅製の耳環3個、碧玉製管玉1個、ガラス小玉1個が出土している。

(米倉)

5) 小 結

前方後円墳の築造時期を示す唯一の資料は埴輪である。円筒埴輪は外面に黒斑を持つ。外面の調整はタテハケ1次調整のみのものがほとんどであるが、小破片が多いため確実ではない。但し、朝顔型円筒埴輪のみ、頸部にヨコハケを施す。突帯数は不明であるが、三段であった可能性が強い。透しは円形で2孔と思われ、一段目と三段目にある。以上の点を勘案すれば、川西宏幸編年のⅡ期、概ね4世紀末～5世紀初頭前後であろう。

7基の小石室墓は、石材が前方後円墳の蓋石、内部主体のものと思われるものを利用していること、周濠埋没後に造られているものがあることから、前方後円墳の築造からかなり遅れるようである。石室の構築方法は、1・2・4号の3基を見ると、1号は最下段のみであるが、石室の長辺を立てている。2号は最下段から小口積にする。3号は最下段の石材のみが大きく、腰石的な配置をする。という様に形態が異なっており、時期差があることが考えられる。大略の時期としては、周辺から須恵器のⅢb・Ⅳ型式が出土していること、石室墓の形態が井沢分類のI～3a類に属し、同タイプの石室が概ね6世紀後半～7世紀後半に属することから、ほぼこの範囲にはいるものと思われる。

(米倉)

3. 律令時代の遺構と遺物

この時期に考えられる遺構としては包含層や一墓の土壙が存在するのみである。遺物は地山の砂層上に存在する包含層や擾乱層より出土した。器種には須恵器の杯身・蓋・皿・魁・長頸壺・

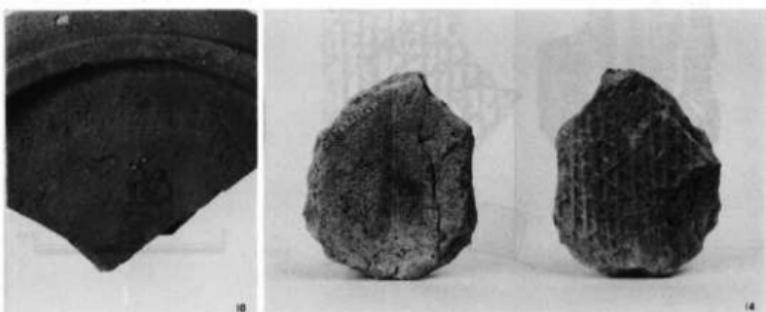


Fig. 28 律令時代の遺物

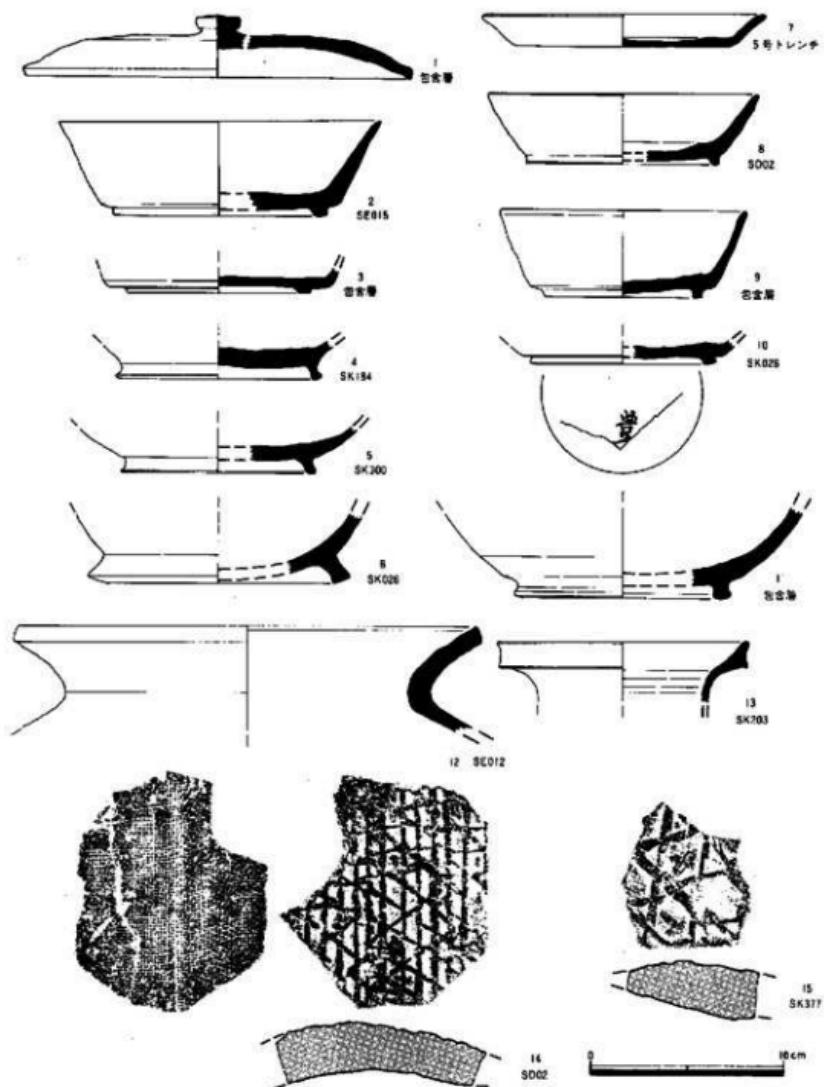


Fig. 29 奈良・平安時代の遺物実測図 (1/3)

壺・高杯等が出土した。杯(10)の外底には「豊」の墨書きがある。變形土器片は特に多い。土師器では楕・皿・壺・移動式のカマドなどが出土しているが、数量的には決して少くはない。瓦は数点出土したが、外面に斜格子目のタタキを施している。周辺では鴻臚館式の軒丸瓦や石帶、越州窯陶器も多数出土しており、官衙が存在した可能性は強い。

(井沢)

4. 中世の遺構と遺物

調査区の遺構の大部分が中・近世の遺構である。調査概要で述べた通り、中世の遺構面は南側で2面、北側では3~4面存在しているが、限定された調査期間の中では一面を精査するにとどまった。遺構は土塙・井戸・溝を主体とするが、炉跡(S K 056)、又は鍛冶跡(S K 092)や土塙跡と考えられる遺構も存在する。土塙数は385カ所を数えるが、この内には井戸と思われる遺構も少くない。井戸は86基である。この内の2基は井筒が石組構造である。S E 001は14世紀代、S E 002はS D 02溝に切られており、16世紀代を比定できる。溝は8条検出した。博多の町割りは從来の調査から、条里の方向の町割り、現在の大博通りに対して平行する町割り(磁北30°~42°西に振る)一の両者の存在が明確であるが、S D 05溝は条理方向に一致し、S D 02溝は大博通りに平行する。以下に各々の遺構について概述する。

(井沢)

1) 井戸状遺構

今回の調査区で最も多く検出された遺構の一つで、86基検出した。調査区全体に満遍なく分布するが、その中でも南北境界地周辺や、調査区中央やや西寄り、調査区北東境界地周辺の3カ所で円形状に集中する所が見られる。遺存状況は当地点に旧博多駅があった事による擾乱や、遺構面が砂地で崩壊しやすいという点から、余り良好ではなかった。中世の66基の井戸の内訳は、石組井戸2基で、残りは素掘り井戸である。井戸の形状は大半が円形であり、その規模は大小様々である。井戸底については、砂地で崩壊の危険があったため、確認は行っていないものもある。以下に井戸について若干述べる。

中世井戸

時期の明きらかな9基の井戸の内、石組井戸は2基、その他は素掘りの井戸である。素掘りの井戸は50~60cmの円形の木桶井筒を確認している。石組井戸のうちS E 001井戸は、直径約3~45mを測る円形の掘り方の中に、径113cm×95cm、深さ185cm以上を測る井筒がある。積石は井筒の上方に5~6段残存している。30~60cmの比較的大ぶりの花崗岩転石を横積みし、その間に小石を積み込み補強している。積石下は湧水の為確認出来なかった。S E 002井戸はS D 02溝底より検出したものである。直径164cmを測る円形の掘り方内に、径88cmを測る円形の上半分を小礫で石積みする井筒がある。深さ1.6mで湧水の為、その深さは確認していない。石積みは6~7段程残るが、大小様々な石を粗雑に積上げている為、面はそろっていない。使用石材は花崗岩が多く、石棺材の一部と思われるものもある。出土遺物には、土師器・瓦器・土師質土器・瓦質土器・中国産陶磁器・瓦類などがある。

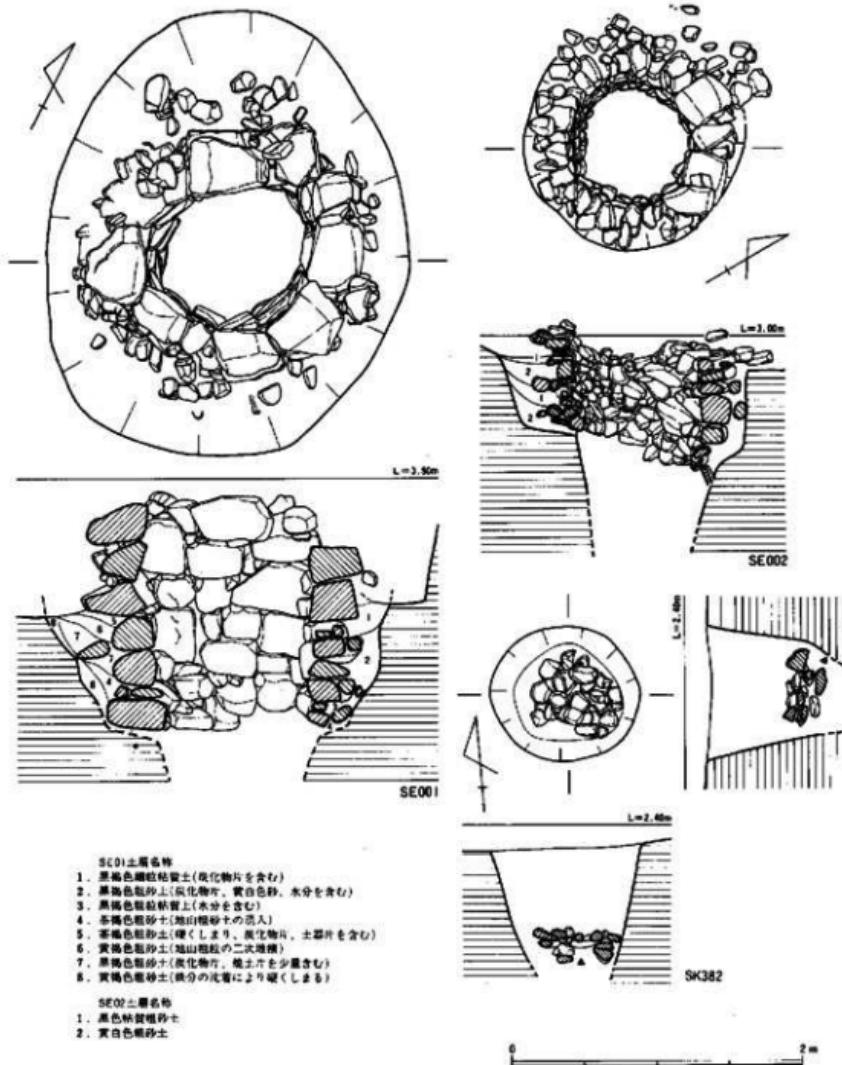


Fig. 30 中世石組井戸 SE001・SE002, SK325土塙 (1/40)



①



②

Fig. 31 石組井戸

①SE001 ②SE002

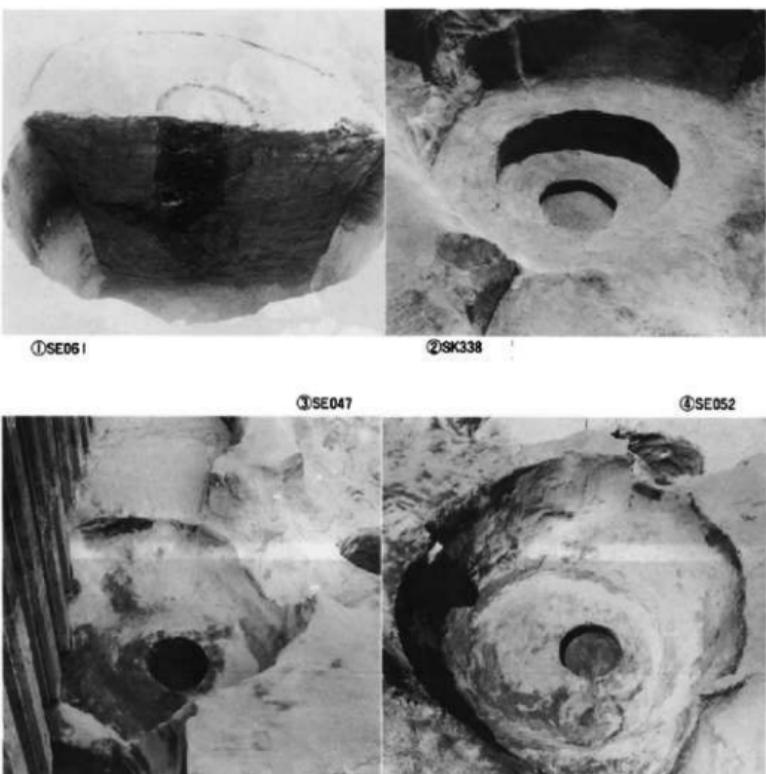


Fig. 32 井戸検出状態

2) 溝状遺構

今回の調査では溝状遺構を7条検出した。

S D01溝はⅠ区調査区境界地周辺で検出した東西方向の溝で、主軸方向をN-10°-Wにとる。溝幅は80~85cm、深さは40~60cmを測る。溝の断面形はV字形を呈し、覆土は黒色~暗褐色砂層である。出土遺物は土師器や瓦器、中国産磁器などを多く含む。

S D02溝は調査区を南東から北西へ、ややカーブを持ちながら貫流する溝である。主軸方向はⅠ区でN-32°-W、Ⅱ区でN-22°-Wに取る。溝幅は2.5~4.5cmを測るが、擾乱の具合によってかなり異なる。溝の断面形はV字形である。堆積状態から當時灌水の様子はうかがえなか

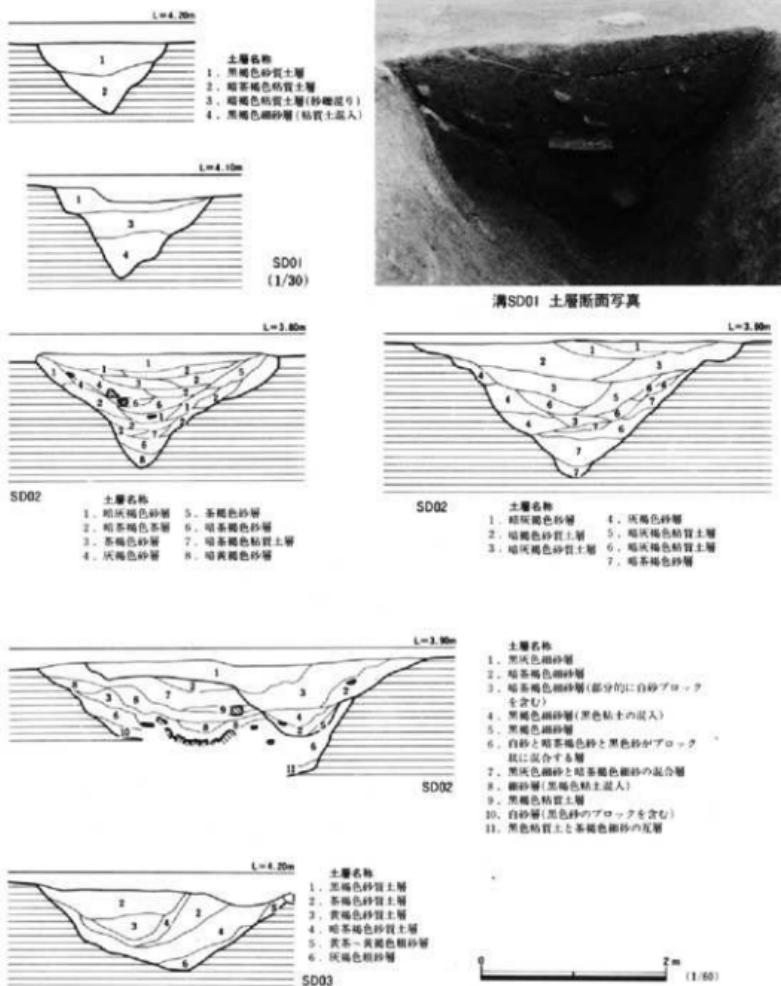
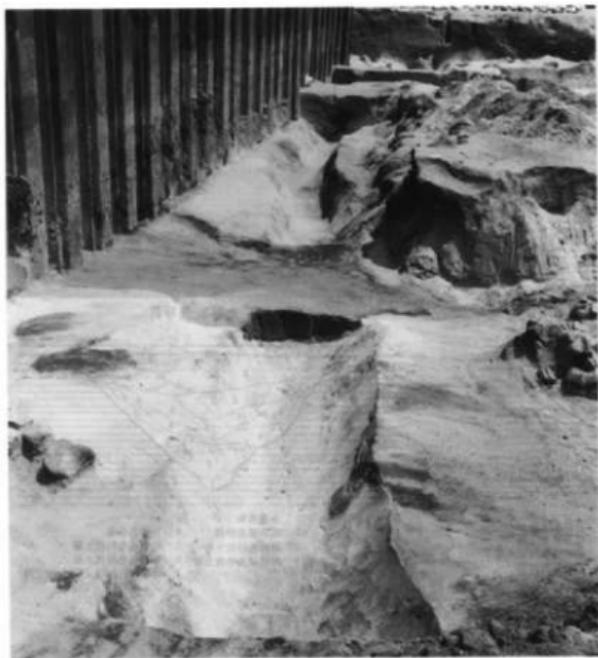


Fig. 33 满SD01~SD03土壤图 (1/30, 1/60)



① SD02(北から)

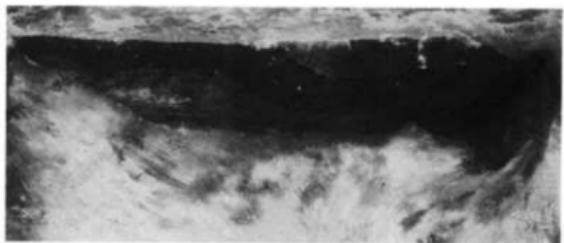
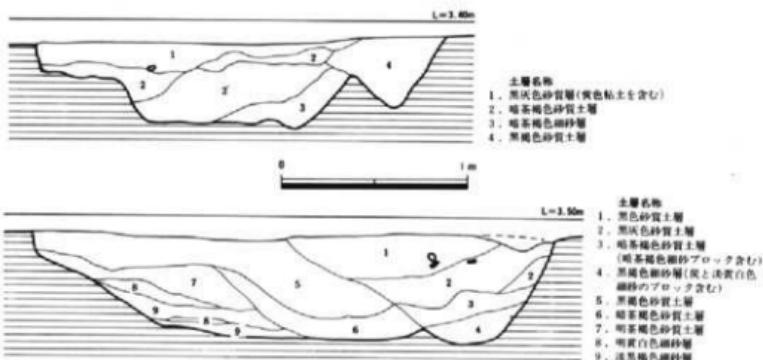


②溝SD02の土層断面の状態

Fig. 34 溝SD02



①溝SD02土層断面の状態



②SD05土層図 (1/30)
③SD05土層図 (1/30)
④SD05土層断面の状態

Fig. 35 溝SD02・05



①

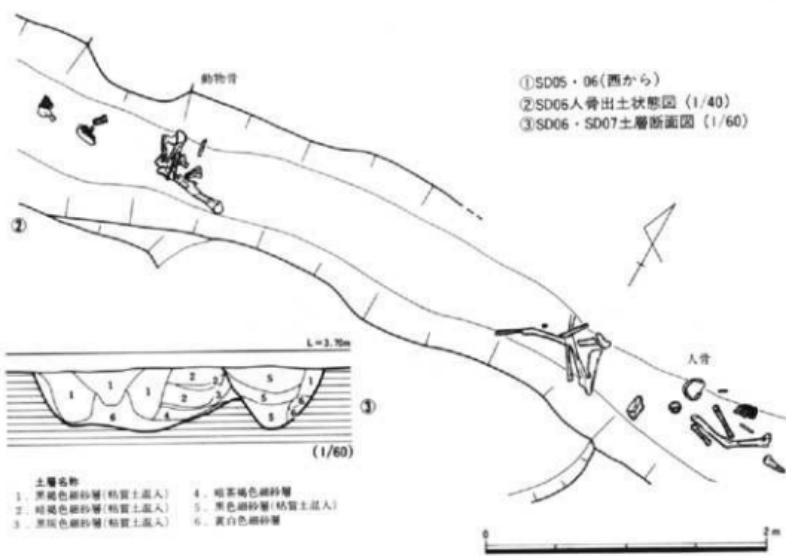


Fig. 36 满SD05・06



①



②

F 37 清SD06內動物骨出土狀態

①動物骨 ②人骨

った。出土遺物は弥生式土器から、伊万里・京焼など近世初期迄の遺物を多量に含む。中世と考えられるSB 01石組井戸より新しい時期、下層出土の明の青磁などの出土から、中世後半代に掘開され、その埋没時期は上層に初期伊万里や唐津など国産陶磁器を含むことから、近世中頃頃が考えられる。

S D 04溝はⅡ区の南東溝、境界地付近で検出した。SE 061井戸によって切られる溝である。溝幅は40cmを測る。遺物は多くない。

S D 05溝はⅡ区南側溝で検出した。主軸方向をN-83°-Wに取る東西方向の溝である。溝幅は2.2~3.0m、深さ50cm~60cmを測る。中央、及び南側土層の観察によれば一部他遺構の切合はあるものの、溝の断面形は逆台形を呈する。覆土は黒灰色~暗茶褐色粘土混りの砂層を主体とする。主な出土遺物は土師器、須恵器、瓦器、中国産陶磁器などがある。

S D 06溝は溝SD 05の南側、溝SD 05と並行して東西方向に延びる溝で、主軸方向をN-94°-Wに取る。溝幅は80~130cm、深さ60cm前後を測り、溝の断面形はV字形をなす。覆土は黒褐色砂を主体とする。この溝の東側で、人骨や動物骨が底よりやや浮いた状態で検出された。遺存状況は良好で頭骨や四肢骨などがある。土壙墓などの遺構の存在を考えたが、明瞭な遺構は確認出来なかった。出土遺物は多く、土師器、瓦器、須恵器、土師實土器、瓦質土器、中国産輸入陶磁器、国産陶器などがある。

S D 07溝は溝SD 06に切られる東西方向の溝で、上面からいくつかの土壙が切り込んでいる。溝幅は2.3m以上、深さ70cm前後を測る。溝の断面形は逆台形を呈する。覆土は粘土混りの黒灰色砂~暗褐色砂を主体とする。出土遺物には土師器、瓦器、須恵器、瓦質土器、中国産輸入陶磁器など種々雑多な遺物を含む。

S D 08溝はⅡ区の中央で検出した小溝で、南北に延び、南側で西側へ鎌形に廻る。溝幅は50~80cmを測る。出土遺物はそれ程多くない。

博多遺跡群では今迄の調査の成果から、Ⅰ期は11~14世紀前半迄の東西・南北方向の溝、Ⅱ期は14世紀半ば~16世紀迄のN-30~42°-Wの方向を取る溝、Ⅲ期16世紀末の太閤街割に合った溝の3時期の溝が確認されている。今回の溝をそれらの基準に合せれば、SD 05~SD 07号溝はⅠ期、SD 02溝はⅡ期に位置づける事が出来よう。

(山崎)

3) 土 壕 (SK)

土壙の総数は386基である。この内、井戸と思われるものが相当数存在するが、確認できない。平面形は円形、不整円形、橢円形、隅丸長方形形状を呈し、断面形は舟底形、逆梯形、掘鉢形、皿状形、截頭円錐形を呈している。調査区の北側には版築によって遺構面が形成されるが、この地域では土壙の平面形は隅丸長方形や隅丸方形を呈し、断面形はU字形、舟底形のものである。浅い土壙が多い。調査区中央部から南側の土壙の平面形は円形、不整円形を呈し、深い。断面形は円筒状を呈するものが多く、これらは井戸構造をもつものと考えられる。

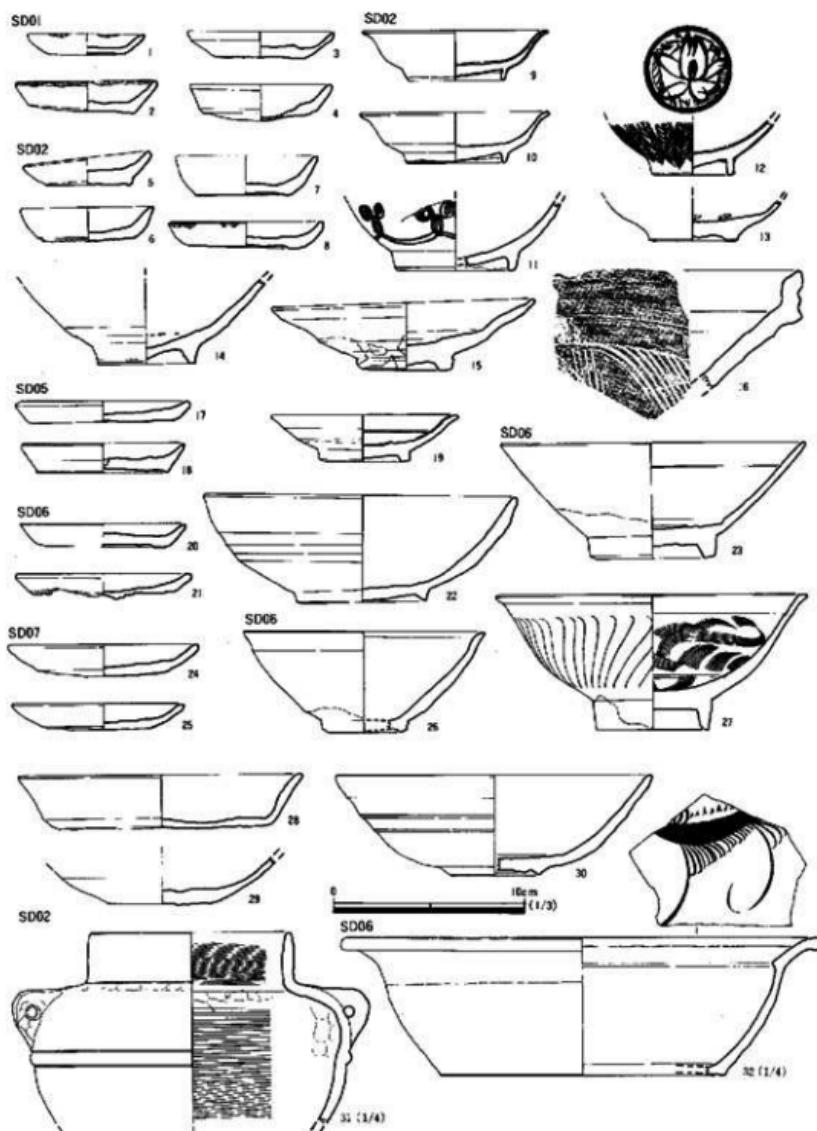


Fig. 38 漢出土遺物 (1/3, 1/4)



SK061

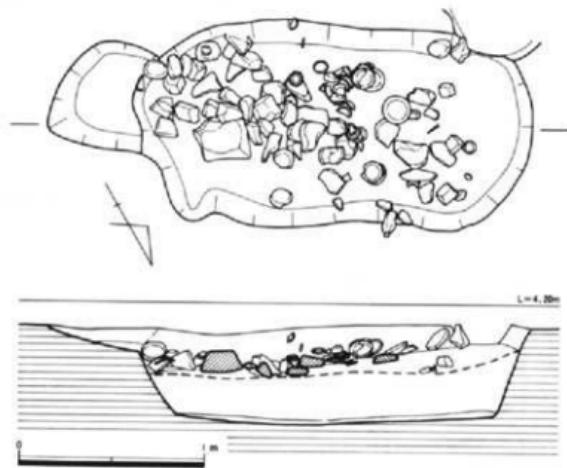


Fig. 39 SK061 土堆実測図 (1/30)



①SK266

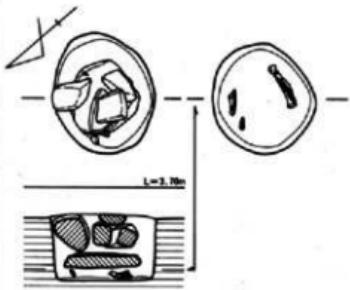


Fig. 40 SK291土塙 (1/30)



②SK382

Fig. 41 円形土塙検出状態



③SK291

SK061 (Fig. 39)はI区で検出した。平面形は隅丸長方形を呈し、断面形は逆梯形である。長さ216cm、幅110cm、深さ50cmを測る。土壤の中位、上面から25cmの位置には花崗岩、砂岩の角礫、及び割石がほぼ水平に散在しており、その中には土師器の糸切り皿・杯、龍泉窯青磁碗片、白磁碗片、陶器片、須恵質の鉢、などが混在している。礫は焼けたものが多く、鉄釘も數本出土していることから墓の可能性もある。

SK124はI区北側で検出した。平面形は不整橿円形を呈し、断面形は逆梯形で、現存長580cm、幅290cm、深さ17~20cmを測る。北側はSE 014に切られ、南側は境界地で切られる。壇底には凸凹がある。遺物は土師器糸切りの皿・杯、青磁龍泉窯系碗・皿、鎌蓮弁椀、同安窯系碗・皿、陶器壺・鉢などが出土した。

4) 土 塙 墓

上記の土壤の内、SK 061のように鉄釘を出土する土壤は少くない。特に調査I区の北側の集石をもった浅い土壤に多い。これらの礫は二次的に火を受けていることが多く、火葬墓等が考えられる。その他にも特異な例があるので以下に述べる。



S K 291 (Fig. 40・41) は、II 区で検出した。平面形は不整円形を呈し、断面形は円筒形である。直径 65×56 cm、深さ 36 cm を測る。壇内の下部に長さ 45 cm、厚さ 7 cm の板石を置き、その上部には、更に 18~25 cm 大の角礫を置いて填圧としている。下部の板石下からは大腿骨と考えられる人骨が 3 点出土している。(井沢)

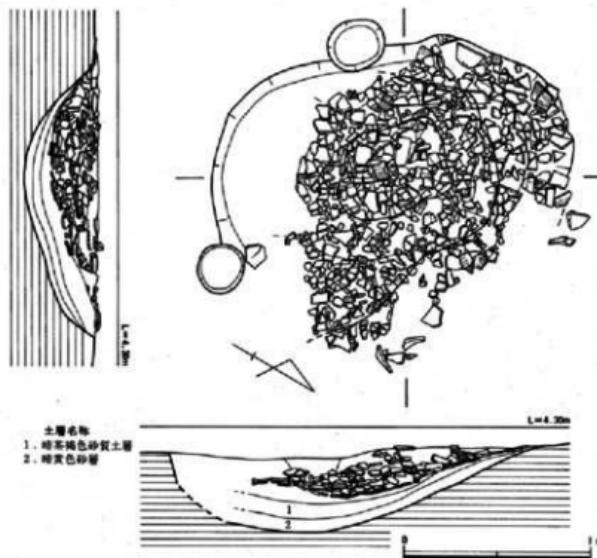
5) 瓦敷遺構 (Fig. 42-43)

調査区の北西部に於いて 5 m × 4 m ほどの範囲に瓦を敷きつめた不定形の広がりがみられた。

Fig. 42 瓦敷実測図及び写真 (1/60)



SK092 (東から)



瓦片はかなり細かく砕かれており、瓦敷の厚味はないが、かなり密に分布しているので、人為的に敷かれたと考えるのが妥当だろう。当初は道路上面の瓦敷と考えていたが、瓦敷の範囲が限られることや、周辺に焼土塊が存在することなど、判別し難い、但し、SK092 (Fig. 45) などは瓦

Fig. 43 SK092 土坑 (1/30)

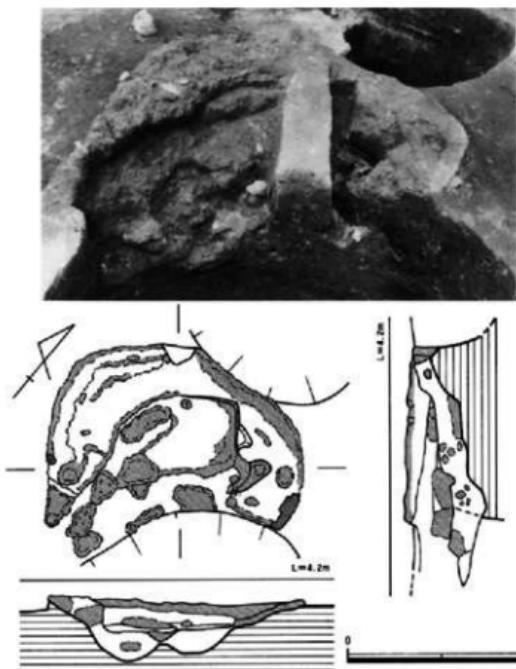


Fig. 44 SK056 土壙 (1/30)

形が不整楕円形を呈し、断面形は浅いレンズ状を呈している。長さ190cm、幅130cm、深さ30cmを測る。土壙内南側の瓦の貼り付けは破損を受け、消失している。覆土は4層に分かれ、第1層は粘土まじりの黒灰色細砂層、2層は黒褐色粘質土と淡黄褐色細砂の混合層で、赤褐色土のブロックや、焼土、炭を多く含んでいる。3層は焼土と黒灰色粘土を含んだ細砂層。4層は黒褐色粘質土と淡黄褐色粘質土の混合土で、細砂、及び炭、焼土を多く含んでいる。又、貼り付け瓦の下層は、茶褐色砂質土と炭化物を含んだ暗黄色砂層が存在する。遺物は覆土、及び貼り付け瓦の間で出土したが、白磁碗・皿、青磁碗・皿、瓦器碗片等がある。年代は12世紀～13世紀の幅を考えたい。

6) 炉跡

SK056 土壙(Fig. 44) SE 012 土壙によって切られており、平面形は隅丸長方形を呈する。現存の南北長は125cm、東西長120cm、深さ35cmを測る。本来は楕円形だったと推定される。粘質土と焼土ブロックの覆土である。土壙の中央部が階段状に低くなる。壙内から羽口片も出土しているので、この遺構は土壙という表現よりも、むしろ炉といったほうが適切かもしれない。

片を本来土壙に楕円形に敷いていたと思われ、断面を観察すると火をうけた形跡がある。炭化物も含まれていることから、これらの瓦敷は火を用いる工房などの基底に敷かれていた可能性があるのでないだろうか。この面からは平瓦・軒瓦の他、中国製の白磁碗・皿、青磁碗・皿、陶器片の出土がある。瓦は調整ではいざれもいぶしを受けておらず、又、軒瓦は同一形態を呈するところから、この瓦敷は一時的に行なわれたものと理解できる。

SK092 土壙(Fig. 45) 瓦敷遺構内に位置している。瓦敷は一体に平坦に敷き詰められているが、一部は土壙状に掘り窪め、壙底、及び壁に瓦片を貼り付けている。但し、貼り付けた瓦片は土壙脛の平坦部にも連続する。土壙は平面

但し、鉄津は一切見つかっていないので、小鐵治ではないようだ。さきの瓦敷遺構の北西部に接しているので、関連づけて捉えられると思う。

(常松)

7) 中世の遺物

平安時代末期から戦国時代末期まで及ぶもので、陶磁器には、舶載品として青磁龍泉窯系碗・皿・杯、同安窯系皿・碗、白磁碗・皿・杯、青白磁の合子、明代の青磁碗・白磁皿・染付皿・碗、高麗青磁、李朝の象嵌瓶・三島手の皿・碗、中国陶器甕・鉢・壺・水注、綠釉陶器がある。その他、頃具では犬の模造品がある。国産品では、瀬戸瓶、備前焼の鉢・壺、美濃系の皿、常滑焼の甕などが出土している。鉄製品(表4)には刀子・刀・庖丁・鉄鎌・青銅製品(表3)は飾金具・塗金を施した柄頭金具・柄飾金具・鎧・仏像・貨幣がある。貨幣(表5)はいざれも船載品であるが、初鑄は唐から明代に及んでいる。

石製品は、滑石製品では石鍋の他、つまみを有した蓋形品(134)、一面に陽刻を施した印状品(125)、5面に線刻を施した印状品(126)、杓子形品(135)、転用碗1点である。凝灰岩・砂岩製では風字碗、長方鏡がある。他に砥石が多数出土する。瓦は瓦敷遺構から多数検出しているが、軒丸瓦・軒平瓦・平瓦・丸瓦・瓦博などで、特に平瓦・丸瓦片が多い。軒平瓦は、瓦当の下部が波状を呈したものや瓦当脚に唐草文を配するものがある。又、軒丸瓦も瓦当の飾りが、草花文状のモチーフをもつとの、三巴文を配するものがある。唐草文の軒平瓦と三巴文の軒丸瓦は共伴するもので、全体にいぶしが施されることから、14世紀~16世紀の年代が与えられる。軒平瓦159と軒丸瓦163は瓦敷遺構、及びS K092にて共伴しており、軒丸瓦163は油山天福寺の出土品に例がある。又、軒平瓦は福岡城石垣出土瓦や、斜ヶ浦瓦窯跡出土品に例を見出すことができる。丸瓦はいぶしを行なうが、平瓦はいざれもいぶしを施さず、且つ須恵器的な環元焼成を行っている。共伴遺物は舶載陶磁器であるが、12~13世紀の年代を与えることができる。墨書き土器は、表2に示したが、数や名前、或いは花押と思われるものがある。名前を表わす墨書きには「李偶」「王二」「有久」「金」「王偶」などがある。花押は(84)と同一の墨書きは他にも出土例がある。その他に特殊な遺物には朱玉と思われる板状のベンガラ片(172)、瓦片製の泥メンコなどがある。土師器は杯・碗・皿で、皿はヘラ切り底、糸切り底の両者があるが、糸切り底が圧倒的に多く、16世紀代まで存在する。瓦器碗は器高が深く、高台がコの字形を呈するものから、底部高台が退化した13世紀代の器形もある。土師質土器には鍋・鉢・擂鉢、瓦質土器には鍋・火舎・擂鉢・湯釜等があるが、鍋には三脚を有した鼎形土器が2点出土しており、瀬戸内地方からの流入品と思われる。国内からの搬入品の内、須恵質土器には東播系の鉢・甕、龜山焼の甕、十瓶山焼甕などの製品が搬入されていることが、従来の調査や武藏寺経塚の遺物などから確認できるが、第28次調査でも東播系の鉢は多量に出土する。鉢の他は皿・甕があるが、甕には魚住窯や龜山焼が多く、十瓶山焼なども存在する。東播系の鉢は、12世紀から13世紀代に集中している。

尚、碗については近世の碗も含めて、付録1にてまとめて整理しているので参考にされたい。
(井沢)

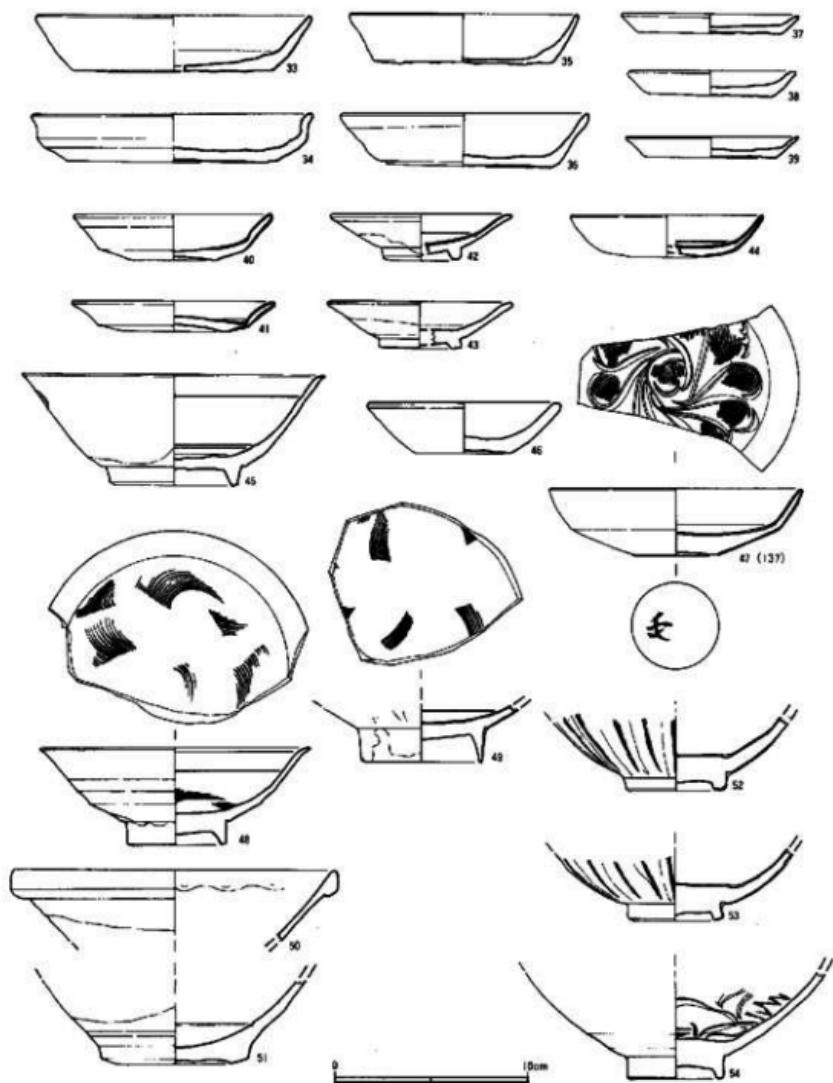


Fig. 45 SK124出土物実測図 (1/3) ()は墨書き器一覧表の番号

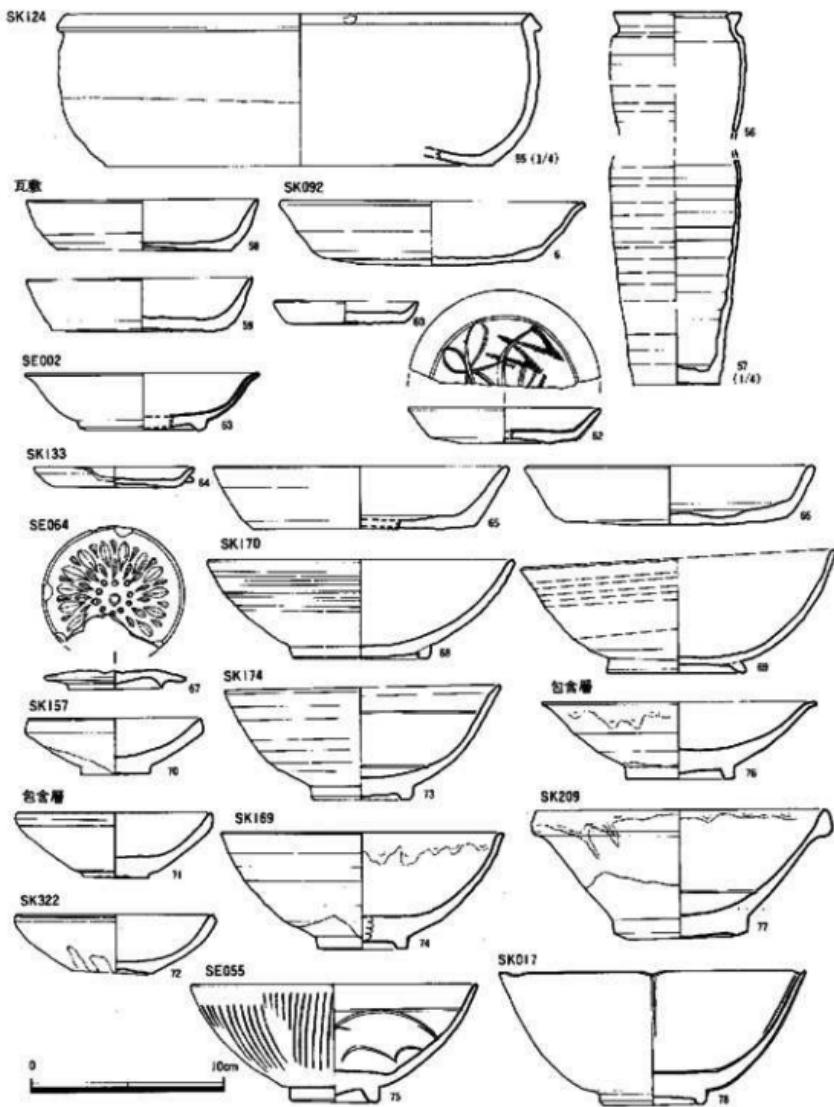


Fig. 46 中世遺物実測図 (1/3, 1/4)

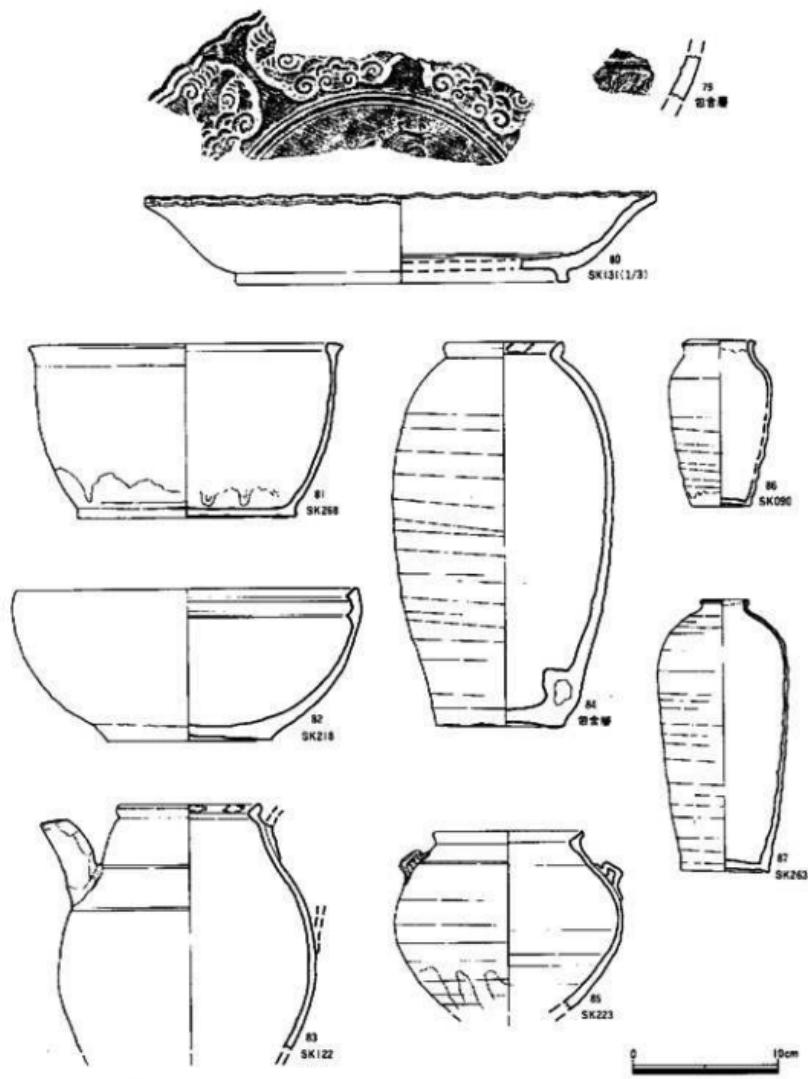


Fig. 47 中世遺物実測図 (1/3, 1/4)

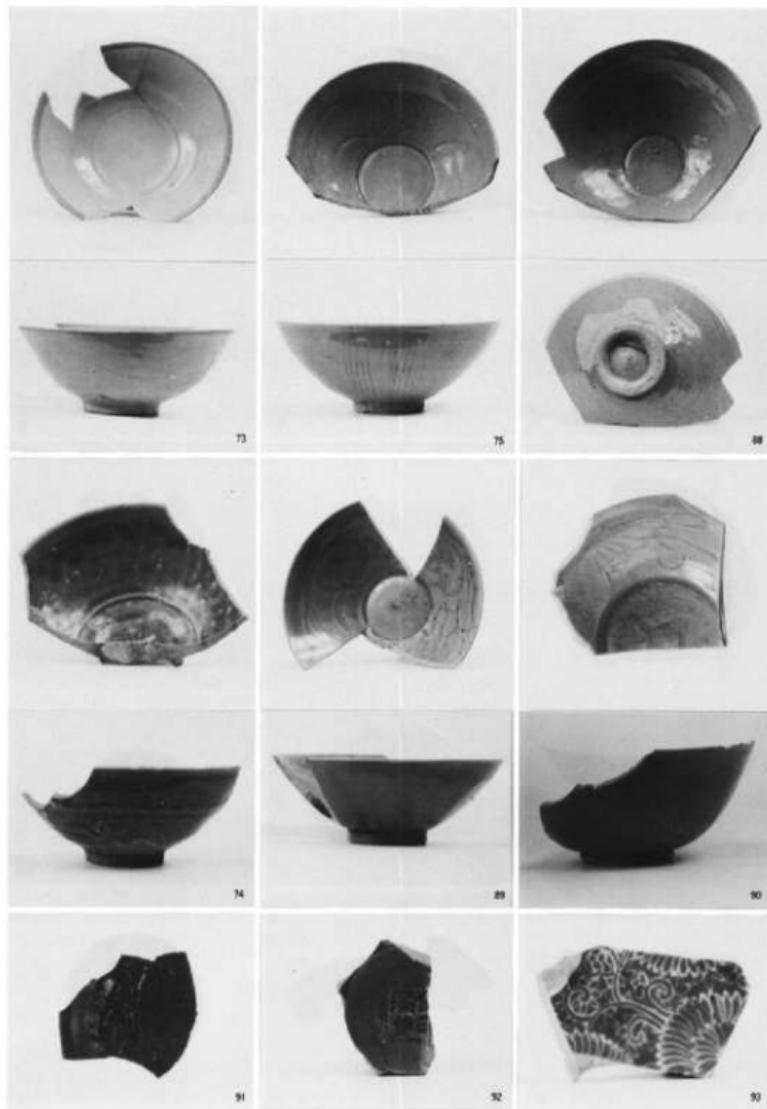


Fig. 48 中世遺物

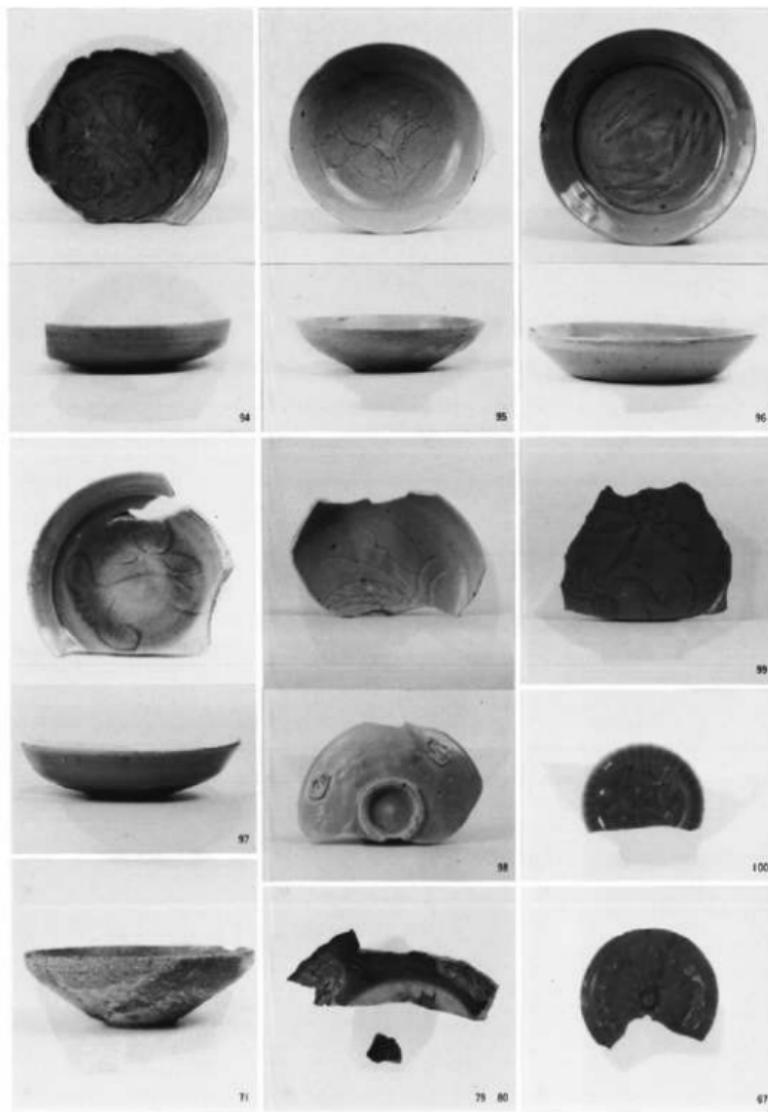


Fig. 49 中世遺物

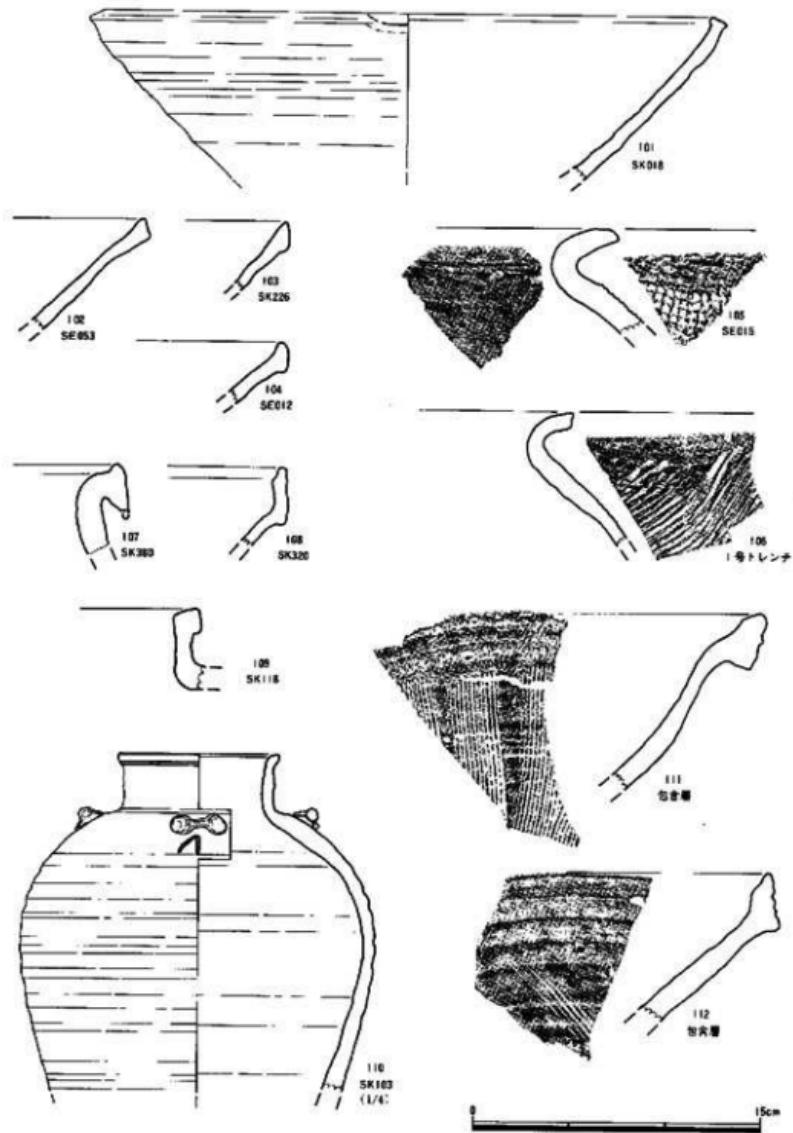


Fig. 50 中世遺物実測図 (1/3, 1/4)

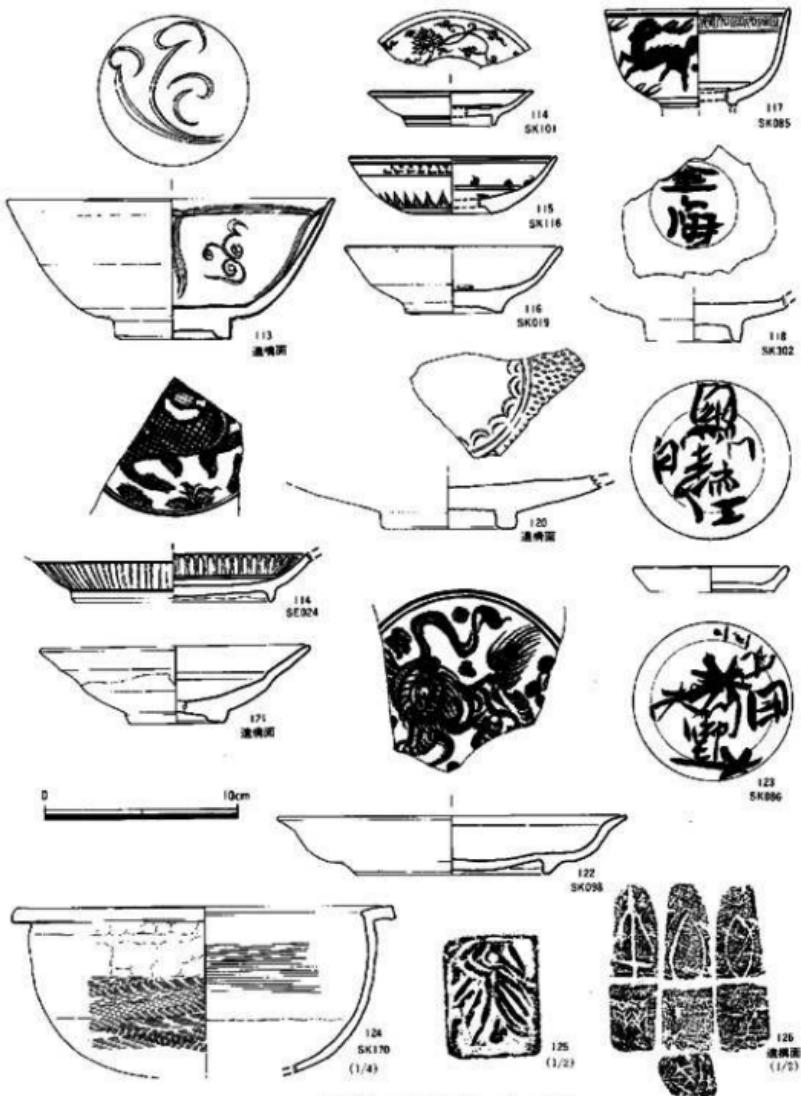


Fig. 51 中世遺物実測図 (1/2, 1/3, 1/4)



Fig. 52 中世遺物



Fig. 53 中世陶磁器

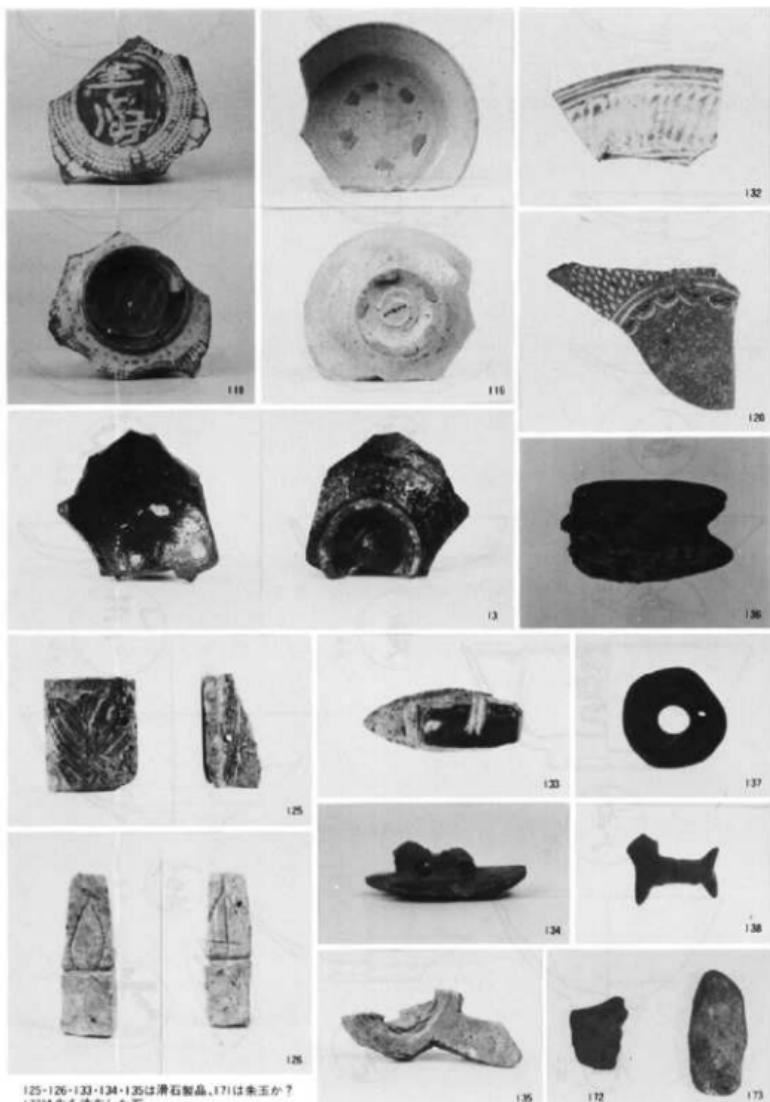


Fig. 54 中世遺物

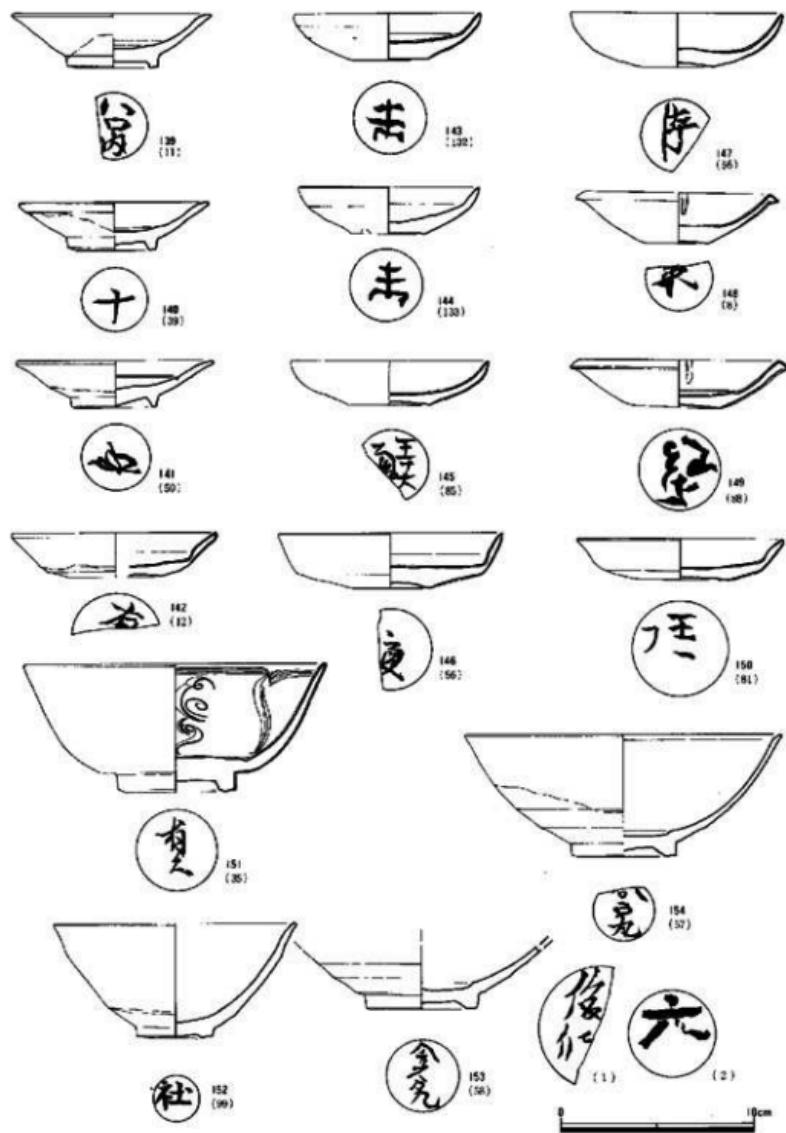


Fig. 55 墓古土器実測図 (1/3) () は墓古土器一覧表の番号



Fig. 56 墨書き器 (1/2) (数字は墨書き器一覧表の番号)



Fig. 57 墨書土器 (1/2) (数字は墨書き器・観表の番号)

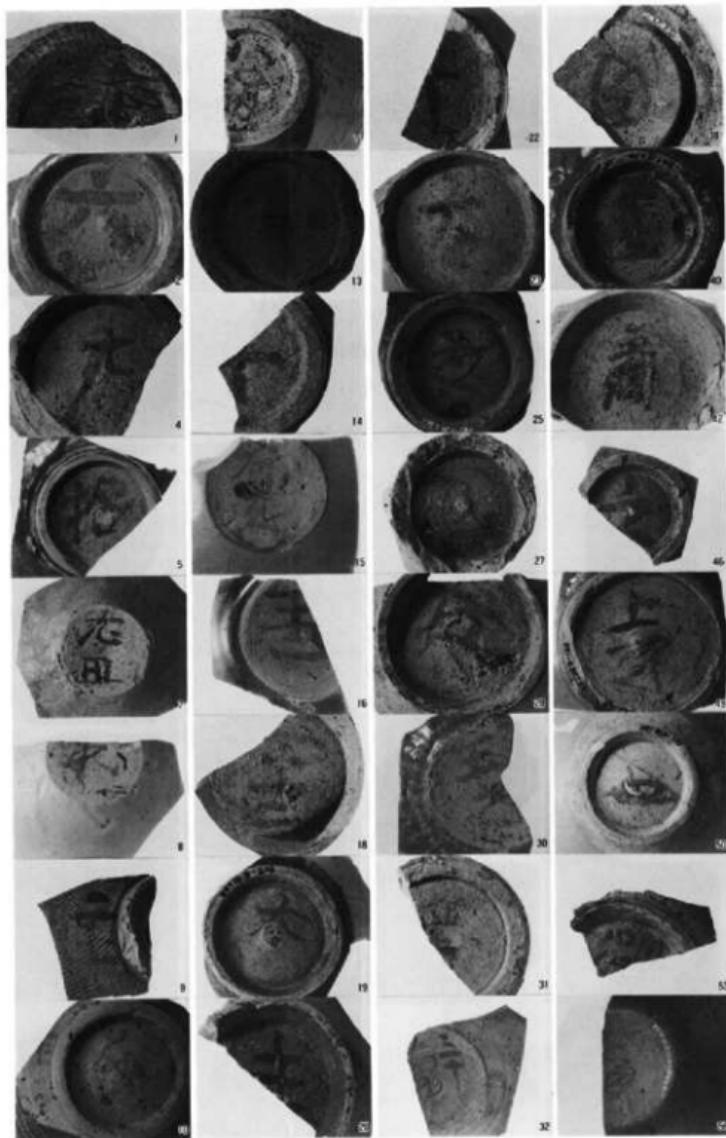


Fig. 58 墨書き土器写真 (数字は墨書き土器一覧表の番号)

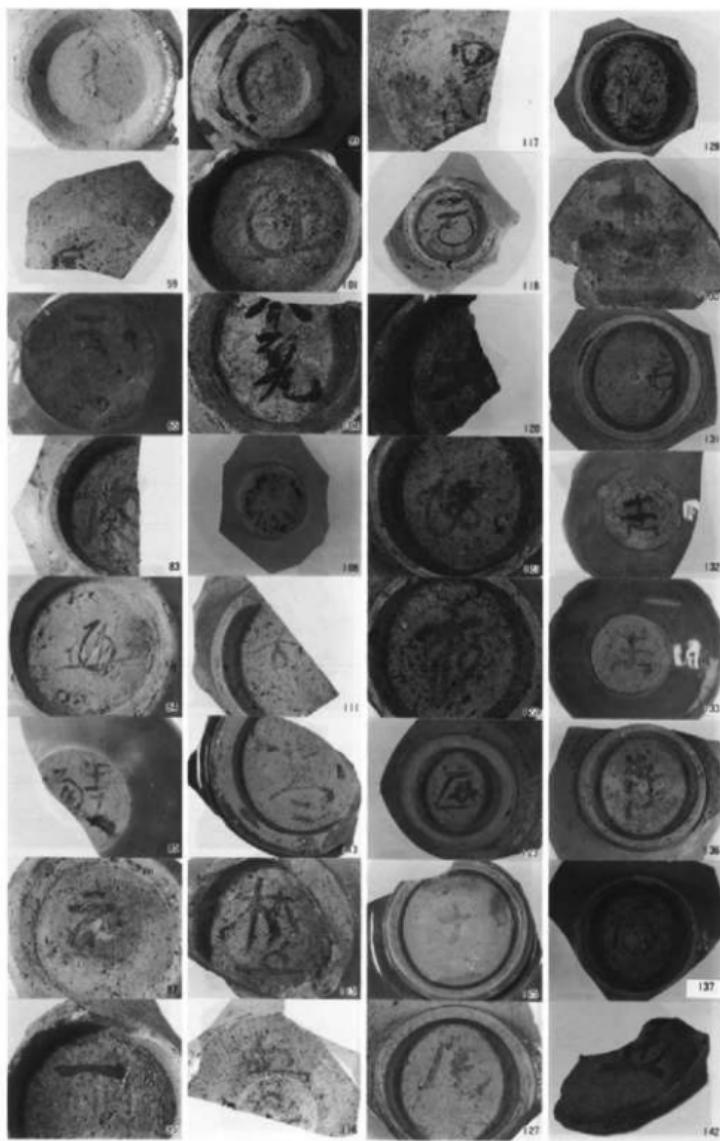


Fig. 59 墨書土器写真 (数字は墨書土器一覧表の番号)

8) 中世の瓦について

今回の調査で出土した軒瓦について解説を行う。軒瓦は158~161の軒平瓦と162~168の軒丸瓦とに大別される。さらに軒平瓦は、唐草文をモチーフとする155~158と、下縁部に連続する押圧文が施された159~160にグルーピングできる。

唐草文は何れも均整唐草文で、158のように細い1本の線よりなる極めてシンプルなものと、159~161のように線を部分的に合わせて、重厚な趣を出したものがある。以上の軒平瓦には、いぶしが施されている。唐草の軒平瓦は、型押しによる瓦当部に平瓦をドッキングさせて出来るが、一方、押圧文のある軒平瓦は、桶巻によって平瓦をつくる段階で、端部に数条の粘土縫を巻きつけて、瓦当部を構成する。160や161には分割のための切り込みの痕跡がよく残っていたので、整作工程についてさらに明らかになったことがある。瓦当部正面からの切り込みを入れ、次に桶の模骨の方から切り込みを入れているのである。従って、生乾きになった時点で模骨を解き、分割する数に応じて切り込みを入れ、その切口に合わせて内側から切り込みを加えたことが推測できる。このような整作技法なので、押圧文のある軒平瓦に同範ではなく、粘土縫巻きつけ時の調整でタイプが決まるわけである。加えてこの種の瓦にはいぶしがみられない。

つぎの軒丸瓦は、162~165のように草花文をあしらったものと、166~168のような三巴瓦がある。162は市内の南にある油山の天福寺に類例があるという。162以外は、ほぼいぶしがかかっている。三巴瓦は、166・168の外区の珠文も少なく、巴の先端も丸味を帯びていることからさほど古式に属するものではないようだ。

(常松)

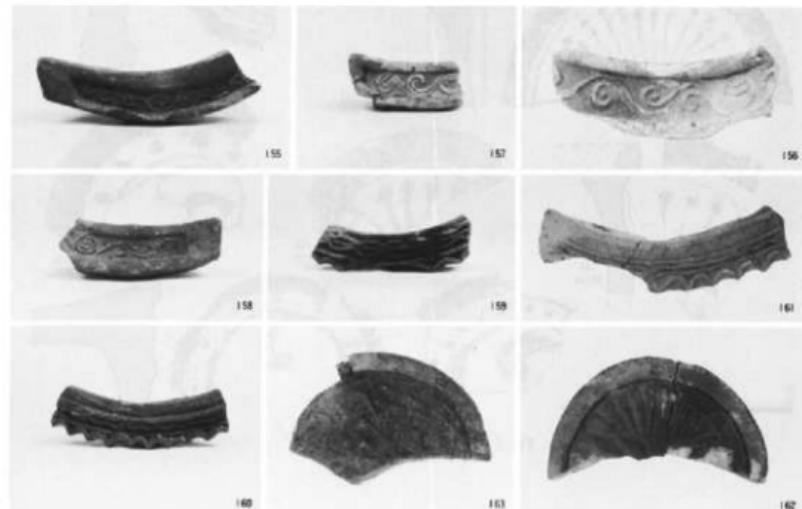


Fig. 60 中世瓦類

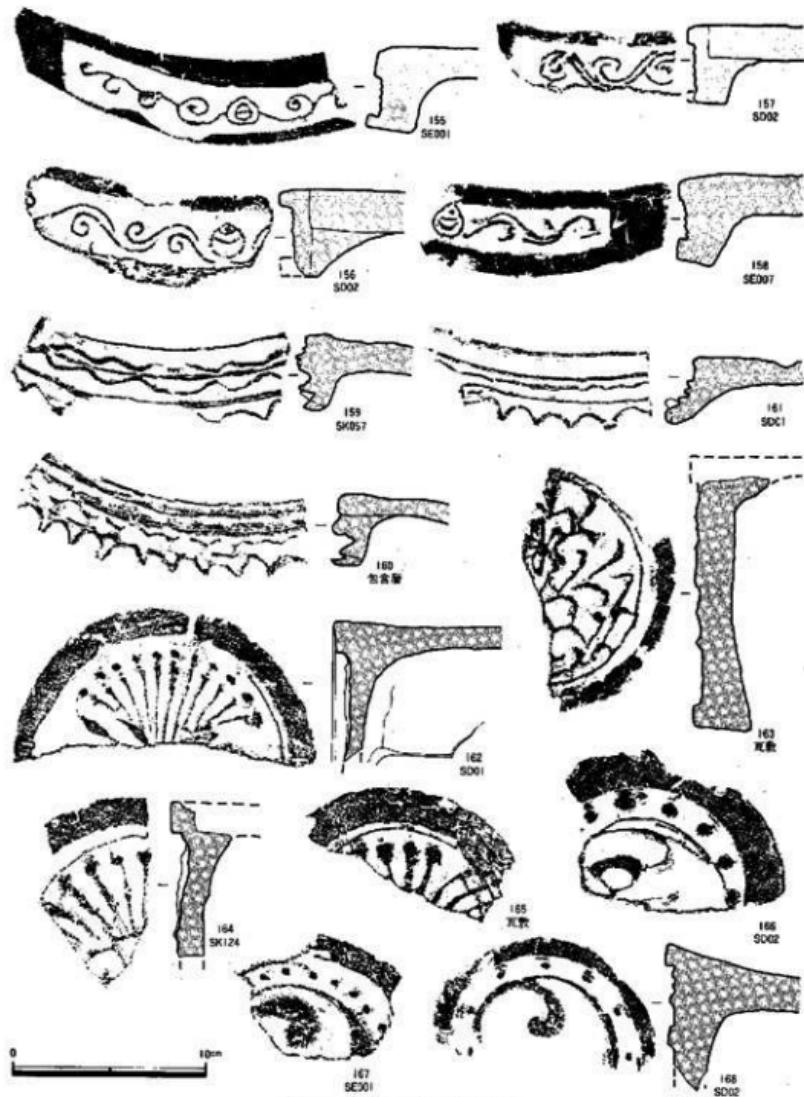


Fig. 61 中世瓦類実測図 (1/3)

Tab. I 第28次調査検出品一覧表

地質番号	測量面形	種類(計測値)			出 土 品 物	時期	考
		長	幅	深			
S D 01	V字形	14 m	80 cm	40 cm	瓦器(鉢)、須恵器、土師質土器(瓶)、瓦質土器、須恵質土器(高強手 鉢)、輸入陶器(甕、壺、罐)、圓錐(明)、同安(明)、中國白磁(瓶、皿)、銅錢、銅鏡 滑石板(火盆)、鉛輪	12 5 13	
					上層—土師器(杯、壺)、土師質土器、國產青瓷(碗)、輸入陶器、中國白磁、青磁(碗、 皿)、銅錢、鐵幣		
					中層—土師器(杯)、土師質土器、輸入陶器、須恵器(甕)、中國白磁、青磁(碗、 皿)、鐵幣、鐵錠		
					下層—土師器、中國青瓷、瓦、埴輪		
S D 02	V字形	52 m	250 cm	120 cm	瓦器(鉢、壺、火盆明合)、瓦器(縫、瓶、皿)、須恵器(甕、壺、皿、蓋)、土 師質土器(甕、壺、瓶、火盆)、須恵質土器(甕)、圓錐(明)、瓦質土器(甕、壺、瓶、 蓋)、國產青瓷(瓶、皿)、須恵器(甕)、萬葉(明)、唐津器(瓶、壺、皿、蓋)、區產白磁(瓶、 皿)、圓錐(青磁)、明代(明)、輸入陶器(甕、壺、瓶、蓋)、同安(明)、中國青磁(瓶、皿、 蓋)、綠釉陶器、滑石板(火盆)、鐵輪(明)、鐵錠(明)、同安(明)、中國白磁(瓶、皿)、瓦、埴輪、 鐵錢、銅錢、滑石石鍋、花めんこ、鐵石、鐵鑄、長柄刀、鐵劍	16 1 17	須恵器(甕、馬 山燒) 時代(馬仕朝、16 世纪) 瓦(平安町)
			450 cm	150 cm	中層—土師器(杯)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕)、土師質土器(甕、壺、 瓶、蓋)、圓錐(甕)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕、壺、瓶、蓋)、滑石板(火盆)、須恵 質土器(甕)、圓錐(甕)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕)、圓錐(甕)、輸入 陶器(甕、壺、瓶、蓋)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕)、圓錐(甕)、滑石板(火盆)、須 恵器(甕)、圓錐(甕)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕)、圓錐(甕)、同安(明)、中國白磁(瓶、皿)、 瓦、鐵錢、鐵錠、滑石石鍋、鐵石、鐵鑄、長柄刀、鐵劍		
					下層—土師器(杯、壺、火盆明合、瓦質)、瓦器(縫、瓶)、須恵器、土師質土器(甕、 壺、瓶、圓錐)、瓦質土器(甕、壺、瓶)、須恵器、須恵質土器(甕)、圓錐(青磁)、輸入陶器(甕、 壺、瓶、蓋)、瓦質土器(甕)、須恵器(甕)、圓錐(甕)、同安(明)、中國青磁(瓶、皿)、瓦、 瓦器(甕)、中國白磁(瓶、皿)、明代(明)、同安(明)、中國青磁(瓶、皿)、瓦、鐵錢、鐵錠、 滑石石鍋、鐵石		
S D 03	舟形	15 m	260 cm	90 cm	土師器(杯、壺、甕)、瓦器(瓶)、土師質土器(甕)、伊万器(瓶)、輸入陶器(甕、壺、 瓶、蓋)、圓錐(甕)、同安器(甕)、中國白磁(瓶、皿)、瓦、鐵錢、銅錢 滑石石鍋、鐵錠		
S D 04	逆極形	4 m	40cm	45cm	土師器(杯、甕)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器、須恵質土器(東羅系体)、圓錐 器(甕)、輸入陶器(甕、壺)、瓶(甕)、中國白磁(瓶、皿)、瓦、鐵錢、鐵錠		
S D 05	逆極形	23.5 m	220 cm	50 cm	上層—土師器(杯、甕)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器(瓶、圓錐)、須恵質土器(甕)、 輸入陶器(甕、壺、瓶、蓋)、圓錐(甕)、同安(明)、中國白磁(瓶、皿)、瓦、瓦器、 鐵錢、鐵錠		
			300 cm	60 cm	下層—土師器(甕、杯、壺)、瓦器(甕)、土師質土器、輸入陶器、同安(明)、中國青 磁、白磁(甕)		
S D 06	逆極形	8.5 m	80 cm	60cm	土師器(杯、甕)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器、瓦質土器、須恵質土器(甕)、輸 入陶器(甕、壺、瓶、蓋)、同安(明)、中國白磁(瓶、皿)、滑石石鍋、鐵錠		
S D 07	V字形	9.6 m	230 cm	70cm	土師器(杯、甕)、瓦器(瓶)、須恵器(甕)、土師質土器(甕、壺、瓶、蓋)、土師質土器(甕、 壺、瓶、蓋)、圓錐(甕)、須恵質土器(甕)、瓦質土器、國產白磁(甕)、輸入陶器(甕、壺、瓶、蓋)、 中國白磁(甕、壺、瓶)、瓦、鐵錢、鐵錠		
S D 08	逆極形	4.2 m	50 cm	17cm			

5. 近世の遺構と遺物

近世の遺構、及び遺物については従来、余り注意を払われることなく、遺構についてはゴミ穴もしくは擾乱壙として処理され、遺物も注意を払われることがなかった。近年、博多の歴史や近世の商人・町人の文化を知る上において、こうした近世の遺物、遺構の状況を調査することが非常に重要になりつつあり、こうした近世の調査が町割りの復元への一助ともなり得てきた。近世遺構の大部分は調査の関係上、一律的に上部を削平しており、遺構として把握し得るのは深く掘られた穴、すなわち、井戸や廐棄物の投棄穴である。博多商人の性質を表すものとして、井戸の廐棄の際にゴミ穴として利用することが頻繁にあることで、井戸祭祀には神経を使っていない。同様には地下鉄線路内の祇園駅出入口2・3の調査では中世井戸（1号土壙）に火災によって破損したと思われる中国陶磁器数百点を投棄した例を検出したが、これも上記に通じる。こうした井戸やゴミ穴からは初期伊万里、古伊万里、古唐津、高取焼、須恵焼、小岱焼、関西系焼物、瀬戸焼、備前焼などの16世紀末から19世紀までの陶磁器が出土する。その他、江戸時代の台所用具、汁器、信仰関係のものなど多数の遺物に恵まれた。以下に近世遺構について述べる。

（井沢）

1) 井 戸

時期が確定できた20基の内、5基は瓦組井戸である。掘り方の平面形がいずれも円形である。直径は最大でも140cm未満で、素掘り井戸に比べて小さい。瓦組井戸の形態として大きく2つに分類出来る。I類はSE003～SE005・SE007号井戸で、平均の厚さが20～25cmの長方形の板瓦を各段10枚づつ用い、1段おきに目地が通るように交互に積み上げたものである。



Fig. 62 近世遺構の集合状態

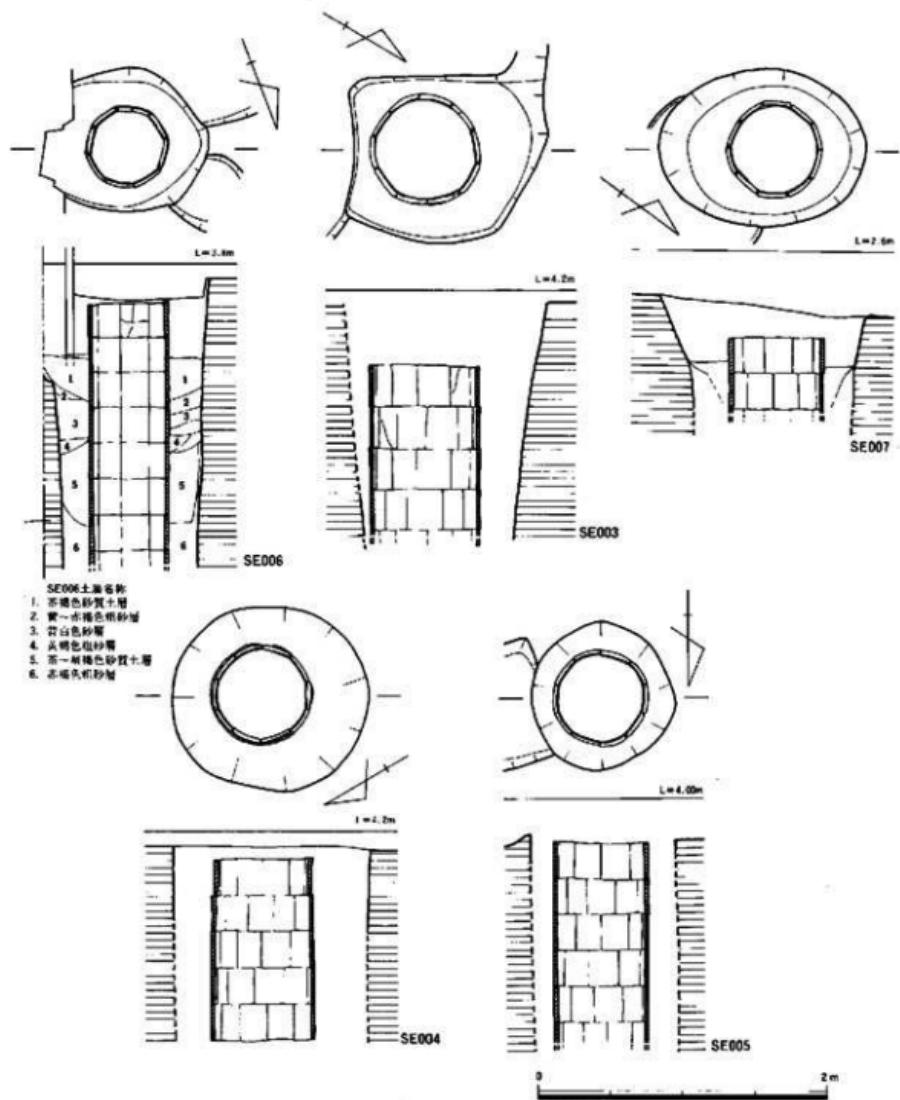


Fig. 63 瓦井戸実測図 (1/40)

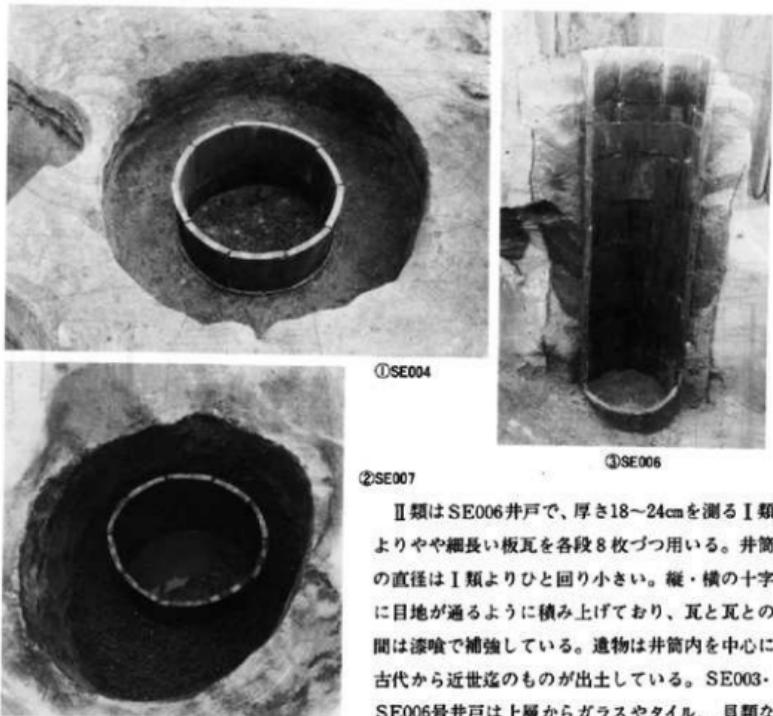


Fig. 64 瓦井戸検出状態

①SE004

③SE006

②SE007

Ⅱ類はSE006井戸で、厚さ18~24cmを測るⅠ類よりやや細長い板瓦を各段8枚づつ用いる。井筒の直径はⅠ類よりひと回り小さい。縦・横の十字に目地が通るよう積み上げており、瓦と瓦との間は漆喰で補強している。遺物は井筒内を中心で古代から近世迄のものが出土している。SE003・SE006号井戸は上層からガラスやタイル、貝類など近・現代遺物などが出土している。

素掘り井戸は砂地という性質の為か、掘り方は一般に大きく、何度か掘り直した為か切り合が著しく、全体の形状を知りうるものは少ない。井筒はいずれも木桶を用いており、直径50~90cm程度で、遺存状態は悪い。出土遺物は、井戸廃絶後にゴミ穴として利用されたものもあり、古代から近世迄の種々雑多な遺物を数多く含んでいる。又、SE059井戸は直径50cmの井筒内から猪の頭骨(38)が単独で出土しており、何らかの祭祀的意味合があると思われる。(山崎)

2) 土 壤

いずれも糠茶処理として利用しており、SK018、SK019、SK121、SK166、SK371が相当する。長さ4.5~7.0m、深さ約40~100cmを測る規模で、形状は不定形である。遺物は陶磁器の他、鉄製品、青銅製品(煙管など)、木製品(漆器・臼)などがある。

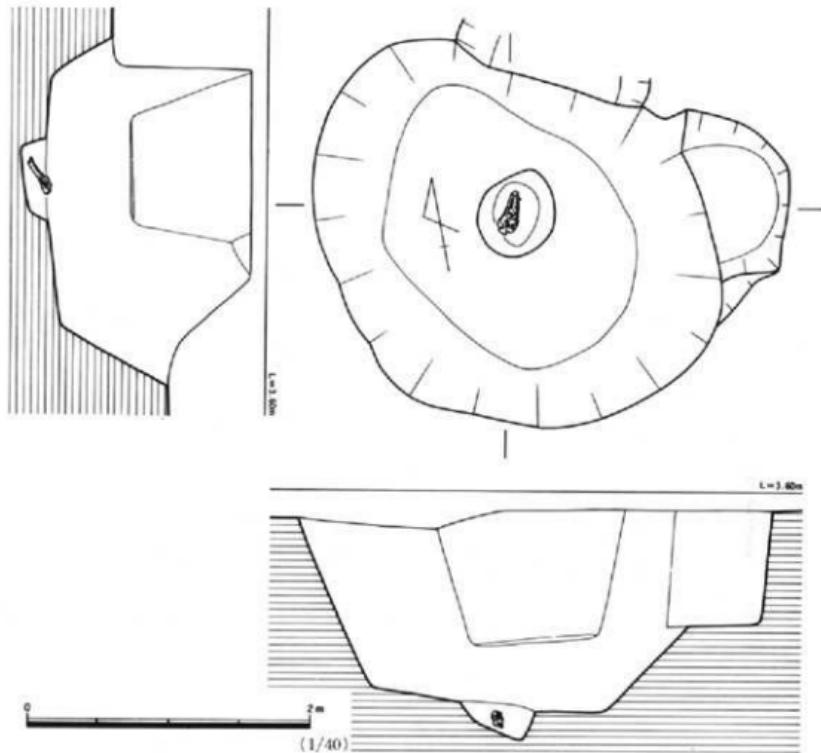


Fig. 65 SE059

熊骨出土狀態

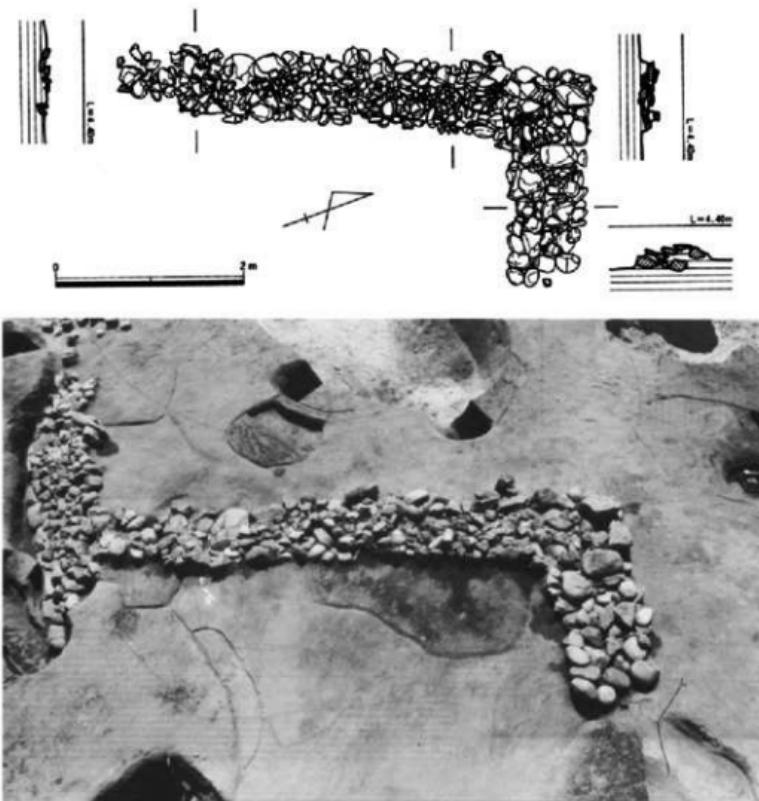


Fig. 66 石組遺構 (SX01)(1/60)

3) 石組遺構 (SX01)

長辺 5m、短辺 2m を測る逆 L 字型に組まれた石組が、調査区の南東部で見つかった。当初、前方後円墳に関連する施設かと思ったが、共伴の遺物から近世のものであることが明らかになった。更に、この矩形の石組は、さらに延びる可能性はあるものの、幅は約 80cm を測り、ほぼ均一である。一応完結した様でもある。用途としては、暗渠排水や雨落溝の一部とするのが妥当かと思うが、肝腎の上部施設が全くわからないので、断定はできない。

また時期については、中国製陶磁器に混じって伊万里の染付皿や軒瓦が出土している。三巴瓦は外区の珠文が大粒で、数が少なく、福岡城の石垣や御鷹屋敷の三巴文軒丸瓦Ⅲ類よりも後出す
タ^{註2} タイプのようなのである。18世紀代に入るのではないかと思う。

(常松)

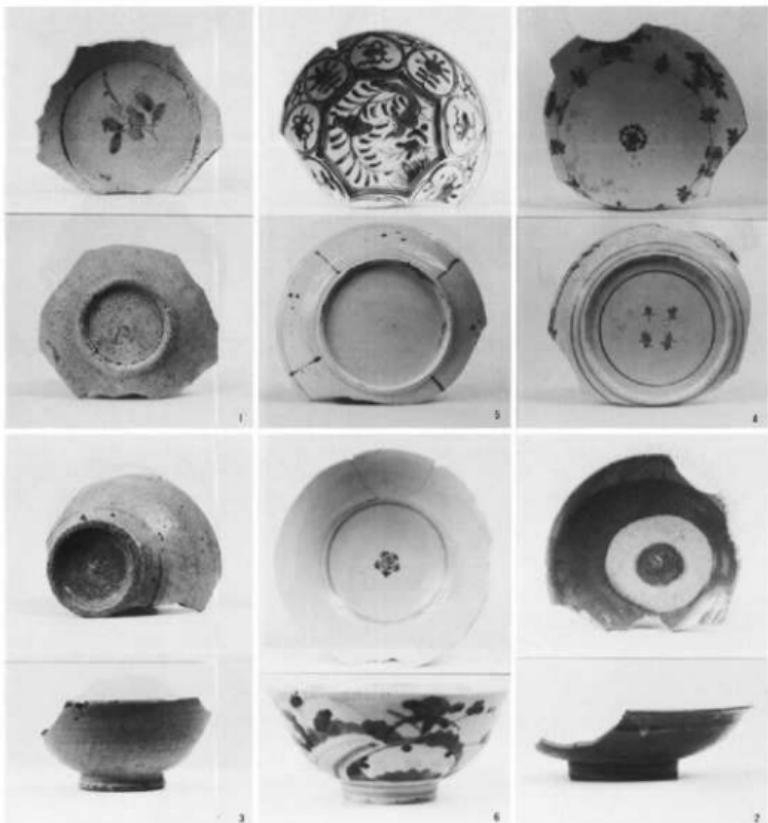
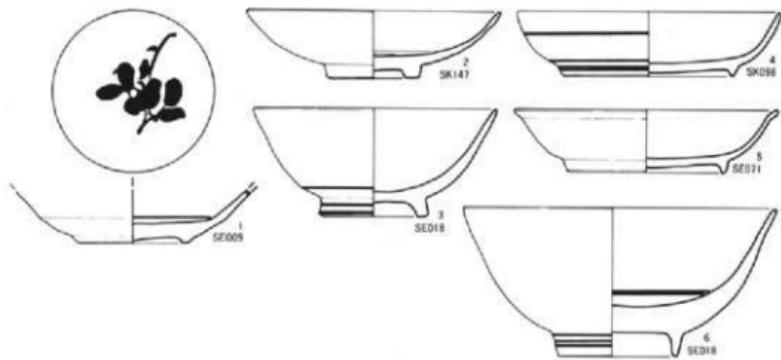


Fig. 67 近世陶磁器



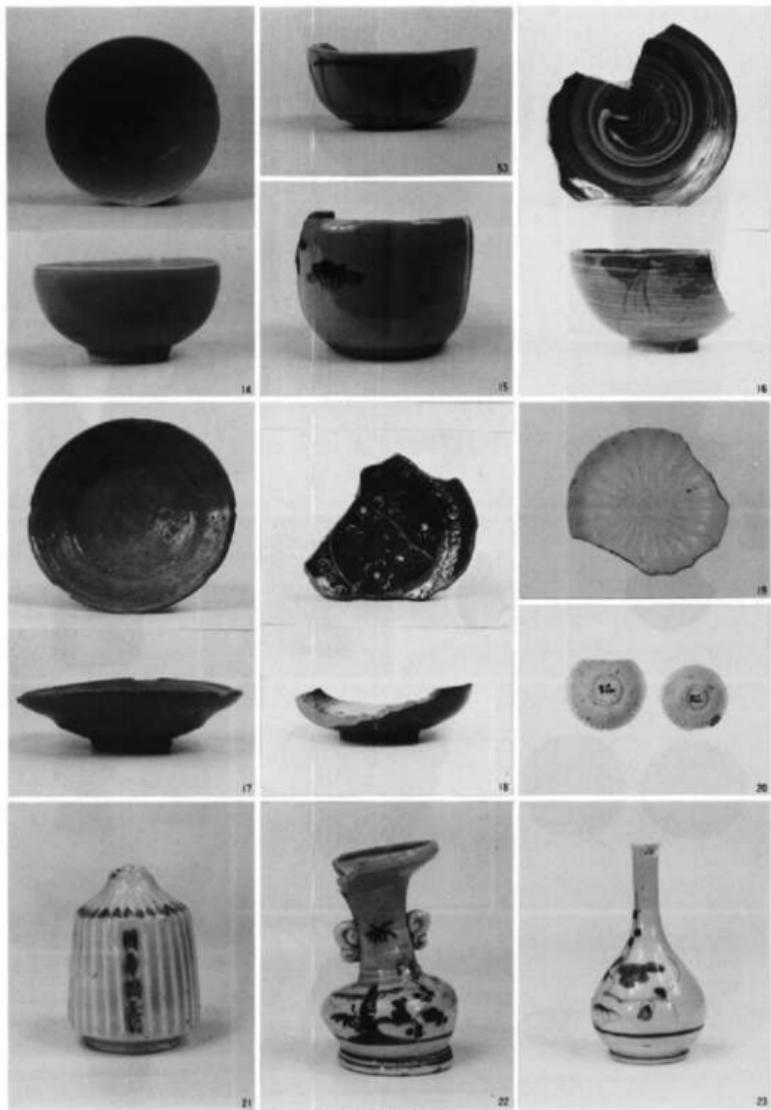


Fig. 69 近世陶磁器



Fig. 70 近世遺物



Fig. 71 近世平書十器 (番号は平書十器一覧表の番号)

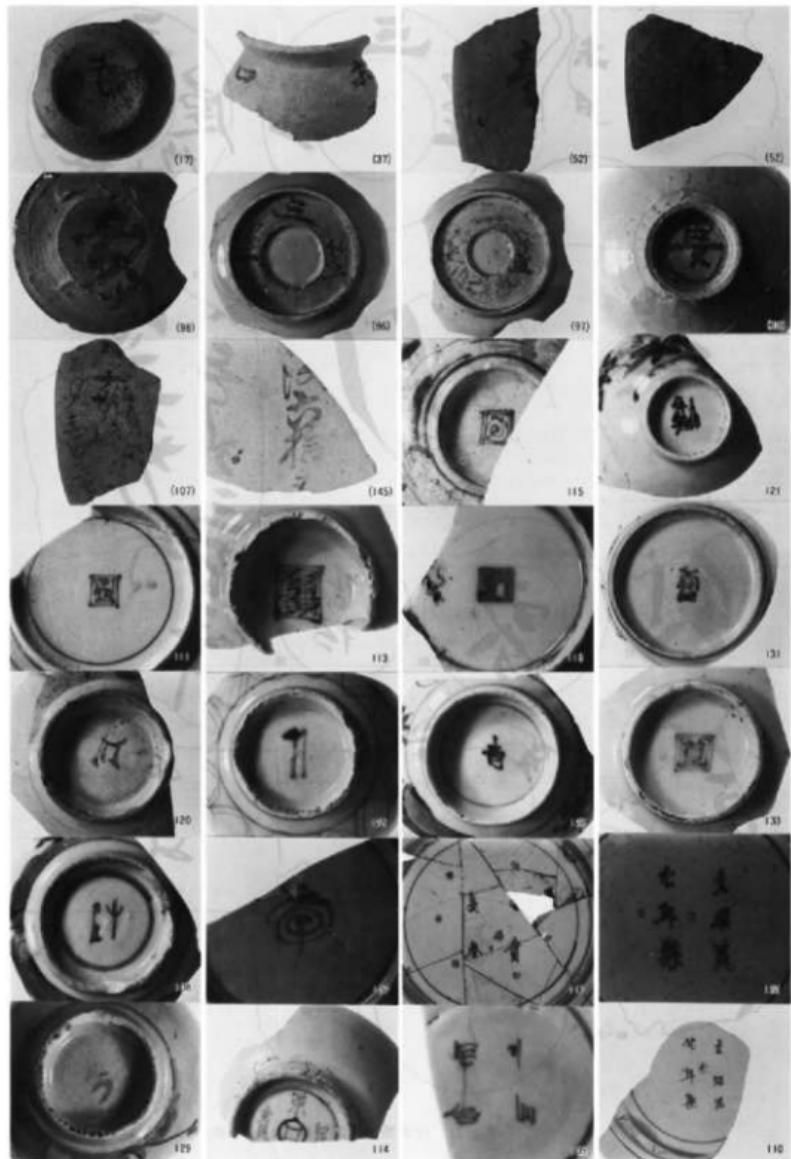


Fig. 72 近世墨書土器及び底部銘 ()の数字は墨書土器一覧表の番号

4) 近世の軒瓦

軒瓦の内、軒丸瓦は巴瓦のみである。巴瓦は、時期が下るにつれて外区の珠文が少なくなりまた巴の頭は丸味を帯びて尾が短くなるといわれている。そうすると新しい要素を備えているのは、珠文の数では2や6、巴の形態では1や4といったところである。

軒平瓦は9に唐草の文様を配しており、他の唐草文のようである。それら唐草文は、元をただせば、宝相華文と唐草文が合わさったものがデフォルメしたような感じをうける。

9は左上に、雀口をもつ鎌軒瓦といわれる形態である。また8には「今宿又一」、11には「ヤママサ（山正）利助」など商標と思われるスタンプが押されている。
(常松)

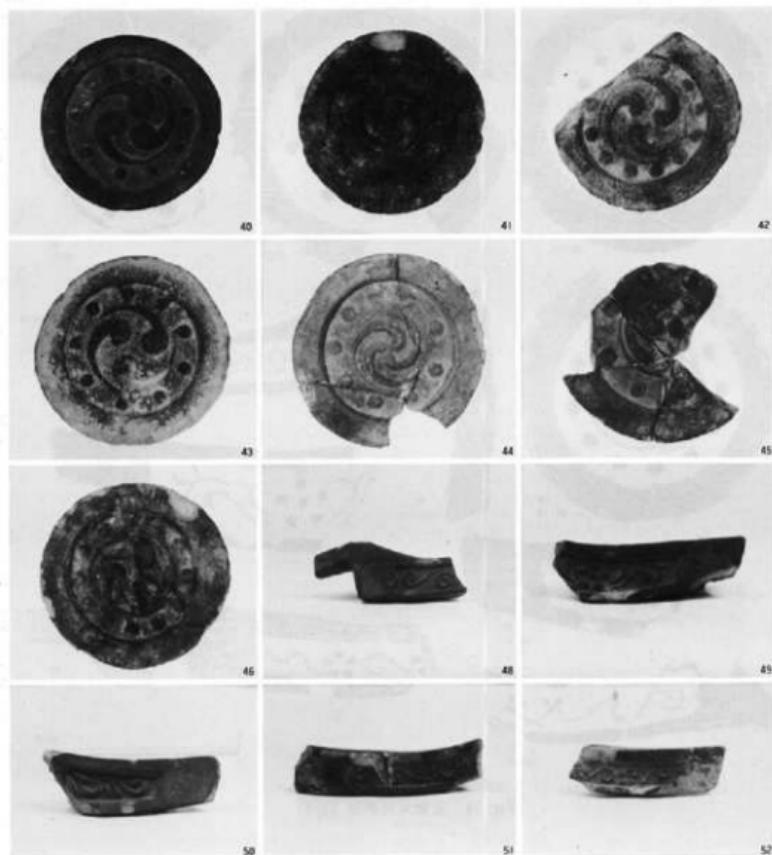


Fig. 73 近世の瓦類



Fig. 74 近世瓦実測図 (1/3)

IV 章 ま と め

Ⅲの調査記録で述べたとおり、遺構の密度や内容は非常に豊富であったが、整理が不充分なため満足できる報告ができなかったのは残念である。紙面の都合で具体的に報告できなかった遺構や遺物については、後日、機会をとらえた発表したいと考えている。ここでは当該調査の成果を簡単に整理し、今後の発掘調査への一助としたい。遺構の時期はⅠ期—弥生時代、Ⅱ期—古墳時代、Ⅲ期—奈良・平安時代、Ⅳ期—中世、Ⅴ期—江戸時代に大きく分けることが可能である。

Ⅰ期の遺構は調査の都合上、確認できなかったが、遺物からみて弥生時代中期～後期の範囲にある。遺構は先述したように30次調査で中期の住居跡、17次調査で後期後半の住居跡を検出更には24・32次調査等で、中期の豪華墓が出土しており、砂丘の頂上周辺が弥生時代の集落及び墓地であったことが伺える。

Ⅱ期の古墳時代は遺物からみるかぎり、布留式土器併行期から須恵器のⅢ期に亘っている。前方後円墳は後世の著しい破壊によってほとんど原形をとどめていないが、残存した葺石や地形変換等から、全体形を復原することができた。全長約60～70m、後円部径約40cmの規模は、福岡平野南部に位置する古墳時代初頭の那珂八幡古墳や4世紀後半の老司古墳に匹敵する。周辺の小型小石室の内、7号小石室の石材は板石を用いている。この板石の小口面のみは赤色顔料を塗布しており、明らかに前方後円墳の石室材を利用したものである。板石の小口積みを行い、且つ、赤色顔料を塗布した石室は鶴崎古墳や老司古墳等の豊穴系の石室構造が考えられる。埴輪、及び葺石の存在からも妥当であろう。埴輪は朝顔・円筒・形象（家？）があるが、時期は川西編年のⅢ期に属するものと考えられる。よって前方後円墳の時期は4世紀末～5世紀初頭に位置づけておきたい。

博多遺跡群では、これまで第17次・27次調査で4世紀代の方形周溝墓2基、木棺墓2基、粘土塚1基等が検出されているが、前方後円墳はこれらに統く時期のものと考えられる。福岡平野北部の前方後円墳としては、那珂八幡古墳（4世紀前半？）に次ぐものである。この時期に海外線に近い地点、しかも砂丘という古墳の築造に適さないところに前方後円墳を築造した意味等、残された課題が多い。あるいは第17次調査で出土した、当前方後円墳の時期に比較的近い時期の朝鮮製瓦質土器（長胴壺）に答があるかもしれない。

小型小石室の7基はいずれも前方後円墳の葺石や板石を用いており、且つ、周溝埋、後に埋り込むことから明らかに前方後円墳に後出する。小石室には1・2・4・5号小石室のように小口積みと構造、7号小石室のように側壁を立てた石棺構造がある。3号・5号小石室は小口、又は側壁の一部が抜き取られた状態を示すが、3号小石室は小口周辺及び、両側壁の中央位置に各々石を配しており、5号小石室は側壁中央と、4隅に配石を行うことから、3・5号小石室は組合せ木棺と考えられる。配石は木棺の固定石であろう。県内で発見される豊穴構造の小石室の内石棺系の小石室には5世紀代に位置づけられるものもあるが、一般的には6世紀以降に出現する。又、立地は前方後円墳や古墳群の周辺に配置される場合が多く、且つ、単独例は少ない。墳丘の明確な例も少なくない。当該調査の小石室も前方後円墳周辺に配置される

状況よりみて、6世紀を前後する時期を考えたい。

III期は明確な造構が少ない。調査区の南側に中近世の造構が密集していたことや、北側の調査I区が期間の制約で調査できなかった点にもある。須恵器・碗の出土量は多い。17次調査では青銅製蛇尾が、西側に隣接する31次調査では丸柄が出土しており、官衙の存在を裏付けている。

IV期は造構が最も集中し、且つ、博多の町割りに関する造構が多い。土壇・井戸・溝・炉跡など豊富であるが、井戸と判断しかねるものは全て土壇とした。井戸はSE001、002を除き全て素掘りの状態を示しているが、本来は木製井筒が存在するものと思われる。井戸SE002は溝SD02から切られており、井戸内からは明の染付・白磁皿等が出土している。溝SD02は大博通りにほぼ平行しており、方位はN-30°-Wにある。この溝の上層からは李朝や古唐津の皿などが出土している。大閣町割に前後する時期を考えられ、町割りに関連すると思われる。溝SD05は磁北に対してほぼ直交する溝であるが、条里方向に一致する。この溝の埋没は12世紀後半が考えられる。遺物では中国の陶磁器の他、李朝・明代の陶磁器が出土するが、国内からの流通品も少なくない。特に12世紀～13世紀の東播系の鉢はコンテナ1箱分に達している。備前の鉢は14世紀以降に出現する傾向にある。

V期は、江戸時代の約300年間に亘っており、土壇、及び井戸のみである。土壇はいずれもゴミ処理として掘られた不定形の穴である。井戸は瓦井戸と素掘り井戸がある。素掘りの井戸は、井戸下部で、腐蝕した桶が出土することから、本来は井筒に桶を用いたものと思われる。井戸も又、廃物投棄場所として利用しており、遺物の内容も豊富である。陶磁器、石臼、木製臼、漆器などの木製品や火鉢、七輪、油壺などの台所用品、又、お歎黒壺、玩具、土面、祭祀具なども出土する。これらはセットとして把握することが可能で、民俗資料としても今後充分に活用できるものが多い。又、陶磁器は伊万里系、唐津系を主体とするが、初期伊万里(1)、古唐津(17)に始まって、19世紀まで年代を追うことが可能である。更に、18世紀のくらわんか茶碗や輸出品としての鉢(9)、大阪商人の特別注文品である紅皿(13)、関西風茶碗などがある。他の窯では、熊本の小岱焼、須恵町の須恵焼、高取焼なども出土し、当時の流通を知る手掛かりとなり得る。

以上、当該調査について、簡略に整理した。資料整理が不充分なため個々の造構については時期を明確にし得ないので残念であるが、後日機会を改めたい。

(井沢、米倉)

（注）

1. 福岡市教育委員会「博多一高速鉄道関係調査(2)」福岡市埋蔵文化財調査報告書第126集 1986年
2. 福岡市教育委員会「筑附国福岡城三ノ丸 考慮屋敷」福岡市埋蔵文化財調査報告書第59集 1980年
3. 昭和61年度の発掘調査を行った。遺物には石庵丁等も出土している。加藤善彦氏より御教示を得た。
4. 福岡市教育委員会「鳥越・七隈古墳群」福岡市埋蔵文化財調査報告書第124集 1985年
5. 福岡市教育委員会「博多出土易陶磁器分類表」「博多一高速鉄道関係調査(1)」所収 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第105集 1984年
6. 近世陶磁器については佐賀県陶磁文化館の大橋康治氏に御教示を得た。

Tab. 2 第28次調査墨書土器一覧表(1)

遺物 番号	出土地点	遺物種類	形 種	墨 書 名	建物 番号	坪 区	出土地点	遺物種類	番 号	墨 書 名
1 35	匂合寺	中国白磁	碗	圓?・綱	38	58	SK 061	繪輪陶器	壹	
2 e	SE 048	中国青磁	碗	六	39	55	SK 067	中国白磁	貳	十
3 M	SK 213	中国白磁	碗	五脚?	40	8	SK 063	中国青磁	四	十二
4 v	SK 123	中国白磁	碗	七	41	71	SE 024	土師質	壹	口*
5 v	SE 049	中国青瓷	碗	桔	42	56	SK 131	中国白磁	積	王綱
6 v	SK 026	漆 直 器	盤	壹	43	e	SE 071	中国白磁	積	金
7 e	SK 121	中国白磁	盤	東	44	e	SK 063	中国白磁	積	口□
8 55	SK 306	中国白磁	盤	東	45	e	SD 02	國底輪器	正	二
9 56	SK 379	中国西安窯	盤	王 二	46	e	SK 003	中国白磁	積	六?
10 e	SK 379	中国青磁	碗	王 工	47	e	SD 02	中国西安窯	積	金
11 55	4号小石室窟	中国白磁	盤	八口内	48	e	SE 071	中国白磁	積	丁脚*
12 e	SK 329	中国白磁	盤	有	49	e	SK 133	中国白磁	積	上 □
13 56	SK 038	中国建康窯	碗	I	50	e	SE 057	中国白磁	積	花 梅
14 e	SK 016	中国白磁	碗	十	51	e	SE 057	中国白磁	積	林 □
15 v	SK 363	中国建康窯	盤	右 久	52	71	波紋 盤	土師質	羅	体
16 v	SE 025	中国西安窯	盤	王 二	53	e	SK 323	中国白磁	積	銀 か
17 71	SK 121	国底陶器	小 碗	も ?	54	e	SK 130	中国白磁	小 盤	
18 56	SE 062	中国白磁	碗	王 一	55	e	SK 086	土師質	盤	角か白・門 番 五五・開
19 e	SE 045	中国白磁	碗	大	56	55	SE 066	中国青磁	積	
20 e	SK 100	中国白磁	碗	舟	57	e	SE 056	中国白磁	積	口 □ 丸
21 e	SK 260	中国白磁	小 碗	王	58	e	SE 066	中国白磁	積	口 □ 丸
22 e	SK 076	中国白磁	碗	十	59	56	SD 02	中国白磁	積	金
23 e	SE 065	中国白磁	碗	大又は丸	60	71	SK 321	土師質	積	造 か
24 e	SE 043	中国白磁	盤	未	61	e	SE 033	高 収 瓶	積	サル田
25 e	SK 103	中国西安窯	碗	花 押	62	56	第1トレンチ	中国白磁	積	
26 e	SK 056	中国白磁	碗	寒	63	e	セ 舌 碗	中国白磁	積	因 か
27 e	第3トレンチ	中国白磁	碗	可又は花押?	64	e	SK 105	中国陶器	積	三
28 e	SE 014	中国白磁	碗	花押?	65	e	SK 131	中国白磁	積	不 善
29 e	SE 070	中国白磁	碗	王 □	66	e	SK 131	中国白磁	積	不 善
30 e	SK 379	中国西安窯	盤	王 □	67	e	SK 131	中国白磁	積	不 善
31 e	高 収 瓶	中国白磁	瓶	全 □	68	e	SK 131	中国白磁	積	不 善
32 e	高 収 瓶	中国白磁	盤	三十 内か	69	e	SE 052	中国青磁	積	不 善
33 e	SK 291	中国白磁	碗	王 一	70	e	SE 067	中国西安窯	積	不 善
34 e	SD 002	中国白磁	盤	不 明	71	57	波紋 盤	中国建康窯	積	不 善
35 55	SK 379	中国白磁	碗	有 久	72	e	SE 354	中国白磁	積	花 押
36 56	第1トレンチ	中国白磁	碗	コ	73	e	SK 038	中国白磁	積	花 押
37 71	SE 021	国底陶器	無 製	二	74	e	SE 064	中夏吉窯	積	

Tab. 2 第28次調査墨書土器一覧表 (2)

遺物 番号	発見 場所	遺物種類	器種	墨書き名	遺物 番号	出土地点	遺物種類	器種	墨書き名
75 57	SK 378	中国白磁	碗		112 57	造 構 釜	中国白磁	碗	
76 *	SD 01	中国白磁	碗	王綱心	113 *	造 構 釜	中国白磁	碗	
77 *	SK 170	中国白磁	碗		114 *	造 構 釜	中国白磁	碗	
78 *	SK 170	中国白磁	碗		115 *	包含 罐	中国白磁	碗	林 口
79 *	SD 02	中国白磁	碗		116 *	包含 罐	中国白磁	皿	侍 口
80 71	SK 001	泥質陶器	壺 罐	五 分	117 *	包含 罐	中国白磁	皿	西十口又は四角
81 55	SK 219	中国白磁	壺	王 二	118 *	包含 罐	中国白磁	壺	花 神
82 57	SK 124	中国白磁	碗	不明	119 *	包含 罐	中国白磁	碗	
83 *	SK 124	中国白磁	碗		120 *	包含 罐	中国白磁	碗	大 か
84 *	不 売	中国白磁	碗	花 神	121 *	包含 罐	中国白磁	碗	花 神
85 55	SK 323	中国白磁	皿	花 神	122 *	包含 罐	中国白磁	碗	忠
86 57	造 構 釜	中国青磁	皿	林 か	123 *	包含 罐	中国白磁	碗	忠
87 *	SK 175	中国白磁	碗	花 神	124 *	包含 罐	伊万里焼付	皿	知 月か
88 55	SE 033	中国白磁	皿		125 *	包含 罐	中国青磁	碗	十
89 57	SK 218	泥質陶器	鉢	不明	126 *	造 構 釜	中国白磁	碗	
90 *	SK 225	泥質陶器	盛木鉢	組メ土	127 *	造 構 釜	中国白磁	碗	尾
91 71	SK 229	茶 茶 5	瓶	ダ、カタ、シコ、ダ	128 *	造 構 釜	中国白磁	碗	孰 か
92 57	SK 229	中国白磁	皿	梅の花か	129 71	造 構 釜	中国白磁	有明丸	多
93 *	SK 170	中国白磁	皿	侍	130 57	造 構 釜	中国白磁	書	王 二
94 *	SE 052	中国白磁	碗	不明	131 *	SK 248	中国白磁	碗	標又は朝の象形字
95 *	SK 331	中国白磁	碗		132 55	第5トレンチ	中国白磁	碗	永 か
96 71	SK 220	伊万里焼付	皿	三足盤	133 *	第5トレンチ	中国白磁	内	未 か
97 71	SK 220	伊万里焼付	皿	三足足格式丸	134 57	著白粉器	中国白磁	瓶	王
98 57	SK 048	京 烧 瓷	碗	長 か	135 *	SK 124	中国白磁	碗	侍
99 55	SK 312	泥質陶器	天目碗	社	136 *	SK 124	中国白磁	皿	-
100 57	SK 006 SK 006	泥質陶器	甕		137 *	造 構 釜	中国白磁	碗	侍
101 *	SK 255	中国白磁	碗	花 神	138 *	SK 001	中国白磁	皿	大阪又は太左
102 *	SK 255	中国白磁	碗	不明	139 *	SK 005 SK 006	土 席 盆	皿	七
103 *	SD 05	中国白磁	皿	不明	140 *	造 構 釜	中国白磁	碗	様 か
104 *	SK 328	中国白磁	碗	□□丸	141 *	SD 02	中国同安	皿	天 明
105 *	SK 375	中国白磁	碗	花 神	142 *	第5トレンチ	中国白磁	瓶	
106 *	SK 336	中国白磁	碗	王	143 *	搜 瓶	中国白磁	瓶	
107 71	SK 97	三郎賀土器	鉢		144 *	第5トレンチ	中国白磁	瓶	
108 57	SK 101	中国白磁	碗		145 *	堂上 内	上 鮎 罐	鍋 罐	
109 *	SE 012	中国白磁	皿		146 *	造 構 釜	伊万里白磁	(朱赤)	
110 71	造 構 釜	泥質陶器	瓶	もみじ	147 *		伊万里焼付	(朱赤)	
111 57	造 構 釜	中国白磁	皿						

*福岡市歴史資料館の高田茂廣氏及び埋蔵文化財課の池崎雅二氏の教示を得た。

Tab. 3 第28次調査青銅製品一覧表 (①)

番号	種類	出土地点	計測値 (単位:cm)	備考
1	鐘管吸口部	遺構 A	現存長5.5、羅字結合部径1.0、吸口部径0.5	内部に羅字材質残る
2	鐘管大口部	遺構 A	現存長5.2、羅字結合部径1.1	丸頭を欠く
3	鐘管大口部	SK 001	現存長5.9、火道外径1.5、内径0.8、羅字結合部径0.9	
4	鐘管吸口部	SK 001	現存長6.3、羅字結合部径0.95	内部に羅字材質残る
5	鐘管吸口部	SK 002	現存長5.25	
6	鐘管吸口部	SK 005	現存長4.5、羅字結合部径0.95	内部に羅字材質残る
7	鐘管吸口部	SK 005 - SK 006	現存長4.9、羅字結合部径1.0	内部に羅字材質残る
8	鐘管吸口部	SK 006 - SK 006		
9	鐘管吸口部	SK 006 - SK 006	現存長4.9、羅字結合部径1.2	
10	鐘管火口部	SK 006	長さ5.25、羅字結合部径1.3 - 1.4、火道外径1.35、火道内径1.1、深さ0.9	
11	鐘 管	SK 006		
12	鐘管大口部	SK 006	現存長4.5、羅字結合部径1.2	内部に羅字材質残る
13	鐘 管 火 口	SK 010	外径1.7、内径1.4、深さ0.9	
14	鐘管大口部	SK 018	長さ6.1、羅字結合部径0.9	
15	鐘管火口部	SK 018	長さ5.8、火道外径1.5、火道内径1.3、深さ0.9	
16	鐘管吸口部	SK 018	現存長5.4	
17	鐘管大口部	SK 018	現存長5.75	丸頭を欠く
18	鐘管大口部	SK 018	現存長約7.15	
19	鐘管吸口部	SK 019	長さ4.3、吸口部径0.6、羅字結合部径1.0	内部に羅字材質残る
20	鐘管吸口部	SK 019	現存長7.5、羅字結合部径1.1	
21	鐘管吸口部	SK 019	長さ5.6、羅字結合部径1.0	
22	鐘管吸口部	SK 019	長さ6.6、羅字結合部径0.8、吸口部径0.6	
23	鐘管火口部	SK 019	長さ5.5、火道外径1.5、火道内径1.1、深さ0.75	
24	鐘管火口部	SK 019	現存長5.6、羅字結合部径0.9	丸頭を欠く
25	鐘管大口部	SK 019	現存長4.0、火道外径1.75、火道内径1.35、深さ0.8	
26	鐘管火口部	SK 019 - SK 020	長さ4.9、火道外径1.35、火道内径1.1、深さ0.85 羅字結合部径0.85	
27	鐘管吸口部	SE 014	吸口部径0.6	
28	鐘 管	SE 014	現存長2.7	内部に羅字材質残る
29	鐘管火口部	54号土壁 SK 046	長さ4.1、火道外径1.5、火道内径1.3、深さ0.9	内部に羅字材質残る
30	鐘 管	70号上壁 SR 061		内部に羅字材質残る
31	鐘管大口部	114号土壁 SK 099	長さ5.6、火道外径1.65、火道内径1.35、深さ0.9	内部に羅字材質残る
32	鐘管吸口部	114号上壁 SK 099	現存長6.4	
33	鐘管吸口部	120号土壁 SK 103	長さ6.8、羅字結合部径0.9	内部に羅字材質残る
34	鐘管火口部	133号上壁 SK 113	長さ4.1、火道外径1.65、火道内径1.35、深さ1.0 羅字結合部径1.0	
35	鐘管火口部	137号土壁 SK 116	長さ5.7、火道外径1.6、火道内径1.35、深さ1.0 羅字結合部径1.1	
36	鐘管火口部	SK 158 - SK 160	現存長4.6、羅字結合部径1.0、吸口部径0.4	
37	鐘管吸口部	SE 065	長さ6.6、羅字結合部径1.0、吸口部径0.4	

Tab. 3 第28次調査青銅製品一覧表 (②)

番号	種類	出土地点	計面積 (平方cm)	備考
36	環管火口部	SK 281	現存長6.3、火口外径1.5、火口内径1.25、深さ1.1	
39	環 管	SK 281		土圧により圧縮されている
40	環 管	SK 367	現存長9.1	土圧により圧縮されている
41	環 管	瓦 口 罐	現存長4.6	
42	環管火皿	瓦 口 罐	外径1.7、内径1.45、深さ約1.0	
43	瓦 瓦	達 構 面	外径1.3、内径1.0	
44	瓦 瓦	達 構 面	外径2.7、内径2.2	
45	瓦 瓦	達 構 面	外径2.7~2.9、内径1.4~1.6	1枚上塗装無
46	錫 金 具	達 構 面	幅1.75、厚0.05	ばたん状
47	錫 金 具	SK 018	外径2.2、内径0.4、厚0.1	ばたん状
48	錫 金 具	SE 041	現存長2.7、山幅0.8、谷幅0.6、厚0.1	
49	錫 金 具	SK 198	現存長3.9、幅1.15、高さ0.6	
50	柄錫金具	P 1	長さ3.85、幅最大1.2、厚約0.13	変形のものが二連状を呈する
51	柄錫金具	達 構 面	長さ3.8、幅3.0、高さ1.7~2.4	端に錫金を施す
52	瓦 か き	SE 079	長さ8.5	赤網
53	釘	瓦 口 罐	長さ7.5	
54	釘	SK 011	現存長2.1	
55	鋼 鍔	SK 025	径2.1	
56	鋼 鍔	SK 215	径3.7	
57	鋼 鍔	SK 237	高さ6.2、内面幅2.6	
58	錫 金 具	SK 046	径1.7~1.8、厚0.2	ばたん状
59	環状鋼製品	SK 018	幅0.85、厚約2.0	一方に錫金を施す
60	環状鋼製品	SK 281	幅0.85、厚0.05	土圧により変形
61	銅製品片	SK 005・SK 006		-
62	銅製品片	SK 018		
63	銅製品片	SE 023	現存長2.6、幅1.5、厚さ0.3	
64	銅製品片	SE 039		
65	器種不明	達 構 面	現存長10.3、現存幅6.3	
66	器種不明	SK 005・SK 006	現存長5.1、幅0.9、厚さ0.1	一方の端に幅0.3mmの凹みあり
67	器種不明	SK 198	現存長3.7、幅2.3、厚0.1	
68	器種不明	SK 046	高さ2.5、口径1.8、底径1.6	円柱状
69	器種不明	SE 047	現存長6.30、幅4.35~5.3、厚0.15~0.2	
70	器種不明	SK 281	現存長2.9、厚0.1	一方の端が鋸をなす
71	器種不明	3枚トレンチ腹板	幅約3.58、厚約0.8	縫合部に双頭文様の透し彫四つ輪
72	器種不明	不 明	径2.1、厚さ0.2	

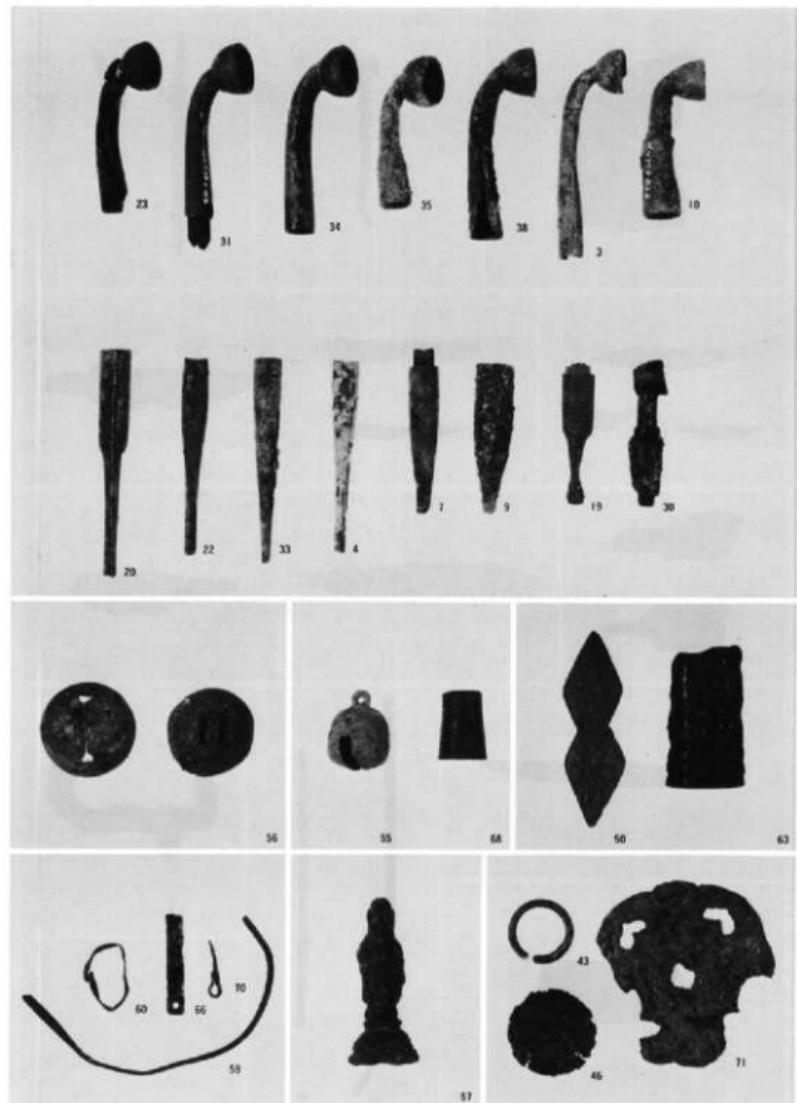


Fig. 75 中近世の青銅製品

数字は青銅器一覧表の番号に一致する。

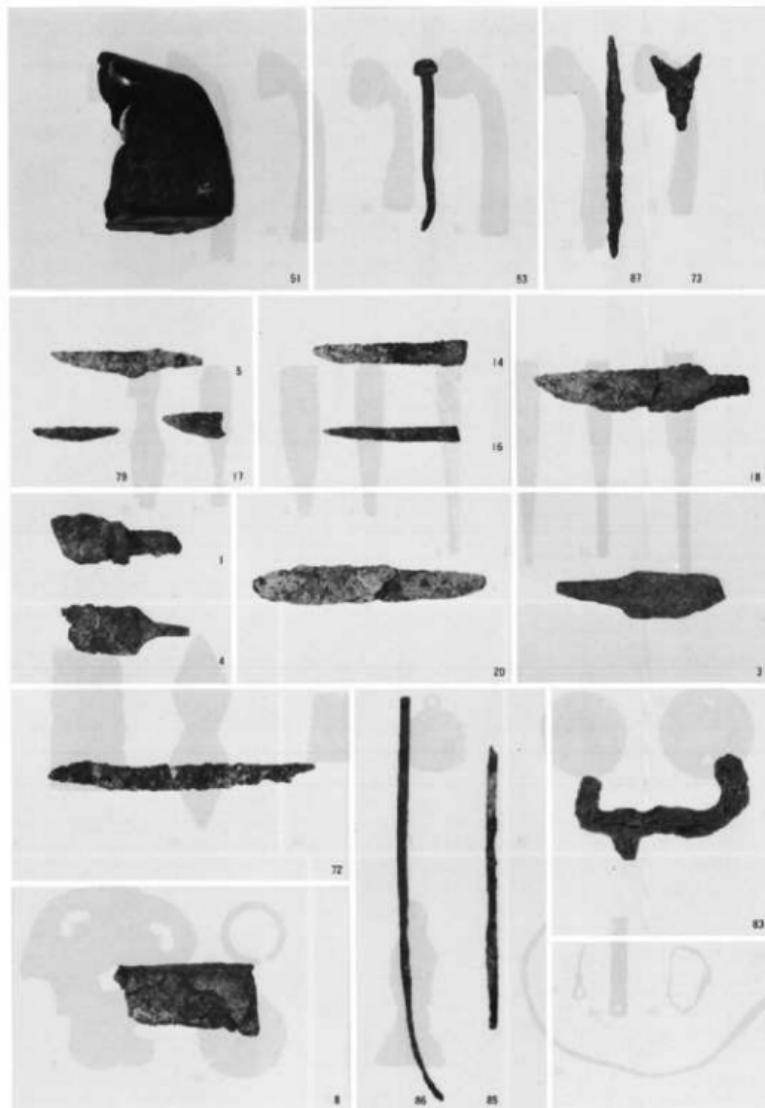


Fig. 76 中近世の青銅器・鉄製品 数字は青銅器・鉄製品一覧表の番号に一致する。

Tab. 4 第28次調査鉄製品一覧表 ①

通号 番号	種類	出土場所	計測値 (単位: cm)			説明
			長	幅	厚	
1	鹿丁か	櫛風	現存長 11.7	身幅約4.2		
2	鹿丁又は動物	SE 018	現存長 12.2	3.8	1.0~0.1	表面は2等辺三角形
3	鹿丁又は蛇	SK 048	現存長 9.7	5.0	0.2~0.5	先端が環をもつ
4	鉄刀子	SK 098	現存長 13.1 身幅約 3.7	身 4.2、柄 0.4	身 0.2、柄 0.4	
5	刀子	遺構面	現存長 約 5.7	開口 1.7	0.7	古墳時代
6	刀子か?	SK 021	約 9.0			鈍が残る
7	刀子か?	SK 021	現存長 3.6	約 1.3	約 0.2	
8	刀子	SE 011	現存長 10.4	身最大約2.9、柄約1.8	約 0.3	
9	刀子か?	SK 014	現存長 6.6	約 1.5	0.2	側の木質残る、身のみ残存
10	刀子	SK 014	現存長 3.0	1.3	0.2	破片
11	刀子	SK 015	現存長 5.2	約 1.3	約 0.2	
12	刀子か?	SE 023	現存長 10.1	1.1	0.3	
13	刀子か?	SK 084	現存長 5.1	1.5~1.6	0.4	
14	刀子	SK 128・SK 129・ SK 130	現存長 9.75	身最大 1.6		
15	刀子	SK 134	現存長 4.9	1.3		身のみ残存
16	刀子	遺構面	現存長 8.8	1.0	0.25	SK 300号上塗面側
17	鍔刀	SE 018	現存長 5.9	身最大 2.4	0.2	先端部分残存
18	鍔小刀	遺構面	現存長 17.3 身幅約 14.1	身最大約3.5、柄1.3	0.5	約残る
19	鍔小刀	宝塚層	現存長 6.4	約 1.3	約 0.2	
20	鍔小刀	宝塚層	現存長約21.2	約 2.6	約 0.2	
21	鍔小刀	SK 336	現存長 7.2	約 2.2	0.5	先端部分残存
22	鍔鋸	SE 027		約 3.0		月牙鋸刃
23	鍔鉤	SK 220	現存長 3.7	1.5	0.2	先端部分残存
24	鍔鉤	SD 022下層	現存長 4.2	身最大 1.4	0.15	古墳時代
25	鍔鉤	SK 336	約15.2	身最大約 1.8	0.4	先端はT字形を呈す
26	馬頭	櫛土内		1.6~2.1	0.5	
27	鍔片	包含層		現存幅 5.5	約 1.3	トレンチ断面出土
28	鍔片	遺構面	現存長約 2.6		0.3	
29	鍔片	包含層	現存長 3.0	6.7	0.2	
30	鍔片	包含層	現存長 4.1		0.1	
31	鍔片	表探		2.6~4.2	0.3	脇のあるL字形
32	鍔片	表探	現存長 4.8	身存幅 3.8	0.5	
33	鍔片	SE 018	現存長 4.0	約 2.7	0.1	
34	鍔片	SK 220	現存長 7.8	現存幅 2.6	0.1	
35	鍔片	SK 241	現存長約 3.0	約 2.9		
36	鍔片	SK 243	現存長約 5.2	約 2.6	約 0.4	
37	棒状鉄製品	SK 046	約21.9	約 0.7	約 0.7	

Tab. 4 第28次調査鉄製品一覧表(②)

遺物 番号	種 類	出 土 地 点	計 測 値 (単位cm)			備 考
			長	幅	厚	
38	棒状鉄製品	SK 038	現存長 22.7	1.0	0.9	
39	器種不明	通 構 面	約 6.7	最大 4.6		
40	器種不明	SE 061	約 12.6	1.3	0.2	舟戸内、幅広のし字形
41	器種不明	耕 土 内	7.4	1.4	0.1	精か
42	器種不明	耕 土 内	現存長 6.2		0.1	近・現代か?
43	器種不明	耕 土 内		現存幅 3.3	0.15	
44	器種不明	包 含 層	現存長約 11.3	2.2		
45	器種不明	SD 02上層	現存長 4.0			
46	器種不明	堆 積				鋸が審しい
47	器種不明	SK 003	現存長 5.4	約 1.9		長方形狀
48	器種不明	SK 011	高さ 5.7	幅延 4.6	0.2	立内三角形狀
49	器種不明	SK 012	6.6	2.8	0.9~0.3	刃端の破片か
50	器種不明	SK 015	現存長約 5.4			鋸が審しい
51	器種不明	SK 021	現存長 3.2	現存幅 2.6	0.2	木質残る
52	器種不明	SE 018	現存長 11.3	1.7	0.2	
53	器種不明	SE 018		約 1.6	1.1~0.2	
54	器種不明	SE 018	現存長 5.7	最大 4.1	0.2	二等辺三角形狀
55	器種不明	SE 018	現存長約 12.3	2.5	約 0.9	
56	器種不明	SE 018	現存長 8.6	1.0~1.3		
57	器種不明	SE 018	約 0.8			鍔形狀。近・現代か?
58	器種不明	SE 023	現存長約 6.3	1.6~3.1	0.3	丸環を欠く。二等辺三角形狀
59	器種不明	SK 006	現存長約 6.9	0.7~1.0	約 0.3	刀子形
60	器種不明	SE 028	現存長約 6.1	1.1	約 0.7	
61	鉄 片	SE 033			0.1	木質残る。板の破片狀
62	器種不明	SE 054	現存長 3.8	最大幅 4.6	0.6	
63	器種不明	SK 171	現存長約 4.3	1.0		刀子形
64	器種不明	SE 044	現存長 9.1			鍔状に近い鋸が審しい
65	器種不明	SE 046	現存長 11.0	最大幅 1.5		源代か。光端が錆をなす
66	器種不明	SK 213	現存長 7.4	2.8		刀物
67	器種不明	SK 213	現存長 5.3	2.6	0.2	
68	器種不明	SE 059	現存長 8.7	現存幅 5.3~3.8	0.3	平べったい板状
69	器種不明	SK 067	現存長約 4.8	0.6	0.2	
70	器種不明	SK 290	現存長 18.8	0.6	0.1	
71	器種不明	SE 027	現存長 5.0	現存幅 1.9	0.2	
72	小刀又は塊	SK 219	全長 29.3 身長 19.9	葉子約 1.4 身 約 3.0	葉子 0.4	佐賀県市場遺跡より回収性出土
73	鉄 鋸	包 含 層	現存長 5.7	幅 3.6 基礎 3.0	0.6~0.4	有茎。中世
74	刀子又は鉄鋸	堆 積	現存長 4.7	1.0	0.3	身の一部現存

Tab. 4 第28次調査鉄製品一覧表 (3)

遺物 番号	種 類	出 土 地 点	計 測 値 (単位cm)			説 明
			長	幅	厚	
75	刀子	遺構面	現存長 3.1	現存最大 1.6	0.2	先端部分残存
76	刀子	遺構面	現存長 4.9	0.9	0.3	
77	刀子又は鉗頭	遺構面	現存長 2.1	0.6	0.3	
78	刀子	包合層	現存長 4.9	1.0~1.4	0.2	
79	刀子	包合層	8.1	最大 1.4	0.2~0.4	
80	刀子	包合層	現存長約 7.7			SK300南側、舟形複数、越前富士山
81	刀子	SK 038	現存長約 5.7			木質残る
82	馬具か?	遺構面	現存長 3.1	0.9~0.6	約 0.7	L字形、先端は棒状に曲がる
83	馬具か?	SK 162	現存長 6.2	0.7~0.6	0.4	細長いU字形
84	馬具か?	不明	現存長 3.8	3.7~0.5	0.4~0.3	Y字形
85	金著	遺構面	現存長 20.2	0.5	0.3	
86	金著	SE 033	28.6	0.6	0.3	端部は内側へ折りかえす。先端付先端付近から縦やかにカーブする
87	棒状鉄製品	包合層	15.5	0.9~0.4		軸は其中が最大径を出す
88	棒状鉄製品	不明	約26.2	1.3	1.0	端部が大きい
89	棒状鉄製品	不明	約24.0	0.5	0.5	端部が大きい
90	塔頭	SE 011			0.3	円柱残存。木質付着
91	金具	遺構面	現存長 5.7	0.6		端部が輪状をなす
92	鉄片	遺構面	現存長 4.9	1.3~1.8	0.6~0.3	鉄物
93	鉄片	遺構面	現存長 4.0		0.8	
94	鉄片	SE 011	現存長 4.5	2.0	0.4	
95	鉄片	SE 034	現存長約 2.9			
96	鍵か?	不明	約 2.3		約 0.2	月片
97	器種不明	トレンチ	約 6.2	約 1.0		
98	器種不明	トレンチ		約 1.6	0.2~0.3	平べったいL字形
99	器種不明	2号トレンチ壁地基		幅 3.4	0.2	轍か、轍中に方形(長さ0.4cm)の把手突起
100	器種不明	SD02上層	現存長約10.2	約 1.0	約 0.8	L字形
101	器種不明	遺構面	現存長 4.1	0.9~0.3	0.6~0.2	轍やかなL字形を呈する
102	器種不明	遺構面	現存長約 4.6			
103	器種不明	包合層	現存長約 5.5			
104	器種不明	SK 006	現存長約 3.0			
105	器種不明	SK 113	現存長約 10.4	1.7	0.8	
106	器種不明	SK 096	現存長約 5.2			
107	器種不明	SK 254	約 4.3	約 0.9		
108	器種不明	SK 270	現存長約 2.9	約 0.8		101、107と類似
109	器種不明	SK 277	約 9.9			
110	器種不明	SK 331	現存長約 4.4	1.1	1.1	
111						

Tab. 5 第28次調査貨幣一覧表 ①

番号	銘 貨名	外 径 (mm) 水 平 直 径	外 縁厚 (mm)	出 土 地 点	初 鋤 年	時 代	備 考
1	開元通宝	2.31	0.05	0.11	唐 楊 面	621 (武徳4年)	唐
2	開元通宝	2.46	2.46	0.12	唐 楊 面	621 (武徳4年)	唐
3	開元通宝	2.36	2.36	0.09	SK 018	621 (武徳4年)	唐
4	祥符通宝	2.51	2.54	0.11	宋 楊 面	1008 (太平祥符元年)	北宋
5	崇寧通宝	3.00	3.55	0.25	宋 楊 面	1103 (崇寧2年)	北宋
6	元祐通宝	2.40	2.40	0.14	SE 001 摺り方	1093 (元祐8年)	北宋
7	元祐通宝	2.39	2.39	0.11	SK 063	1093 (元祐8年)	北宋
8	元祐通宝	2.41	2.40	0.12	SK 272	1093 (元祐8年)	北宋
9	元祐通宝	2.45	2.40	0.15	唐 楊 面	1093 (元祐8年)	北宋
10	元祐通宝	2.45	2.49	0.12	不 明	1093 (元祐8年)	北宋
11	聖宋元宝	2.44	2.49	0.11	唐 楊 面	1101 (聖宋元年)	北宋
12	政和通宝	2.54	計測不可	0.12	唐 楊 面	1111 (政和元年)	北宋
13	船草元寶	2.50	2.50	0.11	無 合 帯	1068 (聖寧元年)	北宋
14	聖寧元寶	2.45	2.45	0.12	唐 楊 面	1068 (聖寧元年)	北宋
15	聖寧元寶	2.39	2.35	0.15	唐 楊 面	1068 (聖寧元年)	北宋
16	聖寧元寶	2.40	2.40	0.15	SK 086	1068 (聖寧元年)	北宋
17	聖寧元寶	2.56	2.56	0.11	SD 022 正側	1068 (聖寧元年)	北宋
18	明道元寶	2.61	2.59	0.10	SD 02	1032 (明道元年)	北宋 他に宣德通宝1枚出土
19	皇宋通宝	2.50	2.50	0.11	SD 022 上帶	1039 (宣元2年)	北宋
20	皇宋通宝	2.45	計測不可	0.11	珠 土 中	1039 (宣元2年)	北宋
21	天聖元寶	2.50	2.50	0.12	不 明	1023 (天聖元年)	北宋
22	天聖元寶	2.49	2.50	0.12	SD 03 上帶	1023 (天聖元年)	北宋
23	皇祐通宝	2.50	計測不可	0.11	SK 038	1019 (皇祐元年)	北宋
24	嘉祐元寶	2.50	2.50	0.11	唐 楊 面	1054 (嘉祐七年)	北宋
25	咸平元宝	2.50	2.50	0.12	SK 213	986 (咸平元年)	北宋
26	景德元宝	2.42	2.42	0.15	SE 065	1004 (景德元年)	北宋 他に寛永通宝1枚出土
27	景德元宝	2.52	2.52	0.11	不 明	1004 (景德元年)	北宋
28	大觀通宝	2.50	2.50		齊 拆	1107 (大觀元年)	北宋
29	元豐通宝	2.49	2.49	0.14	SK 321	1078 (元豐元年)	北宋
30	元豐通宝	2.40	2.50	0.11	不 明	1078 (元豐元年)	北宋
31	宋元通宝か?	計測不可	計測不可	0.09	唐 楊 面	960 (建隆元年)	北宋 總が鋸い
32	嘉祐通宝	2.51	2.51	0.11	唐 楊 面	1066 (嘉祐元年)	北宋
33	紹聖元宝	2.40	2.40	0.10	唐 楊 面	1094 (紹聖元年)	北宋 SKの裏返
34	大中通宝	2.25	2.29	0.15	唐 楊 面	1367 (至正22年)	元
35	永樂通宝	2.55	2.60		唐 楊 面	1408 (永樂6年)	明
36	永樂通宝	2.50	2.50	0.15	SK 019	1408 (永樂6年)	明 他に寛永通宝1枚出土
37	宣德通宝	2.49	2.49	0.14	SD 02	1433 (宣德8年)	明

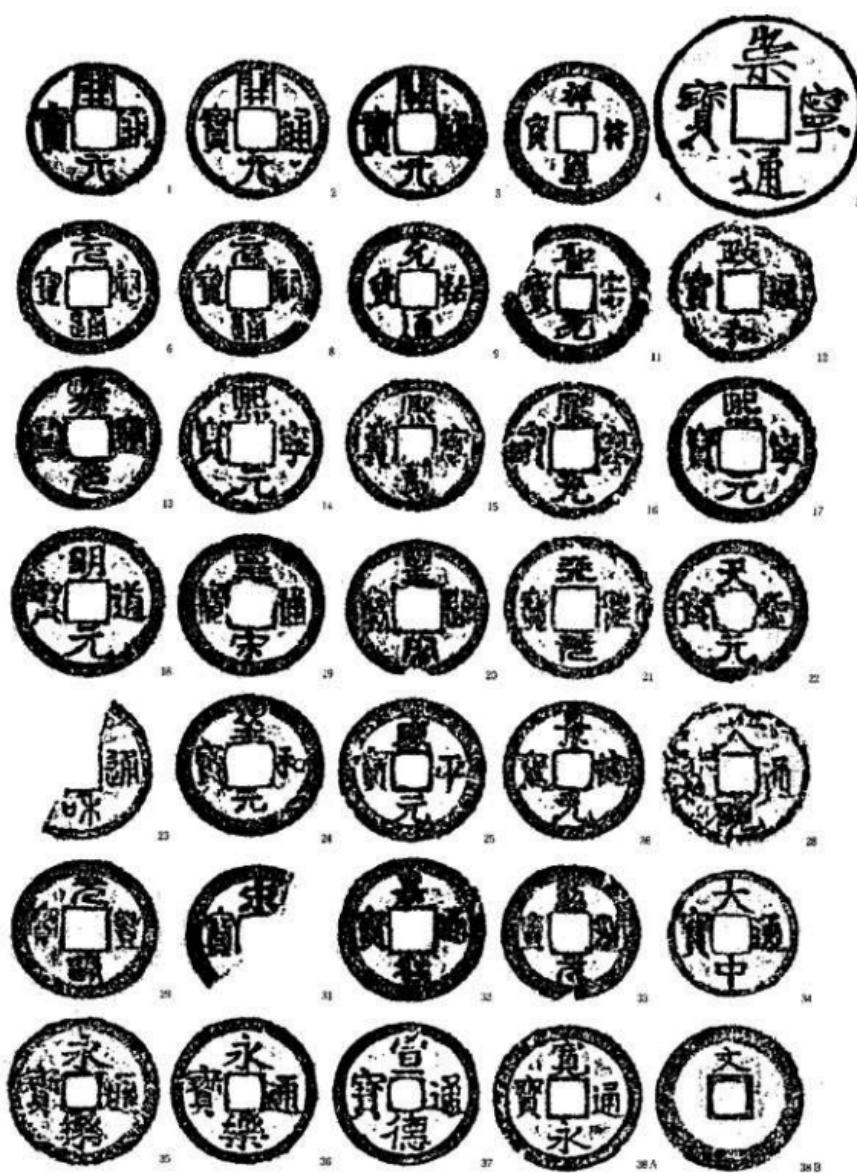


Fig. 77 中近世の貨幣 (1/1)

数字は貨幣・監表の番号に一致する。

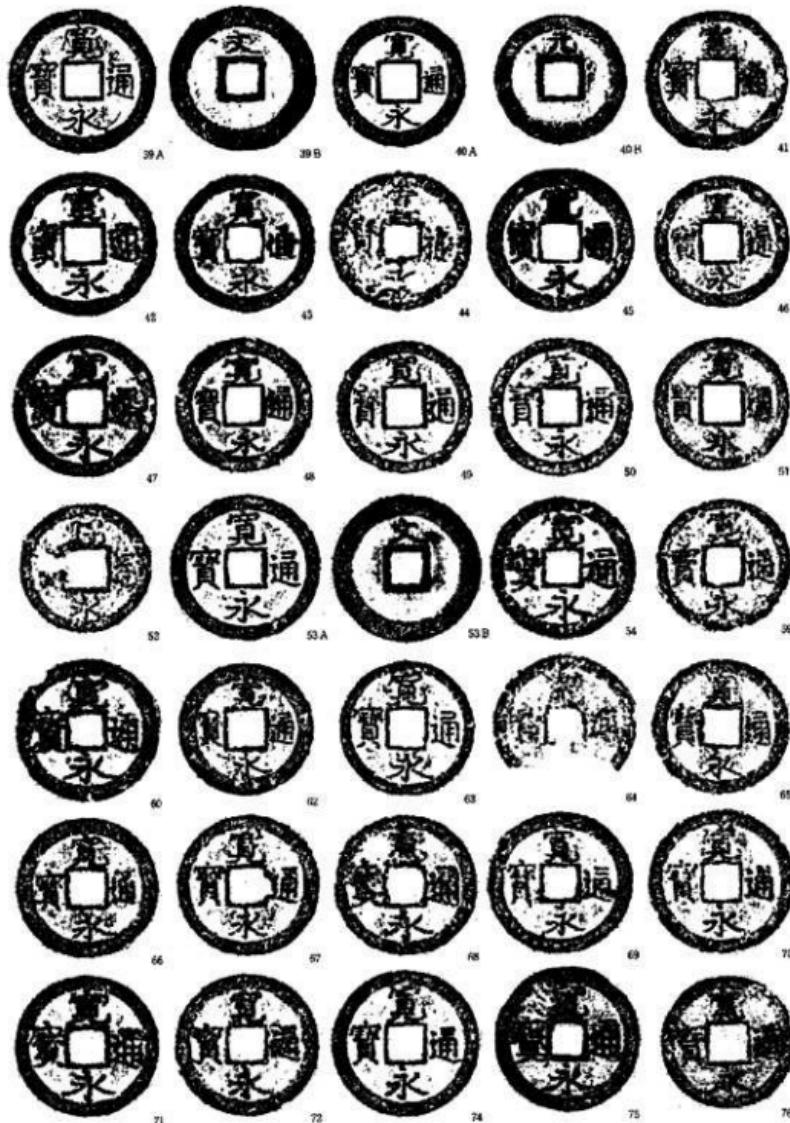


Fig. 78 近世の貨幣 (1/1) (Aは表Bは裏を示す) 数字は貨幣一覧表の番号に一致する。

Tab. 5 第28次調査貨幣一覧表 (2)

番号	種貨名	外 横 (cm)		外幅厚 (mm)	出 土 地 点	朝 聞 年	時代 備 考
		水 平	垂 直				
36	寛永通宝	2.51	2.51	0.11	造 構 面	1668 (寛文 8 年)	江戸 背面に「文」
39	寛永通宝	2.51	2.51	0.15	造 構 面	1668 (寛文 8 年)	江戸 背面に「文」
40	寛永通宝	2.26	2.26	0.1	造 構 面	1741 (乾隆元年)	江戸 背面に「文」
41	寛永通宝	2.46	2.46	0.1	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
42	寛永通宝	2.51	2.51	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
43	寛永通宝	2.44	2.44	0.1	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
44	寛永通宝	2.42	2.42	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
45	寛永通宝	2.49	2.49	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
46	寛永通宝	2.31	2.31	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
47	寛永通宝	2.55	2.55	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
48	寛永通宝	2.35	2.35	0.09	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸 背面に「足」、裏側、下野是尾所銘
49	寛永通宝	2.35	2.35	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
50	寛永通宝	2.45	2.45	0.11	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
51	寛永通宝	2.30	2.30	0.1	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
52	寛永通宝	2.21	2.21	0.1	造 構 面	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
53	寛永通宝	2.51	2.51	0.11	造 構 面	1668 (寛文 8 年)	江戸 背面に「文」
54	寛永通宝	2.51	2.50	0.15	表 構	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
55	寛永通宝	約2.50	計測不可	0.12	SK 001	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
56	寛永通宝	約2.51	約2.51	0.12	SK 001	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
57	寛永通宝	約2.41	約2.41	0.12	SK 001	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
58	寛永通宝	約2.42	約2.42	0.11	SK 001	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
59	寛永通宝	2.31	2.29	0.11	SK 005 - SK 006	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
60	寛永通宝	2.46	2.40	0.11	SK 005 - SK 006	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
61	寛永通宝	2.50	2.50	0.11	SK 005 - SK 006	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
62	寛永通宝	2.31	2.31	0.11	SK 006	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
63	寛永通宝	2.31	2.31	0.11	SK 384	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
64	寛永通宝	2.41	計測不可	0.11	SK 384	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
65	寛永通宝	2.40	2.39	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
66	寛永通宝	2.45	2.45	0.1	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
67	寛永通宝	2.42	2.42	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
68	寛永通宝	2.42	2.45	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
69	寛永通宝	2.50	2.50	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
70	寛永通宝	2.50	2.50	0.11	SK 019	1668 (寛文 8 年)	江戸 背面に「文」
71	寛永通宝	2.45	2.45	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
72	寛永通宝	2.46	2.46	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸 背面に「足」、裏側鉤形開口部
73	寛永通宝	2.31	2.31	0.11	SK 019	1636 (寛永 13 年) 以降	江戸
74	寛永通宝	2.51	2.51	0.11	SE 005上層	1668 (寛文 8 年)	江戸 背面に「文」

Tab. 5 第28次調査貨幣一覧表 ③

番号	銘 貨 名	外 　　径 (cm)		外縁厚 (cm)	出 　　土 地 点	考 　　證 年	時代	著 　　者
		本 　　平	母 　　直					
75	寛永通宝	2.55	2.55	0.11	慶 　　岳	1636 (寛永13年) 極端	江戸	
76	寛永通宝	2.30	2.30	0.10	分 　　合 展	1636 (寛永13年) 極端	江戸	
77	一 　　錢	2.81	2.83	0.19	庚 　　禪 面	1874 (明治7年)	明治	
78	不 　　明	計測不可	計測不可	0.11	庚 　　禪 面			鑄が難しい
79	不 　　明	計測不可	計測不可	0.15	庚 　　禪 面			*
80	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	庚 　　禪 面			*
81	不 　　明	2.50	2.50	0.15	庚 　　禪 面			*
82	不 　　明	2.50	2.50	0.15	庚 　　禪 面			*
83	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	庚 　　禪 面			*
84	不 　　明	計測不可	2.52	0.12	庚 　　禪 面			*
85	不 　　明	2.50	2.60	約0.25	庚 　　禪 面			*
86	不 　　明	2.50	2.50	0.1	庚 　　禪 面			*
87	不 　　明	計測不可	計測不可	0.1	但 　　土 中			*
88	不 　　明	計測不可	計測不可	0.11	S D 01			鑄片
89	不 　　明	計測不可	2.45	0.12	S D 02			鑄が難しい
90	不 　　明	計測不可	計測不可	0.1	S D 02上葉			*
91	不 　　明	計測不可	計測不可	0.11	S D 02上肩			鑄片
92	不 　　明	2.49	2.51	0.11	S D 08			明治ベント内、鑄が難しい
93	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	S K 006			鑄が難しい
94	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	S K 006			*
95	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	S E 012			*
96	不 　　明	2.6	2.6	約 0.2	S E 012			*
97	不 　　明	計測不可	計測不可	0.2	S K 031			*
98	不 　　明	2.15	2.15	0.11	S K 061			*
99	不 　　明	計測不可	計測不可	計測不可	S K 129・S K 129			*
100	不 　　明	約2.50	約2.50	約 0.2	S K 172			*
101	不 　　明	2.40	2.40	0.12	S K 064			*

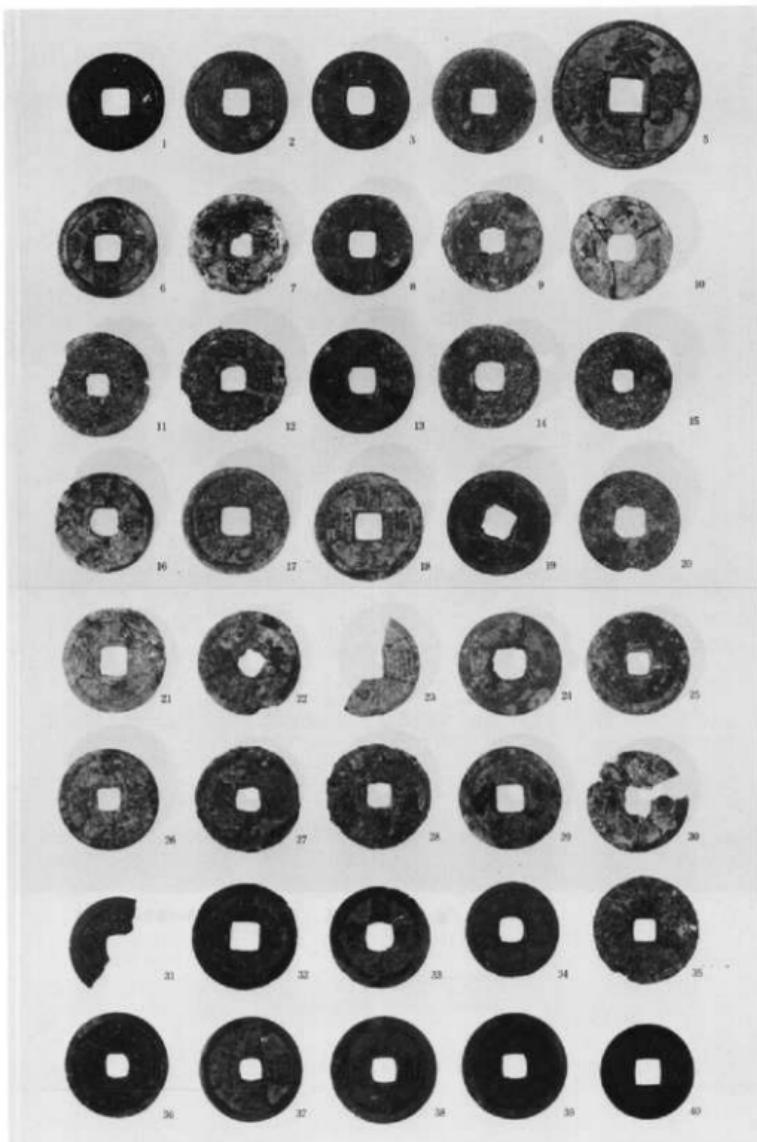


Fig. 76 貨幣写真 数字は貨幣一覧表の番号に一致する。

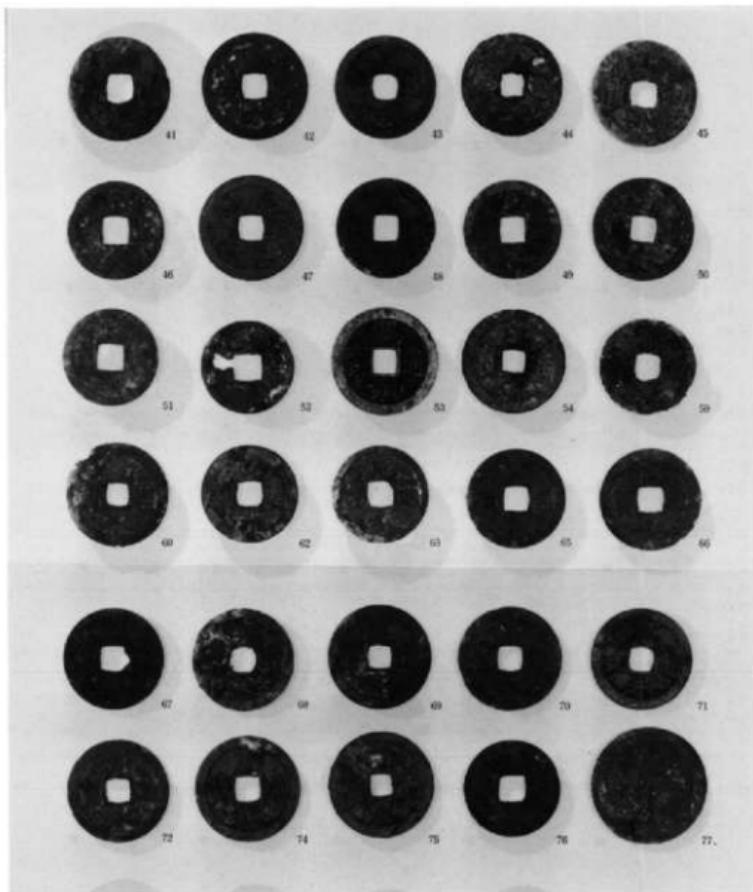


Fig. 80 貨幣写真 数字は貨幣一覧表の番号に一致する。

Tab. 6 第28次調査遺構（土塙・井戸）一覧表 ①

整理番号	分類番号	遺構名	形 性			規模(計画面積、単位: m)	出 土 遺 物	時期	層 名	
			平面形	断面形	長	幅	深			
1 号	SK 001	上 墓 横 円 形			352	約 400	34.2	青銅器(鍔等)、刀子、銅鏡	近世	
1A号	SK 002	土 墓 井戸穴	横 円 形	截 断 形	126	136		土師器(杯、皿、灯明皿)、瓦器(碗)、土師質土器(瓶、罐、壺、火鉢)、丸瓦質土器、須磨瓦土器、唐津系(盤、碗、碟、盘)、京焼系(碗、碟)、肥前系(盒、盒)、伊万里系(瓶、盒)、小判、瓈(瓶、盒)、瓈(瓶、盒)、高麗(青瓷)、李朝陶器、中國白磁(碗、盘)、鐵製品(水桶、桶、鑊)、瓦、土築、土埴、土入形石製品、焰輪、青銅器(鍔等)	近世 18世紀～基本 井戸か、未開	
1B号	SK 003	土 墓 井戸穴	円 形	截 断 形	240	約 200	143	土師器(杯、碗、瓦器(碗)、須磨瓦(盤)、瓦)、土師質土器(瓶、罐)、瓦質土器(盒)、海賊土器(火鉢)、唐津系(盤、碗、碟)、國內系陶器(白鈴側)、伊万里系(小瓶、蓋、蓋、火鉢)、肥前系(碗、盒)、肥前系(瓶、盒)、阿波白磁(碗、小盤)、瓦、土築、焰輪	近世 18世紀～19世紀 19世紀後半、そば攪口(18世紀)	唐津系(18世紀)、開運系(18世紀)、伊万里系(18世紀)、肥前系(18世紀～19世紀) 19世紀後半、そば攪口(18世紀)
2 号	SK 004	上 墓 井戸穴	円 形	截 断 形	約 244	200	65.4	土師器(盤、碗、杯、灯明皿、燒鐵皿、盒)、瓦器(碗)、土師質土器(瓶、罐、火鉢)、同窓(碗、盘)、中國白磁(碗、盘)、輸入陶器(盒、碗、瓦)、天狗瓶、焰輪、青銅器(鍔等)	近世	國產陶器(西日本17世紀～泰本 18世紀～19世紀)、肥前系(18世紀～19世紀)、 19世紀後半、そば攪口(18世紀～ 基本)
3A号	SK 005	土 墓 四九郎方形	逆梯形		約 130	約 120	76.5	土師器(杯、碗)、須磨瓦、唐津系(碗、碟)、繩柄手(盤)、鐵製品(碗、碟)、同窓(碗、盘)、中國白磁(碗、盘)、輸入陶器(盒、碗、瓦)、天狗瓶、焰輪、瓦	近世 井戸穴	
3B号	SK 006	土 墓 四九郎方形	逆梯形		約 105	約 105	87	土師器(燒鐵皿、杯、碗、灯明皿)、土師質土器(火鉢)、燒鐵皿、開西系陶器(土瓶)、伊万里系(小瓶、盒、瓦)、伝化器、鐵製品、銅鏡、銅幣、青銅器(鍔等)、銅鏡	近世	開西系陶器(土瓶 18世紀～19世紀) 井戸穴
4 号	SK 007	土 墓 四九郎方形	U字形		約 150		61.3	土師器(碗)、中国明代(碗)		
5 号	SK 008	土 墓 陽九郎方形			約 156		117	土師器(杯、碗)、瓦器(碗、杯、碟)、土師質土器(鍋、灯明皿)、須磨瓦土器(京焼系)、高取系(青磁系)、京窓系(碗)、伊万里系(開江萬樂、小瓶、大瓶、青花、紅、白、伝化器)、そば攪口、輸入陶器(盒、碗、大盤)、焰輪	近世 伊万里系(小箱18 世紀、大坂新町町 美紅)	
6 号	SK 009	土 墓 円 形			100	100				
7 号	SE 009	井 戸 円 形	円 菱形		363	300	83	土師器(杯、盘)、土師質土器(七袖、火鉢)、瓦質土器(碗)、瓦器(碗、盘)、京焼系(碗)、伊万里系(碗、盘)、瓦器(碗、盘)、瓦質土器(火鉢)、輸入陶器、焰輪	近世 伊万里系(碗、盘) 1640-50	
8 号	SE 010	井 戸 円 形	円 菱形	(弁筒)	65	63	46.5	土師器(盆)、土師質土器(火薬筒)、輸入陶器(天目碗)、中國白磁(碗)	近世	
9 号	SK 010	土 墓 円 形	円 菱形		約 127	129	93.5	土師器(杯、碗)、土師質土器(碗)、丸瓦質土器(碗、圆筒)、唐津系(盤、碗、小瓶)、京焼系(碗)、伊万里系(碗)、詰条(碗)、同窓(碗)、青磁、青銅器(鍔等)、瓦、滑石石鍋	近世	
10 号	SK 011	土 墓 円 形	円 菱形		約 245	240	124.3	土師器(杯、碗)、土師質土器、唐津系(碗、瓶、瓶)、鐵製皿、伊万里系(碗、瓶)、小判、瓦器(碗、盘)、焰輪、土築、瓦片、鐵製品	近世 18世紀～19世紀 井戸	
11 号	SK 012	土 墓 長 方 形	逆梯形		85	160	90.8	土師器、瓦質土器、京焼系(碗)、銅鋳陶器(灯明皿)、唐津系(碗)、伊万里系、铁製、万子、銅製品	近世	
12 号	SE 013	井 戸 円 形	逆梯形		150	200		土師器(碗、盘)、灯明皿、瓦器(碗)、土師質土器(灯明皿)、唐津系(碗)、伊万里系(碗、小瓶、盒)、瓦器(碗、盘)、瓦質土器(火鉢)、瓦、土築、瓦石石鍋、埴輪	近世	
13 号	SK 013	上 墓 横 円 形	逆梯形		300	170	133	土師器(碗、盘)、瓦器(碗)、土師質土器(灯明皿)、唐津系(碗)、伊万里系(碗、盘)、瓦器(碗、盘)、瓦質土器(火鉢)、瓦、土築、瓦石石鍋、埴輪	近世	

※約は現存の幅、長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壙・井戸）一覧表 ②

整理番号	分類番号	遺構名	規格(計測値、単位: cm)			出土遺物	時期	備考		
			平面形	前面長	幅					
14 号	SK 014	土 壙	隅丸長方形	逆傾斜	約 90	290	80	土師器(杯・盤・灯・明器)、瓦器(瓶)、土師質土器(火壺・鍋)、漆面器(便)、骨淨手(筒・碗)、輸入陶器(赤陶器)、中國白磁(碗)、李朝(瓶)、伊万里系(瓶)、上製入(瓶)、鑄型、鉄釘、滑石石鏡、追縫、刀子		
15 号	SK 015	土 壙	精 四 形 楊柳形	-	256	263	113.5	上部器(杯・瓶)、土師質土器(火壺)、烈志質土器(盤・碗)、唐津系(瓶・碗)、伊万里系(瓶・小杯)、並置器、輸入陶器、鐵釘(筒)、中國白磁(碗・瓦)、瓦子		
16 号	SK 016	土 壙	円 形	直傾斜	185	180	230.5	土師器(杯・瓶)、中國白磁(碗)、追縫 下層土(陶器(杯・瓶)、瓦器(便)、漆面器(筒)、國產陶器、輪島(瓶)、中國白磁(瓶・瓦)、滑石石鏡、追縫)		
17 号	SK 017	土 壙	精 四 形	逆傾斜	約 160	約 190	123	上部器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、土師質土器(七輪)、漆 漆器(瓶・碗)、國產器、輪島(瓶)、中國白磁(碗)、瓦、滑石石鏡、追縫		
18 号	SE 012	井 口	精 四 形	(井筒) 60 142	60 117	150	土師器(杯・瓶)、瓦器(五輪・持・瓶)、土師質土器(湯器・大吉)、酒器(土器)、唐津系(瓶)、輸入陶器(盤・盤・瓶・瓦)、誠宗・同安(碗)、中國白 白磁(瓶・瓦)、鉄釘、銅錢、チャート、骨、木炭、滑石石鏡、塔燈	唐津系陶器は出土 みか	中世	
19 号	SK 018	土 壙	精 四 形	-	120	100	中國白磁(瓶)、銅鏡	伊万里系(瓶)	中世	
20 号	SK 019	土 壙	精 四 形	直傾斜	約 530	500	190.5	土師器(月・牙頭柄)、瓦器(瓶)、土師質土器(盤・ 碗・上蓋)、漆面器、漆裏質土器(深・浅器)、伊万里系(瓶・柄・足)、毛足口(花皿・巻貝・弘前器)、 銅鏡、古鏡器(漫畫)、青銅器、刀子、中國古代(碗)、瓦、七輪、七賢人形、鐵釘、銅錢、漆面器、骨、 鐵石、追縫等器物	伊万里系(瓶)、18 世紀前、中國時代(碗)、16世紀末~17 世紀前	近世
21 号	SK 020	土 壙	精 四 形	直傾斜	約 600	400	101.1	土師器(杯・盘・明器)、瓦器(瓶)、土師質土器(深・ 七輪)、瓦・土器(大方・深器)、漆器、漆裏器上器、漆漆 器(盤・碗・明)、内巻山口(深・直)、柄)、京焼系(碗)、 伊万里系(瓶・且・瓶)、繩口・持・碗・佐賀器(七 輪)、輸入陶器(盤・碗)、鏡、河安(瓶)、中國白磁(瓶)、 瓦、十翼詩型、十賢人形、灯、瑪瑙、銅錢、漆面器、骨、 鐵石、追縫等器物	唐津系(内巻山口 瓶・瓦)、17世紀 後~18世紀前、伊 万里系(瓶)、18 世紀前	近世
22 号	SK 020	土 壙	隅丸長方形	逆傾斜	約 92	約 65	71.2	土師器(杯・灯・明器)、土師質土器(瓶・燒鐵燈)、 漆漆器(盤・瓶)、伊万里系(瓶)、銅・大皿)、輸入陶器 中國白磁(碗)、中國古代(碗)、瓦、七輪	近世	
23 号	SK 021	土 壙	精 四 形	逆傾斜	160	116	62	牛糞式土器(盤)、土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、承 載質土器(束腰器)、輸入陶器(盤)、中國白磁(碗)、瓦	中世	
24 号	SK 022	土 壙	隅丸長方形	直傾斜	63	約 125	80	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、沙漿土器(中腹白漆)、 輸入陶器(盤)、中國白磁(碗)、同安(瓶)、度量(瓶)、 銅鏡	中世	S.K.109、121を切 る
25 号	SK 023	土 壙	隅丸長方形	逆傾斜	125	約 110	60	土師器(杯・瓶)、土師質土器、瓦質土器(燒鐵)、輸 入陶器、中國白磁(碗)、瓦、追縫	中世	
26 号	SK 024	土 壙	隅丸長方形	-	約 50	-	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、土師質土器、 中國白磁(碗)、追縫(瓶)、灯	中世		
27 号	SK 025	土 壙	精 四 形	逆傾斜	96	71	94	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、烈志質土器(瓶)、輪島 (瓶)、銅鏡	中世	
28 号	SK 026	土 壙	円 形	直傾斜	154	135	108.9	土師器、燒鐵器、漆裏質土器(深器)、土師質土器 中國白磁(碗)、追縫	中世	
29 号	SK 027	土 壙	隅丸長方形	逆傾斜	205	80	92	土師器(杯・瓶)、酒器質土器(深器)、土師質土器(瓶)、 中國白磁(碗)、度量(瓶)、燒鐵	中世	土壤場か
30 号	SE 013	井 口	隅丸長方形	逆傾斜	約 92	約 95	97.2	土師器(杯・瓶)、中國青磁(瓶)、燒鐵	中世	

* 約は現存の幅・長さを表示。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ③

整理番号	分類番号	遺構名	形態			断面(剖面測量、単位: cm)	出土遺物	時期	備考	
			平面形	断面形	長					
31 号	SK 028	上 墓	横円形	逆鐘形	76	56	9.4	土師器、陶器	中古	
32 号	SK 029	土 墓	横円形	逆鐘形	123	61	16.1	土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器、瓦	中古	
33 号	SK 030	上 墓	横円形	舟底形	116	77	41.6	土師器、土師質土器、瓦器(縫)、輸入陶器、中國白磁(瓶)、瓦(筒瓦・瓦片)、泥瓦(筒瓦)	近世	
34 号	SK 031	土 墓	横丸方形	逆鐘形	約 89		29	土師器(杯・瓶)、瓦器、土師質土器、須志質土器(束腰器)、輸入陶器、中國白磁(瓶)、泥メンコ、瓦輪倒持	中古	
35A 号	SK 032	土 墓	横丸長方形		約 118	約 98	14.6	土師器(瓶・杯・瓶)、土師質土器、須志質土器(束腰器)、輸入陶器、小亞白磁(瓶)、泥瓦(筒瓦)、瓦	近世	
35B 号	SK 033	上 墓	横丸長方形			約 125	44	瓦筒、輸入陶器	近世	
36 号	SK 034	土 墓	長 方 形		190	97	34.3	土師器(杯・瓶)、須志質土器、輸入陶器、中國青磁・白磁(瓶)、铁钉	近世	
37 号	SK 035	土 墓	横丸方円		131	121	23	土師器(杯・瓶)、輸入陶器、中國白磁(瓶)、漆被鐵打	中古	
38 号	SK 036	土 墓	横丸方形	逆鐘形	140	約 120	83.7	土師器(杯・瓶)、瓦器(縫)、輸入陶器(盤・盒)、粗 身式土器(盤)、土師器(杯)、輸入陶器、中國白 磁、草食器(盤)、猪枕、铁钉	中古	SK 120と切り合 う
39 号	SK 037	土 墓	横丸長方形	逆鐘形	122	104	30.3	下層・生糞火器、土師器、輸入陶器、中國白磁(瓶) 瓦質土器(縫)	中古	
40 号	SK 038	土 墓	横円形			約 145	75	土師器(杯・瓶)、中國白磁(瓶)、罐瓦、同安(瓶)、 輸入陶器(盤・盒・指揮)、瓦筒	中古	
41 号	SE 014	井戸	円 形	円筒形	310	330		土師器(杯・瓶)、土師質土器(瓶・七輪・燒瓶型)、 瓦質土器(縫・橫條・盤)、瓦器(瓶)、輸入陶器(盤・盒・瓶・盤・瓦片)、瓦筒、粗身式土器(瓶)、 鐵打(瓶)、鐵釘、青銅器(煮豆器)、瓦、鐵釘、繩紋器 从灰		
42 号	SK 039	土 墓	横丸長方形			約 180		土師器(杯)、土師質土器(盒・瓶)、京焼系(瓶)、中 國白磁(瓶)、中國白磁	近世	井戸付
43 号	SE 015	井 戸	横円形	円筒形	約 380	550	297.2	土師器(杯・瓶)、須志質土器(瓦良・瓶・杯)、瓦器(盤 ・瓶)、土師質土器(瓶・橫條)、瓦質土器(瓶・橫條)、 燒瓶(瓶)、伊万里系(瓶・盒)、粗身、同安(瓶)、 泰朝(瓶)、瓦、鐵釘、鐵斧、鐵錐、骨、石炭	近世	
44 号	SK 040	土 墓	横円形	横鐘形	約 166	約 152	約 41.8	土師器(杯)、瓦器、土師質土器、輸入陶器、罐瓦、 同安(瓶)、中国白磁(瓶)	中古	
45 号	SK 041	土 墓	圓 形		約 73	約 71		土師器、須志器、輸入陶器、燒瓶(形似)	中古	
46 号	SE 016	井 戸	円 形	鉛 瓶(瓶筒)	123	118		土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、須志質土器(瓶・七輪・燒 瓶型)、土師質土器(盒・橫條)、瓦質土器(瓶)、土 師質土器(盒・茶器)、輸入陶器(盤・盒)、瓦、鐵釘、 泥メンコ、磁石、繩紋器(灰)、中國白磁(瓶)、燒瓶(瓶)	中古	
47 号	SK 042	土 墓	横円形	逆鐘形	110	約 107	45	土師器(杯・瓶)、瓦器、土師質土器(燒瓶型)、輸入 陶器、店津系(瓶・盒)、中國白磁(瓶)、瓦、鐵釘、 泥メンコ、磁石、繩紋器(灰)、甚輪	近世	
48 号	SK 043	土 墓	横丸方形	半丸 縫形				土師器(瓶)、土師質土器(燒瓶型)、瓦質土器(瓶・茶器)、 輸入陶器、燒瓶(瓶)、同安(瓶)、中國白磁(瓶)	中古	
49 号	SE 017	井 戸	不規 四形	逆鐘形	183	177	137	土師器(杯・瓶)、土師質土器(燒瓶型)、瓦質土器(瓶・茶器)、 輸入陶器(盤・盒)、中國白磁(瓶)、十輪火附、瓦	近世	
50 号	SK 044	土 墓	円 形	円筒形	14	14		土師器(瓶)、七輪質土器(燒瓶型)、瓦質土器(瓶)、 輸入陶器、燒瓶(瓶)、同安(瓶)、中國白磁(瓶)、十對人 形	近世	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ④

整理番号	分類番号	遺構名	形 務			規模(計測値、単位: cm)	出 土 廃 物	時期	備 考
			平面形	断面形	長				
54 号	SK 045	土 壁 不整円形			100	100	70	土師器、瓦器、土師質土器、輸入灰器、鉄釘、中國白磁(窯)	中世
55 号	SE 018	井 戸 円 形 遺構形					88	土師器(杯・瓶)、土師質土器、瓦質土器(縫・壺)、唐津系(碗・瓶)、中国白磁(窯)、中国白磁(窯)、鉄釘、瓦、刀、鍔首丁	近代
53 号	SE 003	井 戸 円 形 圓柱形	約 80	約 65		8		土師器、土師質土器、瓦質土器	近代
54 号	SK 046	土 壁 楕 円 形 遺構形			90	130		土師器(直)、土師質土器(縫・壺・瓶・七輪)、瓦質土器(甕)、唐津系(碗・瓶・瓶)、京焼系(窯)、伊万里系(瓶・碗・瓶)、仏教器、唐・宋青白磁(窯)、輸入陶器(瓶)、高麗(窯)、中国白磁(瓶・直)、中國白磁(窯)、中國白磁(窯)、輸入灰器、石茶、青銅器(鍔首、鉄金具)、鉄釘、棒状封筒器	近世
55 号	SE 019	井 戸 円 形 円筒形	約 60	約 65	8			土師器(杯・直)、土師質土器(縫・火食)、須恵質土器、輸入陶器、中国白磁(窯)、鉄釘、中國白磁	中世
56 号	SK 047	土 壁 楕 丸方形 遺構形			180	180		土師器(杯・直)、輸入陶器、鉄釘	中世
57 号	SK 048	土 壁 丸大長方形 遺構形			150		54.9	土師器(杯・直)、土師質土器(縫)、瓦質土器(縫)、瓦質土器、土師器(直)、伊万里系(瓶)、輸入陶器、鉄釘、瓦	同一番号の上層がある 近世
58 号	SK 049	土 壁 両 円 形 遺構形			136	99	92.5	土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器、中国白磁(瓶・直)、高麗(窯)、同安(窯)、鉄釘、木炭、瓦	中世
59 号	SK 050							土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器、中国白磁(瓶・直)、高麗(窯)、同安(窯)、鉄釘、木炭、瓦	中世
60 号	SK 051	土 壁 隅丸長方形 遺構形	約 35	約 74	80			土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器、瓦、瓦質土器(縫)、土師質土器、輸入陶器、瓦、土器(杯・直)、鉄釘	近世地にある 中世
61 号	SK 052	土 壁 丸長方形 遺構形	約 147	約 102	98			土師器(杯・直)、土師質土器、瓦、中國白磁(小皿)、瓦 下層—土師器(杯・直)、輸入陶器、中国白磁(窯)、瓦	中国白磁器が復活 中世 みか? 近世地にある
62 号	SK 053	土 壁 隅丸方形			約 70	約 80	71.4	土師器(杯・直)、輸入陶器、鉄釘	中世
63 号	SK 054	土 壁 隅丸長方形 U字狀			115	85	90.5	土師器(杯・直)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器、陶質土器(縫)、輸入陶器(瓶・直)、板瓦(窯)、中国白磁(窯)、瓦 上層—土師器(杯・直)、鉄釘、瓦	中世
64 号	SK 055	土 壁 長 方 形 遺構形			164	95	86.8	土師器(杯・直)、瓦器、須恵器、土師質土器(窯)、京焼系(窯)、圓底陶器、輸入陶器、中国白磁(窯)、中国青磁、瓦、鉄釘	中世
65 号	SK 056	土 壁 不 整 粗	約 73	約 110		3.2		土師器(杯・直)、瓦器、須恵器、土師質土器、圓底陶器、輸入陶器、高麗(窯)、同安(窯)、中国白磁(窯)、瓦、板輪	近世
66 号	SK 057	土 壁 隅丸長方形			約 120	56.3		土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器、中国白磁(窯)、瓦 上層—土師器(杯・直)、輸入陶器、鉄釘 下層—土師器(杯・直)、輸入陶器	中世
67 号	SK 058	土 壁 隅丸長方形			156	約 96	24.4	土師器(杯・直)、瓦器、土師質土器、輸入陶器(縫・底)、高麗(窯)、同安(窯)、瓦、土師質製品、板輪	中世
68 号	SK 059	土 壁 隅丸長方形			約 90	65	35	土師器(杯・直)、輸入陶器(縫)、板輪、瓦 下層—土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器(縫・底)、高麗(窯)、同安(窯)、中国白磁(窯)、鉄釘	中世
69 号	SK 060	土 壁 不 整 粗			138	約 123	39.1	土師器(杯・直)、瓦器(瓶)、須恵器(杯)、土師質土器、瓦質土器、輸入陶器(瓶)、中国白磁(窯)、中国青磁、瓦、燒石石鍋	近世地にある 中世

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壙・井戸）一覧表 ⑤

整理番号	分類番号	遺構名	形 状 手 面 形	断面形	規模(計測値、単位: cm)			出 土 物 品	時期	層 高
					長	幅	深			
20 号	S K 061	上 壁	馬頭長方形	逆梯形	223	110	62	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、磁也器(瓶)、土師質土器、瓦質土器(灰胎)、輸入陶器(青・白・紫・青)、鐵鉢、鐵鍬、鐵釘、鐵錐、青銅器(鐘鑼)	土壙器か?	
21 号	S K 062	土 壁	円 形	逆梯形	259	約 308	107	土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器(瓶)、磁器、青銅器(碗)、白磁(碗)、銀灯	中世	
22 号	S K 063	下 壁	馬頭長方形		70	90		土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器、中國青磁・白磁(碗)、銀燈、玄武石 上層 土師器、輸入陶器 下層 土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器、中葉白磁(碗)、銀燈、铁錐、铁釘	中世	
23 号	S K 064	土 壁	馬頭長方形					土師質土器 上層 一時器(杯・皿)、輸入陶器器、瓦、鐵釘、鐵	小世	
24 号	S K 065	上 壁	馬頭長方形	奇連形	115	185	69	土師器(内)	中世	
25 号	S K 066	土 壁	馬頭長方形	逆梯形	136	97	61	土師器(杯・皿)、其器(碗)、土師質土器、圓底陶器(瓶)、輸入陶器、中葉白磁(碗・瓶)、瓦、鐵釘		
26 号	S K 067	土 壁	円 形	逆梯形	97	98	18	土師器(杯・皿)、燒造器(内)、土師質土器(灰胎、火盒)、輸入陶器(盤・蓋・瓶)、同窓(瓶)、中葉青磁・白磁(碗)、中國明代(碗)、瓦、鐵釘、沙岩、木炭、滑石石礫	中世	
27 号	S K 068	土 壁	横 円 形	逆梯形	133	約 104	44	土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器器	中世	
28 号	S K 069	下 壁	横 円 形	逆梯形	104	94	14.6	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師質土器(瓶)、輸入陶器(盤・蓋・杯・盤)、中國白磁(碗)、中國青磁	中世	
29 号	S K 070	土 壁	横 円 形	レンズ形	約 77	約 60	11	土師器(内)、瓦器、鐵器(碗)、輸入陶器、鐵鏈鐵錐	中世	
30 号	S K 071	土 壁						鐵器(碗)	中世	
31 号	S K 072	七 壁	円 形	逆梯形	168	約 96	39.9	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、輸入陶器(瓶)、中國白磁(碗)、鐵錐(碗)	小世	
32 号	S K 073	土 壁	横 円 形	逆梯形	162	74	34.5	土師器、土師質土器、輸入陶器	中世	
33 号	S K 074	上 壁	横 円 形	倒錐形	160	136	74.5	土師器(盤・杯・瓶)、瓦器(碗)、磁也器、土師質土器(七輪)、土師質土器(七輪)、輸入陶器(盤)、伊万里(青・紅絨・小片)、輸入陶器(瓶)、中國白磁(碗・瓶)、中國明代(片)、土器、蓋、片	近世	
34 号	S E 025	井 池	円 形	板錐形 (井筒)	60 約 136	55 約 100	124	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師質土器(七輪)、輸入陶器(盤)、中國白磁(瓶)、磁也器、同窓(瓶)、瓦、鐵釘、鐵石、滑石石礫	中世 は流込みか	
35 号	S K 075	上 壁	横 円 形	逆梯形	203	約 144	55	土師器(杯・皿)、土師質土器、圓底陶器	近世	S E 020 と切合
36 号	S K 076	土 壁	円 形	倒錐形	約 135	約 124	118	土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器	井口か	
37 号	S E 021	井 池	円 形		48 95	46 94	80	土師器(杯・皿)、土師質土器(青・七輪)、圓底陶器(蓋・蓋・蓋・瓶)、土器、土間、鐵釘、木炭	近世	
38 号	S E 022	井 池	横 円 形	逆梯形	248	約 125	21	土師器(杯・皿)、燒造器、輸入陶器(盤・蓋・鋸)、山窯青磁、白磁(瓶)、瓦、鐵鏈鐵錐、鐵石、鐵輪	近世	土壙か
39 号	S K 077	土 壁	円 形	倒錐形	約 204		90	土師器、土師質土器		
40 号	S K 078	土 壁	横 円 形	逆梯形	約 136	88	19	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師質土器、輸入陶器(瓶・瓶)、中國白磁、青磁(碗)、瓦、鐵釘、鐵石、鐵輪	中世	

※約は現行の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土塙・井戸)一覧表 ⑥

監理 番号	分類 番号	遺構名	形 勢				規格(外寸法、単位: cm)	出 土 物	時期	備 考
			平面形	断面形	長	幅				
91 号	SK 059	土 塽 横 円 形			244	230	86	土師器(杯・盤)、瓦器、土師質土器、輸入陶器等、瓦、鐵軒、鐵輪	中世	
92 号	SE 023	井 戸 横 円 形	直面形	内面斜	約 400	約 250	219.2	土師器(杯・皿)、土師質土器(瓶底型)、鍋、大舟丸 瓦(青瓦)、瓦(白瓦)、京窓系(碗)、同窓内器(壺・瓶)、 内窓内器、伊万里器(壺・瓶)、輸入陶器、中國 白磁(碗)、瓶底(碗)、瓦、鉢、斧、鐵刃、青銅製 品、刀子	近世	唐津市(昭和16 ~17世纪初)、田原 陶器(内野山原里 17世纪後~18世纪 前)
93 号	SK 024	井 戸 不整円形			162	130	86	秀吉式土器(壺)、土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師 質土器、瓦質土器(碗)、國窓内器、輸入陶器等、 中國白磁(碗)、明代(碗)、瓦、鐵刃、鐵輪(円筒)	近世	SE 023 上合合5
94 号	SK 080	上 塽 横 円 形	縦斜形	約 104	約 72	100	土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器等	中世	S 3 024 旁合合5	
95 号	SK 081	土 塽 横丸長方形			100	60	18.9	土師器(瓶)、須心器、中國白磁(碗・瓶)	中世	
96 号	SK 082	土 塽 横丸長方形			78	40	19.9	土師器(杯)、瓦器(碗)、輸入陶器等、鐵刃	中世	
97 号	SK 083	七 鍋 小 円 形			37	35	19	土師器(瓶)、輸入陶器等、鐵輪(円筒)	中世	
98 号	SK 084	土 塽 横 円 形			約 176	約 252	約 20.6	土師器(杯・皿)、黑色土器(碗)、瓦器、土師質土器 (碗)、須心器上器、輸入陶器(壺・瓶・盤・瓶)、 鐵劍、同窓(碗)、中窓白磁(碗)、瓦、鐵軒、青石石 板、鐵火叉、鐵輪(円筒)、刀子	中世	
99 号	SK 085	上 塽 横丸長方形	逆斜形	216	126	16	土師器(杯・瓶)、黑色土器(碗)、瓦器、土師質土器 (碗)、瓦質土器、須心器上器、同窓内器(壺・瓶) 、同窓(小口)、伊万里器(碗)、伝板器(瓶)、輸入 陶器器(壺)、中國白磁(碗)、瓦、十刃、鐵劍	近世		
100 号	SK 086	土 塽 横 円 形	逆斜形	約 144	約 100	68	土師器(杯・皿)、土師質土器(碗)、瓦質土器、輸入 陶器(壺・瓶)、中國白磁(碗)、鐵劍、同窓、明 代(碗)、瓦、鐵軒、鐵輪(円筒)、刀子	中世	埋葬地にある	
101 号	SK 087	上 塽 横丸長方形	逆斜形	88	65	19	土師器(杯・瓶)、瓦器(碗)、土師質土器、須心器上 器、須心器、輸入陶器(壺・瓶)、同窓(碗)、中國 白磁(碗)、瓦、青石石板、鐵輪	近世		
102 号	SE 025	井 戸 横 円 形	逆斜形	約 75	132	53	土師器(杯・瓶)、輸入陶器(壺・瓶)、同窓(碗・瓶)、 中國白磁(碗)、瓦、青銅器(碗)、鐵輪(円筒)	近世		
103 号	SK 088	土 塽 横 円 形	逆斜形	約 110	84	54.8	土師器(杯・瓶)、瓦器、土師質土器、須心器(壺 ・瓶)、瓦、瓦質土器、須心器(碗)、鐵劍、鐵輪(圓 筒)、輸入陶器(壺・瓶)、鐵劍、鐵輪	近世		
104 号	SK 089	上 塽 横丸長方形	縦斜形	90	74	60.8	土師器(瓶)、輸入陶器等	中世		
105 号	SK 090	土 塽 横 円 形	逆斜形	100	90	28	土師器(杯・瓶)、須心器、土師質土器、同窓内器(壺 ・瓶)、輸入陶器(壺・瓶)、鐵劍、鐵輪	中世		
106 号	SK 091	上 塽 円 形	逆斜形	約 124	約 32	33.3	土師器(杯・瓶)、輸入陶器(壺・瓶)、鐵劍、鐵輪 、同窓(碗)、瓦、土師器(人形・玩具)、鐵劍、鐵輪、 刀子、瓦、鐵軒	中世	瓦敷内	
107 号	SK 092	土 塽 円 形	レンズ 状	約 190	約 128	9.8	土師器(杯・瓶)、瓦器(碗)、須心器、土師質土器、 輸入陶器(碗)、中國白磁(碗)、瓦、鐵軒、鐵輪 下器(土器)、瓦	中世	瓦敷内	
108 号	SK 093	土 塽 横 円 形	逆斜形	84	71	62	土師器(杯・瓶)、土師質土器(瓶底)、瓦質土器(大 甕)、同窓内器、伊万里器(碗)、輸入陶器等、瓦、只 輪	近世		

※約は現行の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（上棲・井戸）一覧表 ⑦

整理番号	分類番号	遺構名	形 勢				測量(水平距離、高さ: cm)	出 上 棟 物	時 期	考
			平 地 形	斜面形	長	幅				
109 号	SK 094	土 壁	溝丸長方形			約 490		土師質土器、瓦質土器(大舟・七輪)、唐津系(大慶・直・瓦)、瓦質土器(白)、伊万里系(白・直・板・仏・楕圓形)、輸入陶器	近世	
110 号	SK 095	上 棚						土師器、土師質土器(楕・七輪)、岡窯系(圓錐・直)、伊万里系(直・直・瓦・楕圓形)、板・虹皿、鉢等	近世	
111 号	SK 096	土 壁						土師質土器(七輪)、岡窯系(圓錐)、板・虹皿、瓦・土器	中世	
112 号	SK 097	土 壁	不 整 地 形	截 面 円錐形	380	320		土師器(杯・直・灯明皿)、土師質土器(直・大舟・七輪)、瓦質土器(火鉢・鍋)、唐津系(直・板・楕・圓)、京窯系(白)、伊万里系(直・直・板・仮花器)、輸入陶器、土師器(八形)、蓋付、板・直、瓦、鐵	近世	井戸か
113 号	SK 098	土 壁	田 形	截 面 円錐形	約 360	70.1		土師器(杯・直・灯明皿)、土師質土器(直・大舟・七輪)、瓦質土器(火鉢・鍋)、唐津系(直・大舟)、京窯系(直・板・楕・圓)、伊万里系(直・直・板)、伊万里系(直・直・板)、そば漉口(直)、中國明代(直)、岡窯(直)、鐵鋸、鐵石、鐵釜	近世	唐津系(17-18世紀前半)、京窯系(18世紀後半)、伊万里系(17世紀後半)
114 号	SK 099	土 壁						土師器(杯・直)、土師質土器、唐津系(直・土器)、京窯系(直・直・板)、伊万里系(直・直・板)、そば漉口(直)、中國白(直)、瓦・土器、唐津系(直・直・直)、伊万里系(直・直・板)、瓦・土器、中國白(直)、瓦・土器、製品(人形)、土師・青銅器(七輪)	近世	唐津系(17世紀前半)、京窯系(18世紀後半)、伊万里系(18世紀)
115 号	SK 100	土 壁						土師器(杯・直)、土師質土器、瓦質土器(直)、岡窯系(直・直・板)、中國青白(直・直・板)、輸入陶器	近世	
116 号	SK 101	土 壁						土師器(杯・直)、土師質土器(直・楕圓・七輪)、瓦質土器、唐津系(直・直・直)、伊万里系(直・直・板)、佐賀器(直)、中國明代(直)、輸入陶器	近世	唐津系(16世紀末-17世紀初)、伊万里系(18世紀)
117 号	SE 026	井 戸	溝 丸 方 形	円錐形	210			土師質土器		
118 号	SE 027	井 戸	田 形	円錐形		約 122	112.2	土師器(杯・直)、土師質土器(七輪)、瓦質土器、唐津系(直)、伊万里系(直・紅斑)、輸入陶器、瓦・瓦・楕・圓錐形、瓦・瓦・楕・圓錐形、瓦	現代	唐津系(16世紀-17-18世紀)、伊万里系(18世紀)、伊万里系(18世紀)
119 号	SK 102	土 壁	横 円 形		約 223	約 88	49.1	土師質土器、瓦質土器(人型)、輸入陶器、瓦	中世	
120 号	SK 103	土 壁	横 円 形	逆錐形	224	約 140	59.5	土師器(杯・直)、瓦器、土師質土器(直・大舟)、瓦質土器(大舟)、岡窯系(直・板)、國產陶器、輸入陶器	近世	
121 号	SK 104	土 壁	溝 丸 長 方 形	逆錐形	140	約 130	46	土師器(杯・直)、土師質土器、瓦質土器、岡窯系(直)、輸入陶器、瓦・二舟・楕・圓・楕圓木、青銅器(七輪)		
122 号	SE 028	井 戸	円 形	截 面 (牛背)	約 260	172		土師器(杯・直)、瓦器(直)、土師質土器(直)、瓦質土器(鍋)、國產陶器、輸入陶器	岡窯盛期の上棲あり	
123 号	SK 105	土 壁	横 円 形	舟底形	135	約 123	35	土師器(杯・直)、瓦器、土師質土器(直)、瓦質土器(圓錐形)、岡窯系(直)、輸入陶器、梅卓(直・直・直)、鐵	岡窯系(直)は近古みか?	
124 号	SK 106	土 壁	溝 丸 長 方 形		80	120		土師器(杯・直)、岡窯系(直)、輸入陶器		
125 号	SK 107	土 壁	円 形	圓錐形	90	70	31.6		岡窯系の上棲あり	
126 号	SK 108	土 壁	不 整 横 四 角	逆錐形	約 120	約 90	75	土師器(杯・直)、唐津系、土師質土器、瓦質土器、岡窯系(直)、輸入陶器、瓦、鐵鋸、鐵鑄		
127 号	SK 109	土 壁	溝 丸 長 方 形	逆錐形	約 80	約 110	40	土師器、土師質土器(直)、須志質土器(直)、輸入陶器、鐵	横齊地にあら	

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査構造(土壤・井戸)一覧表 (⑥)

整理番号	分類番号	遺構名	形態 平面形 断面形	規模(計測値、単位: cm)			出土遺物	時期	備考	
				長	幅	深				
128 号	SK 110	土 壁	隅丸方形	レンズ形	69	61	69	土師器、土師質土器(壺)、国産陶器(豆)、輸入陶器(壺)	近世	関連陶器は1650~1659年代
129 号	SK 111	土 壁	隅丸長方形		190	約240	21.8			
130 号	SE 029	井 戸	隅丸方形	逆棒形	(井筒) 73 内径 132	52 96	163.4	土師器(杯・皿)、瓦器(碗・皿)、土師質土器(七輪)、瓦質土器(大盆・鉢)、輸入陶器(壺)、中国白磁(碗)、朝鮮青磁(碗)、銅錢		
131 号	SE 030	井 戸	長 方 形	逆棒形	約 45	約 60	36.5	土師器、輸入陶器、瓦	中世	
132 号	SK 112	上 壁	不整円形	逆棒形	60	62	62.8	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器、瓦質土器(大盆)、国産陶器、輸入陶器、土器、銅錢(木葉)、貝殻		
133 号	SK 113	土 壁	円 形			290		土師器(碗・灯明台)、土師質土器(杯・七輪)、瓦質土器(碗・火盆)、唐津器系(大盆・碗)、京焼系(碗・皿)、柳家系(碗)、伊万里系(碗・皿)、仏教器、そば割り刀(刀)、輸入陶器(壺・盆・碗・瓶)、中国白磁(碗)、瓦、銅錢、铁鋸、吉野器(達摩)	近世	関連系(16世紀~18世紀)、伊万里系(碗・皿)、仏教器、そば割り刀(18世紀)、紅葉(17世紀後~19世紀)
134 号	SK 114	上 壁	長方形に近い		約 253		42	土師質土器(下し皿・灯明台)、京焼系(碗)、伊万里系(碗・皿・壺)	近世	伊万里系(18世紀)
135 号 1号石 破井戸	SE 001	井 戸	円 形	(井筒) 内径 約 345	96	113	184.4	青磁系(碗)、国産陶器(碗)、輸入陶器(壺)、瓦、石臼、鐵鋸 井戸内一土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師質土器(杯・七輪)、瓦質土器(碗)、牛頭白磁(碗・小皿)、同安(碗)、輸入陶器(碗)、瓦、銅錢 掘り方一土師器(杯・碗)、瓦器、瓦底器、土師質土器(碗・四脚・七輪)、瓦質土器、国産陶器、輸入陶器(壺)、青磁(碗・壺)、白磁(碗)、中国時代(碗・皿)、瓦、銅錢、鐵鋸	中世	関連陶器は上部からの後詰み
136 号	SK 115	土 壁								
137 号	SK 116	土 壁	不整円形		400				近世	
138 号	SK 117	土 壁	隅丸長方形		210	128	29.5	土師器(杯・皿)、灯明台、土師質土器		
139 号	SK 118	土 壁	隅 田 形		約 252		70	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器、瓦質土器(大盆)、唐津器系(碗・皿)、伊万里系(碗・皿)、京焼系(碗・瓶)、伊万里器(碗・皿・瓶)、仏教器(碗・皿)、中国白磁(碗)、輸入陶器(壺・瓶・皿)、朝鮮青磁(碗・皿)、瓦、銅錢、鐵鋸	近世	
140 号	SK 119	上 壁	隅 田 形		約 340		114.3	土師器(杯)、瓦質土器、高吸水(碗)、輸入陶器、瓦、銅錢、鐵鋸	近世	
141 号	SK 120	上 壁	円 形		25	25		土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器、瓦質土器(壹・瓶・灯明台)、輸入陶器(壹・瓶・皿・瓶)、京焼(碗)、中国白磁(碗・皿)、滑石、青磁器(達摩)	近世	
142 号	SK 121	上 壁	不 整 形	逆棒形	約 400	230	91.5	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器(皿)、土師質土器(杯・瓶)、国産陶器(碗)、輸入陶器(壹・瓶・皿・瓶)、京焼(碗)、中国白磁(碗・皿)、滑石	近世	同一番号の上壁あり
143 号 2 号 瓦井戸	SE 004	井 戸	円 形	円筒形	(井筒) 70 内径 138	70 135		土師器(碗)、土師質土器、瓦質土器、須恵器(壹)、土器、銅錢、鐵鋸	近世	肥前系(17世紀)
144 号	SK 122	土 壁	隅 田 形		30.1	約10		土師器(碗)、土師質土器、輸入陶器、鐵鋸	中世	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ⑨

號	分類 番号	遺構名	形 狀			既往(計測値、単位: cm)	出 土 遺 物	時代	備 考
			平面形	断面形	長				
145 号	S E 031	井戸 円 形			径 256		113	土師器(杯)、中国青磁、白磁(碗)、中國時代	近世
146 号	S K 123	土 壤						土師器(杯・瓶)、瓦器、瓦盤、瓦片陶器、瓦河磁器、輸入陶器(壺・壺・瓶)、中國白磁(碗)、達摩	
147 号	S K 124	上 壤	長 方 形	複雑状	85	225	36	土師器(杯・瓶)、瓦器(碗)、酒器(甕・錐・瓶)、土師質土器(杯・瓶)、瓦片陶器(瓶・盒)、中國青磁(杯・瓶・壺)、輸入陶器(壺・壺・瓶)、中國白磁(碗)、瓦、土壠、鐵釘、木炭、瓦礫	近世 後世の土壤あり
147A 号	S K 125	土 壤	円 形	複雑状	約 56	100.8			
147B 号	S K 126	土 壽	円 形	複雑状	約 570	約 270		土師器(杯・瓶)、瓦器、土師質土器、瓦質七輪、輸入陶器(壺・壺・瓶)、中國白磁(碗・盒・合子)、瓦、鐵釘	中國
148 号	S E 032	井戸? 円 形	半球形		75	74	29	土師器(杯・瓶)、瓦器、瓦盤、瓦片陶器、瓦、鐵釘	小世 土壠と思われる
149 号	S K 127	土 壽	横丸方形容	複雑状	約 101		12	土師器(杯・瓶)、輸入陶器(甕・錐・瓶)、鐵釘、中國白磁(碗)、鐵釘、貝	中世
150A 号	S K 128	土 壽	横丸長方形	角窓形	150	105	27		
150B 号	S K 129	土 壽	横 円 形	U字形	約 80	90	70	土師器(杯・瓶)、酒器、瓦質土器、輸入陶器、中國白磁(碗)、鐵釘、鐵鏈	中世 埋葬地にある
150C 号	S K 130	土 壽	横丸長方形	複雑状	約 45	約 62	18.8	土師器(杯)、瓦器(碗)、輸入陶器、中國白磁(碗・瓶)	中世
151 号	S K 131	土 壽	横丸長方形		約 333		236	土師器(杯・瓶)、瓦器(碗)、土師質土器(甕・壺・瓶)、火香、瓦器、瓦片陶器(甕・瓶)、鐵釘、伊万里系(碗・盒・蓋・杯・旁付)、輸入陶器(壺・甕・瓶・瓶)、中國白磁(碗・盒)、鐵釘、鐵鏈	近世
152 号	S K 132	土 壽	横丸長方形	半球形	100	70	41.4	土師器(杯・瓶)、輸入陶器	中世
153 号	S K 133	土 壽	横 円 形	U字形	105	75	50.1	土師器(杯・瓶)、瓦器(碗)、土師質土器、中國青磁(甕・瓶)、鐵釘、中國白磁(碗・盒)、鐵釘、鐵鏈	近世 底座陶器は復元か?
154 号	S K 134	土 壽	不 圓 円 形	複雑状	158	152	87.4	土師器(杯・瓶)、土師質土器(甕・瓶)、輸入陶器(甕・瓶)、中國白磁(碗・盒)、鐵釘、鐵釘、瓦、鐵釘、鐵鏈、刀子	中世
155 号	S K 135	土 壽	円 形	半球状	90	94	39.6	土師器(杯・瓶)、酒器、輸入陶器、鐵釘	中世
156 号	S K 136	土 壽	横 円 形	U字形	71	107	18	土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器	中世
157 号	S K 137	土 壽	横丸長方形			350	110.2	土師器(杯・瓶)、土師質土器(二輪)、瓦質土器、高取系(鐵釘)、伊万里系(碗・盒・仮縫口)、輸入陶器(甕・瓶)、瓦、鐵鏈	近世
158 号	S K 138	土 壽	横 円 形	複雑形 二段窓	106	90	40	土師器(杯・瓶)、土師質土器(甕)、瓦質土器、輸入陶器(甕・瓶)、中國白磁(碗)、瓦、鐵鏈、骨頭碎片	中世
159 号	S K 139	土 壽	不 圓 形			126.1	土師器(杯・瓶)、土師質土器、瓦質土器、中國青磁(甕・瓶)、瓦、鐵鏈、骨頭碎片	近世 近現代か?	
160 号	S K 140	土 壽	円 形			28.1	土師器(杯・瓶)、土師質土器、瓦質土器、中國青磁(鐵釘・瓶・盒・水槽・瓶・瓦明器)、伊万里系(小皿)、輸入陶器(甕・瓶)、鐵釘、瓦、鐵鏈	近世	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形		規模(許測面、単位: cm)			出土	遺物	時期	備考
			子面	裏面	長	幅	深				
161 号	S K 033	井戸 円 形	井戸	—	84	約 195	約 172	139	土師器(杯・瓶)、瓦器(杯・七輪)、土師質土器(瓶・水差)、七輪、丸土器(須恵・七輪)、國産陶器(須恵・唐津窯)、高級手縫、空燒、小杯、伊万里窯(白・直)、口縁角直・空・瓶、蓋・仏頭器、合子・南北口)、輸入陶器(瓶・鉢)、同安(白)、中國白磁(碗・盤・合子)、瓦、鐵劍、鍔、矛、刀、貝、竹、灰瓦、鐵鎗、鉄製品(金ぼし)	近世	国産陶器(小判18 - 19世紀丸土器除外)、伊万里系(白粗・大正・切削)、牛込白磁(末永式)
162 号	S K 141	土 塵 圓 九方形 鋸歯状	64	110	35.5				土師器(杯)	中世	
163 号	S K 42	土 塚 圓 九方形 平滑形	96	77	35				土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器、中國白磁(瓶・盤・瓶)、青磁	近世	
164 号	S K 143	上 壇 檜 円 形 U字形	146	82	32				土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器、中國陶器(燈・度・度・壁)、唐津(白・瓶)、中國白磁(瓶)、滑石石臼、同産陶器(瓶)、鐵輪		
165 号	S K 144	土 塚 圓 九方形 方形	約 155		49.3				土師器(瓶)、瓦器(瓶)、漆器、土師質土器、國産陶器(度・瓶・瓶)、输入陶器(度・盤)、伊万里系(瓶)、中國白磁(瓶・盤・合子)、中國青磁(瓶)、瓦、木炭、鐵輪	近世	同一部分の土壤あり
166 号	S K 145	土 塚 檜 円 形 U字形	約 160	69					土師器(灯明皿)、漆器、土師質土器(瓶・七輪)、京焼(小鉢)、伊万里系(瓶)、輸入陶器、铁打、鉄鋤、鉄鎗、木炭、破壊	近世	舟べか井筒あり
167 号	S E 034	井 池 圓 九方形 鋸歯形	205	約 170	64.1				土師器(瓶)、土師質土器、瓦質土器(瓶木林)、國産陶器(瓶)、輸入陶器(瓶・瓶)、中國青磁(白粗)、鐵製品	近世	土器少
168 号	S K 146	土 塚 圓 九方形 U字形	90	130	14.4				土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器(度・度・瓶)、中國青磁(白粗)、鐵輪	中世	
169 号	S E 035	井 戸 円 形	100	90					同産陶器(瓶・紅灰器・瓶・盤)	近世	
170 号	S K 147	土 塚 圓 九方形	約 50		27.1				國産陶器、伊万里系(瓶)、輸入朱漆器、瓦、瓦礫、瓦石	近世	
171 号	S K 148	土 塚 圓 九方形 鋸歯形	140	150	89.1				土師器、土師質土器、國産陶器、鐵打、鉄洋	近世	
172 号	S K 149	土 塚 檜 円 形 逆錐形	210	172	100.3						
173 号	S K 150	土 塚 檜 円 形	220	約 180	117.8				土師器、國産陶器	近世	
174 号	S K 151	土 塚 圓 九方形 鋸歯形			約 133	73			土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、土師質土器(度)、須恵質土器、輸入陶器(瓶・瓶)、中國白磁(瓶・度・卷)、瓦質土器(度)、滑石石臼、木炭、鐵輪	中世	
175 号	S K 152	土 塚 檜 円 形 逆錐形	248	144	87.9				土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、土師質土器(瓶)、須恵質土器、輸入陶器(度)、輸入陶器(度・瓶)、中國白磁(瓶・度・合子)、鐵輪、同安(白)、瓦、刀子、鐵制鉄洋、鐵洪(瓦)、鐵輪	中世	同一部分の土壤あり
176 号	S K 153	土 塚 不整円形	174	約 133	59				土師器、輸入陶器、木炭、鐵輪	中世	
177 号	S K 154	土 塚 圓 九方形 逆錐形	約 65	57	40.8				土師器、輸入陶器、鐵輪	中世	S K 153 を切り分ける
178 号	S K 155	土 塚 檜 円 形 逆錐形	82	82	24.6				土師器、輸入陶器(瓶)、中國白磁(瓶)、瓦	中世	
179 号	S K 156	土 塚 檜 円 形 逆錐形	約 105	66	15.4				土師器(杯)、瓦器、土師質土器、輸入陶器(度)	中世	
180 号	S K 157	土 塚 円 形	約 180		105				土師器(杯)、瓦器、土師質土器(瓶・瓶・七輪)、輸入陶器(瓶)、英取寺(瓶)、波高寺(瓶)、伊万里系(瓶)、瓦、盆、板、盤、器・杯・瓶)、輸入陶器(費・器・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・度・瓶)、蓋・合子)、上面、土器、鐵劍、鐵輪	近世	

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壙・井戸）一覧表 ⑪

編號 番号	分類 番号	遺構名	形 態				保険(引取額、単位: cm)	出 土 遺 物	時期	備 考
			手 彫 形	凹面形	長	幅				
181 号	SK 158	土 壇	馬頭長方形	逆傾斜	130	140	116.5	土師器(杯・皿)、土師質土器(直・七枚)、瓦質上器(鉢)、瓦質陶器(盃・そば碗)、伊万里、輸入陶器(中国青磁、白磁)、中國時代(直)、瓦、土錠、鉄釘、銅泡	近世	
182 号	SK 159	土 壇	溝丸方形	逆傾斜	110	120	64			井戸か
183 号	SK 160	土 壇	円 形	逆傾斜	約 122	約 100		土師器(杯・直)、土師質土器(直)、瓦質土器(馬頭)、輸入陶器(鉢)、中國青磁、白磁(直)、瓦、地錠	中世	井戸か軒端あり
184 号	SK 161	土 壇	円 形				137.1	土師器(杯・直)、土器(碗)、土師質土器(腰・直)、瓦質上器(鉢)、瓦質陶器(盃)、輸入陶器(直・盃・直)、中國白磁(直)、瓦、滑石石鍋、鉄釘	中世	
185 号	SK 162	土 壇	不 整 形	逆傾斜	300	200	38.5	輸入陶器、鉄釘、鐵製品(馬具合)	中世	
186 号	SK 163	土 壇	横 円 形	逆傾斜	50	85		土師器、土師質土器、輸入陶器	中世	
187 号	SK 164	土 壇	手彫圓形	舟底形	108	55	26	土師器(杯・直)、土師質土器、輸入陶器、瓦、鉄釘、鐵錐、木板	中世	
188 号	SK 165	土 壇	馬頭長方形	舟底形	90			土師器(杯・直)、土師質土器(直・側・大直)、瓦質土器(腰・直)、輸入陶器(直)、中國白磁(直)、瓦、中國青磁(碗)、瓦、土製人形	中世	
189 号	SK 166	土 壇	不 整 形	逆傾斜	約 555	280	25	土師器(杯・直)、土師質土器(直・腰・直)、瓦質土器(直・七枚)、瓦質七器(直)、滑石石鍋(直)、鉄釘、瓦質(直)、輸入陶器(直)、伊万里系(直)、横口・弧形器、瓦、輸入陶器(直・腰・直・鉄)、中國白磁(直)、瓦、中國青磁(碗)、瓦、土製人形	近世	井戸か
190 号	SK 167	土 壇						土師器(杯)、須恵器、瓦、木炭	中世	
191 号	SK 168	土 壇	円 形	逆傾斜	約 340		55.5	土師器(杯・直)、土師質土器(直)、瓦質土器(直)、輸入陶器(直・腰・直)、中國青磁、白磁(直)、鉄釘、瓦、地錠	中世	井戸か
192 号	SE 036	井 戸	円 形		直 78		11	土師器(杯・直)、土師質土器(直)、國産陶器、輸入陶器、中國白磁(直)、私物、同窓(直)	同 号の土壙あり	
193 号	SE 037	井 戸	円 形	輪 傾 凹面形	直 76		71	土師器(杯・直)、瓦器(直)、土師質土器(直)、國産陶器(腰・直)、輸入陶器(腰・直・鉄)、鐵錐、同窓(直)、中國白磁(直)、瓦、瓦、鉄釘、鐵錐	近世	
194 号	SK 169	土 壇	横 円 形	鉛 制 凹面形	194	244	99	土師器(杯)、土器(直)、土師質土器、輸入陶器(腰・直・鉄)、中國白磁(直)、瓦質(直)、鉄錐	中世	井戸。井戸あり
195 分	SE 038	井 戸	円 形		直 98	120 (109)		土師器(直)、瓦器(直)、須恵器(直)、土師質土器、須恵器土器、伊万里系(直・小字)、鉄錐	近世	
196 号	SK 170	土 壇	馬頭長方形		約 180		137.5	土師器(杯・直)、瓦器(直)、須恵器(直)、土師質土器(直)、須恵器土器(直)、國産陶器、輸入陶器(直・林・鉄)、鐵錐、瓦質(直)、中國白磁(直・直)、瓦、滑石石鍋、石製灰皿、鉄錐	中世	
197 号	SK 171	土 壇	盤方形に近い		200		57.7	土師器(杯・直)、瓦器(直)、須恵器(直)、土師質土器(直)、須恵器土器(直)、國産陶器、輸入陶器(直・林・鉄)、鐵錐、瓦質(直)、中國白磁(直・直)、瓦、滑石石鍋、鉄錐、鐵錐	中世	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壤・井戸)一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形態				測定(引込量、単位:cm)	出土遺物	時間	備考
			下面形	前面形	長	幅				
158号	SK 172	土 壤	角 円 形	逆鐘形	135	94	18.5	土師器(杯), 瓦器(瓶・杯), 頭骨器, 土師質土器(瓶・頭・瓦), 頭骨器(頭・瓦), 中國青磁(碗), 中國白磁(碗), 瓦, 鐵鍬	中世	
159号	SE 902	2号石 掘井戸	円 形		内径 約 87.5		約 140	土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 頭骨器, 土師質土器(瓶), 瓦質土器(盤・瓶・鋸), 頭骨器(頭), 輸入陶器類, 石臼, 錫頭 井筒内: 土師器(杯), 瓦器, 土師質土器(瓶), 遺傳質土器(瓶), 土師器(頭), 瓦, 瓦罐	16世紀代 中世	
203号	SK 173	土 壤	不 规 形	逆鐘形	400	約 350	49	土師器(瓶), 瓦器, 土師質土器(瓶), 遺傳質土器(瓶), 中國白磁	中世	
204号	SK 174	土 壤	横 円 形			約 101	49	土師器, 頭骨器, 鐵鍬	中世	
202号	SK 175	土 壤	隅丸菱方形	鐘錶形	107	85	30.1	七頭器(杯・瓶・頭), 瓦器(瓶), 遺傳器, 土師質土器(瓶), 頭骨器, 中國白磁(碗), 瓦, 鐵鍬	中世	
203号	SK 176	土 壤	横 円 形		65			土師器(瓶), 輸入陶器, 遺傳器, 土師質土器	中世	
204A号	SE 039	井 戸	横 円 形	逆鐘形	約 200			土師器(杯), 瓦器(瓶), 土師質土器, 瓦質土器(鋸), 銀入陶器(鋸・盤), 銀器, 銀鏡, 青銅器片	中世	
204B号	SE 040	井 戸	横 円 形	横 锯 内鍛形	約 35			土師器(杯・瓶), 頭骨器(頭・盤), 土師質土器, 銀入陶器(鋸・盤・瓶), 中國白磁(頭・瓶), 銀魚(瓶), 瓦, 木板, 鎏輪	中世	
204C号	SE 041	井 戸	円 形		約 160			土師器, 銀入陶器, 鐵鍬, 鐵鑄	中世	
205号	SE 042	井 戸	円 形	鐵 鋸 内鍛形	(井深) 約 44 約 375	46	138.2	土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶・頭), 頭骨器, 土師質土器(瓶・鋸), 銀入陶器(鋸・盤), 銀入陶器(鋸・盤・鋸), 銀鏡, 銀盒, 銀珠, 同安(鋸), 中國白磁(頭・瓶), 瓦, 上鉢, 鐵鍬, 銀鏡, 石器, 鐵鑄	近世	
206号	SE 043	井 戸	横 円 形	鐵 鋸 内鍛形	約 230	300	75	土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 土師質土器(頭・七輪), 銀入陶器(鋸・盤), 銀器, 銀鏡, 銀盒, 同安(鋸), 中國白磁(頭・瓶・鋸), 銀魚, 上鉢, 鐵鍬, 銀鏡	近世	
207号	SK 177	土 壤	隅丸菱方形		約 90	約 75	33.6	瓦器(頭), 中國白磁(頭), 鎏輪	中世	
208号	SE 085	井 戸	円 形	鐵 鋸 内鍛形	(井深) 約 150 約 380	168 400	182.4	土師器(杯・瓶), 中國白磁(頭・鋸), 銀入陶器(鋸・盤), 銀鏡, 銀盒, 同安(鋸), 中國白磁(頭・鋸), 瓦, 鐵鍬, 鎏輪	近世	
209号	SE 044	井 戸	円 形	内鍛形	約 205	240	117.1	土師器, 土師質土器, 銀入陶器(鋸・盤・頭), 銀鏡	中世	
210号	SE 045	井 戸	円 形	内鍛形	(井深) 約 120 約 180	88 138	78.8	土師器(頭), 瓦器(頭), 頭骨器(頭・瓶), 土師質土器, 銀入陶器(鋸・盤・頭), 銀鏡, 銀盒, 鎏輪	中世	
211号	SE 046	井 戸	円 形	鐵 鋸 内鍛形	170	155	113	土師器(杯・瓶), 瓦器(頭), 土師質土器, 瓦質土器(頭), 銀質土器, 銀入陶器(鋸・盤), 中國青磁(頭・盤), 白磁(頭・盤), ベンガラ, 青銅器片		
212号	SE 047 048	井 戸	円 形	鐵 鋸 内鍛形	(井深) 約 312	76	164.8	土師器(杯・瓶), 瓦器(頭), 頭骨器(頭・鋸), 銀入陶器(鋸・盤・鋸・鋸・鋸・鋸), 銀鏡, 同安(鋸・頭), 中國白磁(頭・瓶), 瓦, 鐵鍬, 銀鏡, 鎏輪	同一敷地の土壤あり	
213号	SK 178	土 壤	横 円 形	逆鐘形	約 175	約 118	72.2	土師器(杯・頭), 瓦器(頭), 頭骨器, 土師質土器, 銀入陶器(鋸・盤), 中國白磁(頭), 銀魚, 鎏輪	同一敷地の土壤あり	
214号	SK 179	土 壤	横 円 形	角圓形	約 193		39.7	土師器(杯・頭), 瓦器(頭), 頭骨器, 土師質土器, 銀入陶器, 銀鏡, 中國白磁(頭), 中國青磁, 鎏輪		

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ⑬

整理番号	分類番号	遺構名	形態				規模(直径、単位: cm)	出土文物	時期	備考
			平面形	断面形	長	幅				
215 号	SK 180	上 墓 長 方 形			132	62	10.4	土師器、輸入陶器、瓦、貝	中世	
216 号	SK 181	土 墓 円 形	近縁形	約 120	約 110	32.4		土師器、瓦器、土師質土器、輸入陶器、瓦	中世	
217 号	SK 182	上 墓 円 形	近縁形	100	105	34		土師器(杯・豆)、瓦器、灰壺器、土師質土器(鉢・碗)、輸入陶器(盤・盤・豆)、同安(宋)中国白磁(碗・皿・合)、瓦、鐵釘、瓦塊、鐵輪	中世	
218 号	SK 183	土 墓 楊 円 形		約 50	約 95	32		土師器、瓦器、輸入陶器(盃)、中國白磁(碗)	中世	
219 号	SK 184	土 墓 窯丸長方形	近縁形	115	144	123		土師器(杯・豆・碗)、瓦器(碗)、燒壺器、土師質土器(碗・盤・豆)、近縁形(盤)、瓦、滑石鍋、鐵輪	近世	
220 号	SE 049	井 戸 円 形		約 365	200	103.5		土師器(杯・豆)、瓦器(碗)、燒壺器、輸入陶器(鉢・碗・盤)、中國青磁(青瓷)、鐵釘、土師器(盤)、輸入陶器(盤・碗)、同安(宋)、中國白磁(碗)、環狀石器	中世	
221 号	SE 050	井 戸 円 形	近縁形	(直径) 69 100	68 104	79.5		土師器(杯・豆)、瓦器(碗)、燒壺器(盤)、伊万里窯(小鉢)、輸入陶器、同安(宋)瓦、鐵釘、鐵片、鐵輪	近世	
222 号	SK 185	土 墓 円 形	近縁形	95	72	47		土師器、輸入陶器、瓦	中世	
223 号	SK 186	土 墓						土師器、輸入陶器、瓦	中世	
224 号	SK 187	土 墓 長 方 形	近縁形	100	65	9.3		土師器(杯・豆)、瓦器(碗)、燒壺器(盤)、同安(宋)、中國白磁(碗)、瓦		
225 号	SK 188	土 墓 楊 円 形	近縁形	約 82		28.6		土師質土器(碗)、輸入陶器	中世	
226 号	SK 189	土 墓						土師器(杯・豆)、土師質土器、中國青磁(白磁)(碗)、鐵輪	中世	
227 号	SK 190	土 墓						土師器(杯)、瓦器(碗)、燒壺器、土師器(盤)、鐵輪、瓦、鐵釘	中世	
228 号	SK 191	上 墓						土師器、瓦器、燒壺器、土師質土器(杯)、輸入陶器(盤)、同安(宋)、中國白磁(碗)	中世	
229 号	SE 050	井 戸 円 形		直 90	約 261	225.7		井筒内・土師器、土師質土器(七輪)、同安青磁(盤)	近世	
230 号	SE 051	井 戸 楊 円 形	近縁形	約 154	約 90	95.9		土師器(杯・豆)、土師質土器、輸入陶器(盤)、燒壺器(盤)、同安(宋)	中世	土器類
231 号	SK 192	土 墓						土師器(杯)、瓦器(碗)、燒壺器、土師質土器(碗)、中國白磁(碗)	中世	
232 号	SK 193	土 墓						土師器、輸入陶器	中世	
233 号	SK 194	土 墓 窯丸長方形	近縁形	90	74	23		土師器(杯)、中國白磁(碗)、燒壺器	中世	
234 号	SK 195	土 墓 不 定 形	近縁形	約 135		7.6		土師器、瓦質土器、輸入陶器	中世	
235 号	SE 052	井 戸 円 形	載 瓶	(半周) 66 588	68 267	227		土師器(杯・豆)、瓦器(碗)、土師質土器(高足系)、輸入陶器(盤・豆・盤・瓶)、燒壺器、同安(宋・元)、中國白磁(碗・盤)、瓦、鐵輪	中世	

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（上塙・井戸）一覧表 ⑭

整理番号	分類番号	遺構名	形 勢				規模(計測値、単位: m)	出 土 物	時期	備 考
			平面形	断面形	長	幅				
226 号	S E C53	井戸 円 形	近深形	(直径) 約 60 約 300	60 280	219.5	土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、土師質土器(鉢)、輸入陶器(甕・壺・瓶・壺・盆)、蓋(蓋・皿)、中内壁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世		
237 号	S K 196	七 桁 円 形	近深形	約 105		32	土師器(杯・皿)、瓦器(甕・瓶)、須恵器(碗)、土師質土器(甕・壺)、蓋(蓋・瓶)、鐵輪	中世		
238 号	S K 197	上 塙					土師器(杯・甕)、須恵器(甕・壺)、輸入陶器(甕・瓶)、中内壁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世		
239 号	S K 198	土 塙	円 形		約 265		60	土師器(杯)、瓦器(碗)、土師質土器(甕)、蓋(蓋・瓶)、中内壁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世	
240 号	S E 054	井 戸					土師器(杯・甕)、瓦器(碗)、土師質土器(甕)、蓋(蓋・瓶)、中内壁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世	上塙は近傍ガミ六人陶器(甕・瓶・壺)、瓦器(碗)、同安(甕)	
241 号	S K 199	土 塙					土師器(杯)、伊万里系磁器		近世	
242 号	S K 200	七 桁 棱 円 形	圓錐形	92	93	73	土師器(杯・皿)、須恵器、土師質土器、須恵器七鼎(甕)、圓錐形器(甕・皿・壹・壺)、輸入陶器(甕・瓶・壺)、鐵釘、鐵輪、同安(甕)、中國白磁(碗)、瓦	中世		
243 号	S K 201	上 塙					土師器(杯)、瓦器(碗)、輸入陶器(甕)、鐵輪		中世	
244 号	S K 202	土 塙					土師器(杯・皿)、輸入陶器(甕)、中区白磁、鐵輪		中世	
245 号	S K 203	土 塙					土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器(甕)、中國白磁(碗)、鐵輪		中世	
246 号	S K 204	土 塙					土師器、須恵器、輸入陶器、鐵輪		中世	
247 号	S K 205	上 塙					土師器(杯)、輸入高麗器、瓦		中世	
248 号	S E 055	井 戸					土師器(杯・甕)、輸入陶器、須恵器(甕)、中國白磁(甕・瓶)、瓦、鐵輪		中世	
249 号	S K 206	土 塙								
250 号	S K 207	上 塙								
251 号	S K 208	七 桁 不整円形		約 80	115	27	上層一土師器(杯・皿)、輸入陶器(甕)、鐵輪 下層一土師器(杯)、土師質土器、輸入陶器(甕)	中世	他の土塙に切られた	
252 号	S K 209	上 塙								
253 号	S E 056	井 戸 開丸大方形		190			土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器(甕)、瓦、鐵釘、鐵輪、輸入陶器(甕・壺・瓶・盆)、鐵釘、同安(甕・皿)、中國白磁(碗・皿・瓶・壺)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世		
254 号	S K 210	七 桁					土師器、瓦器、土師質土器、須恵器(甕・瓶・盆)、鐵釘、鐵輪、中國青磁、白磁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	近世		
255 号	S K 211	七 桁					土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器(甕・瓶・盆)、鐵釘、鐵輪、中國青磁、白磁(碗・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	S K210 より深入 あり		
256 号	S K 212	土 塙					土師器(皿)、輸入陶器(甕)、瓦、鐵輪	中世		
257 号	S E 057	井 戸					土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、輸入陶器、中國白磁(甕・皿)、瓦、鐵釘、鐵輪	中世		
258 号	S K 213	土 塙 開丸大方形	近深形	約 160	90		土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器(甕)、圓錐形器(甕・瓶・壺)、伊万里系(甕・瓶・壺)、輸入陶器(甕・瓶)、中國青磁、白磁(碗・皿)、瓦、土器、土瓶、鐵釘、鐵輪、鐵輪	近世		

* 約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ⑬

記録番号	分類番号	遺構名	形			規模(計測値、単位: cm)	出土遺物	時期	備考	
			平面形	側面形	長					
259号	SK 214	上 墓 不整形				約80				
260号	SK 215	土 墓 深丸長方形	逆梯形		160	150	23.7			
261号	SK 216	土 墓					土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器(甕)、土師瓦上器(杯・碗)、輸入陶器(壺・盆)、中國青磁(碗)、半圓白瓷(碗・皿・盤)、瓦、鐵釘、玻璃、滑石片等	中世		
262号	SE 658	井 戸					土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師瓦上器(深・大盆)、瓦片上器、圓底器(碗)、伊万里器(瓶・瓦・鉢口)、輸入陶器(壺・盆・碗・瓶)、中國青磁(碗・瓶・合子)、瓦、鐵釘	近世		
263号	SK 217						土師器、土的瓦上器、輸入陶器	中世		
264号	SE 659	井 戸 田 砂	円 形	逆梯形	(東西) 50 南北 520	50 275	157.2	土師器(杯・皿)、須恵器、土師瓦上器(壺・七輪・ろう底)、瓦片上器(杯・盤)、圓底器、伊万里器(瓶・瓦)、輸入陶器(壺・盆・瓶)、中國青磁(碗)、瓦、鐵釘、同安(碗)、中國明代(碗)、中國百姓(碗)	近世(16~19世紀)	
265号	SK 218	上 墓 圓 円 形	逆梯形		472	275	140.7	土師器(杯・皿)、土師瓦上器(壺・七輪・ろう底)、瓦片上器(碗)、圓底器(碗)、伊万里器(瓶・瓦)、輸入陶器(壺・盆・瓶)、中國青磁(碗)、瓦、土的瓦上器、瓦片、瓦	近世	
266号	SE 660	井 戸 不整円形	円筒形		150.2	137	152.7	土師器、土師瓦上器(壺・盆・瓶・七輪・灯明皿・鍋台)、唐津器(碗)、伊万里器(瓶・瓦・瓶・鉢)、輸入陶器(壺・盆・瓶・瓶)、中國青磁(碗・瓶・鉢)、瓦、土的瓦上器、瓦	近世	
267号	SK 219	土 墓 円 形	—				土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、須恵器、土師瓦上器(碗)、瓦片上器(杯・盤)、圓底器、輸入陶器(瓶・壺・瓶)、中國青磁、白磁(碗)、瓦、鐵釘、滑石、玻璃、扇子は小刀	中世	井戸か	
268号	SK 220	土 墓 円 形	逆梯形		100	95	68.3	土師器(杯・皿)、黑色土器、瓦器(碗)、須恵器(碗)、土師瓦上器(杯・盤・七輪・灯明皿・瓶)、瓦片上器(杯・七輪)、圓底器(碗)、高取器(瓶)、伊万里器(瓶・瓦・盤・蓋・鉢)、輸入陶器(壺・盆・瓶)、中國青磁、白磁(碗)、瓦、鐵釘、滑石、玻璃	近世	
269号	SK 221	土 墓 不整円形	逆梯形		93	96	66.3	土師瓦上器(七輪・籽金窯)、圓底器(壺・瓶・皿・水差・瓶・灯明皿・花瓶・鋸口)、伊万里器(碗・瓶・瓦・鉢)、瓦器(瓶・瓦・盤・蓋・鉢・壺・鋸口)、輸入陶器(壺・盆・瓶)、中國白磁(碗)、瓦、鐵釘、瓦	近世	
270号	SK 222	土 墓 円 形	逆梯形		115	94	38.7	土師器、瓦器(瓶)、土師瓦上器、圓底器(碗)、圓底器(瓶)、輸入陶器(瓶・盆・皿)、瓦	中世	
271号	SK 223	土 墓 圓 円 形	U字形	約128	約90	54.8	土師器(杯・碗)、瓦器(碗)、須恵器、土師瓦上器(碗)、瓦片上器(碗)、輸入陶器(壺・盆・瓶)、中國白磁(碗)、瓦、鐵釘、瓦	中世		
272号	SK 224	土 墓 踊丸長方形	逆梯形	約125	約70	85	土師瓦上器(七輪)、瓦片上器(瓶)、伊万里器(碗)、中國百姓(土分)	近世	SK 218 と切り合う	
273号	SK 225	土 墓 圓 丸 方形	逆梯形	148	135	37.6	土師器(野金窯)、土師瓦上器(瓶・七輪)、圓底器(瓶・碗・盤・灯明皿・瓶)、伊万里器(碗・瓶)、輸入陶器、滑石	近・現代		
274号	SK 226	土 墓 円 形	逆梯形	約70	75	54.1	土師器、須恵器、土師瓦上器、輸入陶器等			
275号	SK 227	土 墓 深丸長方形	逆梯形	118	98	40.7	土師器、瓦器、須恵器、圓底器(碗)、輸入陶器(瓶)、中國白磁(碗)	近世		

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（上塙・井戸）一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形態		規模(計測値、単位: cm)			出土遺物	時期	備考
			平面形	剖面形	長	幅	深			
276 号	SK 228	土 塵 円 形 逆傾形			163	135	65.2	土師器、須恵器、土師質土器(鉢・七輪)、瓦質土器(七輪)、圓錐陶器(甕・鉢・盤・壺・瓶・皿)、伊万里焼器(甕・皿・瓶)、中国青磁(香港)、丸、頭、G	近世	
277 号	SK 261	井 戸 円 形 逆傾形	(弁型)		58 215	55	約200.2	上鉢器、上印旛上器(甕)、中國白磁(碗)、鐵輪	中世	
278 号	SK 229	土 塾 條 円 形 逆傾形			250	約 165	101.8	上鉢器(杯・皿)、瓦器、須恵器、土師質土器(縫)、瓦質陶器(甕・鉢・壺・瓶・皿)、松花器(縫・木・瓶)、輪入陶器(甕・盆・瓶・皿)、伊万里焼器(甕・瓶・皿)、中國白磁(瓶・皿)、同安(甕)、瓦、土器	近世	
279 号	SK 230	土 塾 円 形 逆傾形			102	92	47.7	土師器(甕・鉢・瓶)、瓦器(瓶)、輸入陶器(甕・瓶)、中國白磁(瓶・皿)、鐵輪	中世	
280 号	SK 062	井 戸 円 形 逆傾形	(弁型)		115 365	114 310	192.3	土師器(甕)、瓦器(瓶)、須恵器(甕・瓶)、土師質土器(甕)、瓦質土器(甕)、圓錐陶器(甕・鉢・瓶・皿)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、同安(甕)、中國白磁(瓶)、鐵輪、輪	中世	
281 号	SK 063	井 戸 不整円形 逆傾形	(弁型)		52 447	56 405	251.1	上鉢器(杯・皿)、須恵器、土師質土器(縫・七輪)、瓦質陶器(甕・鉢・瓶)、輪入陶器(甕・盆・瓶)、中國青磁(瓶・皿)、瓦器(瓦)	近世	伊万里系(三輪内紀～幕末合行)
282 号	SK 231	土 塾 條 円 形 逆傾形			約 215	91.6		土師器(甕)、上印旛上器(甕・七輪・灯明皿・内瓦土器)、瓦質陶器(甕・瓶・瓶)、伊万里燒器(瓶・瓶)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・皿)、瓦、土製人形、埴輪、鐵劍	近世	SK 302 に切られ心
283 号	SK 232	土 塾 條 円 形 逆傾形	約 154	約 150	60.8			土師器(杯・皿)、土師質土器(鉢・瓶・七輪)、瓦質土器(甕・瓶)、須恵器(甕・瓶)、伊万里燒器(瓶・瓶)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・皿)、瓦、土製人形、埴輪、鐵劍	近世	SK 360 に切られ心
284 号	SK 233	土 塾 不整円形 逆傾形			117	105	60.7	上鉢器上器(杯・瓶・七輪・灯明皿)、瓦質土器(甕・瓶・瓶)、圓錐陶器(甕・灯明皿)、伊万里燒器(甕・皿・瓶)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・皿)、瓦、土師・土面、土製人形、鐵劍、片、鐵斧	近世	
285 号	SK 234	土 塾 條 円 形 逆傾形	約 215	172	97.2			土師器、上印旛上器(甕・瓶・七輪)、圓錐陶器(甕・瓶・瓶)、須恵器(甕)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・皿)、瓦、土器	近世	
286 号	SK 235	土 塾 條 円 形 逆傾形	約 210	150	60.3			上鉢器(杯・皿)、瓦器(瓶・皿)、須恵器、土師質土器(甕・瓶・瓶)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、圓錐陶器(甕・瓶・瓶)、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・瓶)、瓦、鐵劍、刀子、鐵輪	中世	
287 号	SK 236	土 塾 條 円 形 逆傾形	190	150	18.5			土師器、圓錐陶器、輪入陶器(甕・瓦・木製)	近世	
288 号	SK 237	土 塾 條 円 形 逆傾形	約 90		85			土師器(甕・杯・瓶)、瓦器(甕)、須恵器、土師質土器(甕)、輪入陶器、羅宋(甕)、中國白磁(瓶)、鐵劍、青銅仏像、鐵輪	中世	
289 号	SK 238	土 塾 不整長方形 逆傾形	175	約 70	65.3			土師器(杯・瓶)、須恵器、土師質土器、瓦質上器、圓錐陶器、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・瓶)、瓦、鐵劍		
290 号	SK 239	土 塾 條 円 形 逆傾形	108		50			土師器(杯)、上印旛上器、瓦質上器(甕)、輪入陶器(甕)、羅宋(甕)	中世	SK 238 に切られる
291 号	SK 240	土 塾 不整長方形 逆傾形	127	95	48.8			上鉢器(杯・瓶)、上印旛上器(甕・瓶・七輪)、瓦質土器(甕・七輪)、圓錐陶器、輪入陶器(甕・瓶・瓶)、中國白磁(瓶・瓶)、瓦、木製、鐵劍	近世	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壙・井戸)一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形態(計測値、単位: cm)			出土上通沟	時期	備考	
			平面形	断面形	長	幅	深		
292 号	SK 241	上 壇	馬頭狀方形	逆梯形	約 205	140	39.7	土師器(杯・直)、土師質土器(鉢・盤)、瓦質土器(鉢)、瓦質陶器、輸入陶器、鉄刃、木炭	近世
293 号	SK 242	土 壇	円 形	梯形	95			土師器(杯・直)、土師質土器、瓦質土器、瓦質陶器、輸入陶器(盃・杯・直)、鐵鋸(鉢)、中國白磁(碗・直)、瓶(直)、盒、蓋、鐵輪	中世
294 号	SK 243	土 壇	楕 圓 形		約 185		57.3	土師器(盃・杯)、土師質土器(鉢・直)、七輪、瓦質(盃・盤)、輸入陶器(盃・直)、人形、伊万里窯器(直・直)、花瓶、輸入陶器、瓦、土壺	近世
295 号	SK 244	土 壇 不整形	—	約 710	約 310	48.3	土師器(杯・直)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器(鉢・直)、七輪、瓦質土器、瓦質陶器(盃・盤・直)、鐵鋸(鉢)、伊万里窯器(碗)、輸入陶器(盃・直・直)、中國白磁(碗)、中華青磁(碗・直)、瓦	近世	
296 号	SK 245	上 壇	椭 圓 形		70	50		土師器七輪、瓦	中古
297 号	SK 246	上 壇	椭 圓 形	梯形	70	50		土師器(杯・直)、瓦器(碗)、須恵器(盃・盆)、瓦質土器(盃)、須恵器(直)、瓦質土器(直)、瓦質陶器(盃・盤・直)、輸入陶器(盃・直)、鐵鋸(鉢)、中國白磁(碗・直)、瓦、滑石(直)、鐵輪、土製人形	中世
298 号	SK 247	土 壇	椭 圓 形	逆梯形	約 207	約 85	170.3	土師質土器、瓦質陶器、輸入陶器	近世
299 号	SK 248	上 壇	椭 圓 形	梯形	170	110	94.6	土師器、土師質土器、瓦質土器、鐵劍、小刀	近世
300 号	SK 249	土 壇	椭 圓 形		約 48		16.3	土師器、土師質土器、瓦質土器、鐵劍、小刀	中世
301 号	SK 250	土 壇	椭 圓 形		約 150		60.6	土師器(杯・直)、瓦器(碗)、土師質土器、瓦質陶器(碗)、中國白磁(碗)	近世
302 号	SK 251	土 壇	円 形	逆梯形	75	70	51.6	土師器(杯・直)、瓦器(碗)、須恵器、土師質土器、瓦質陶器(碗・直)、中國白磁(碗・直)、木炭、鐵鋸	中世
303 号	SK 252	土 壇	椭 圓 形	梯形	92	55	38.3	土師器(杯)、瓦器、須恵器	中世
304 号	SK 253	土 壇	椭 圓 形		約 140		33	土師器(杯・直)、土師質土器(盃・盆・直・直)、瓦質(盃)、須恵器(盃・盆・直)、土師質土器、瓦質陶器(盃・盆)、輸入陶器(盃・盆)、中國白磁(碗・直)、中華青磁(碗)、人形、木炭、鐵輪	近世
305 号	SK 254	土 壇	円 形	逆梯形	142	約 145	48.2	土師器(杯・直)、黑色土器(杯)、瓦器(盃)、土師質土器、瓦質陶器(盃・盆)、輸入陶器(盃・盆)、中國白磁(碗)、鐵鋸	井戸か、中世
306 号	SK 255	土 壇	椭 圓 形	梯形	300	170	42.5	七輪器(杯・直)、瓦器(碗)、須恵器(盃・盆)、土師質土器、瓦質陶器(盃・盆)、輸入陶器(盃・盆)、中國白磁(碗・直)、瓦、骨	SK 266 に切られ る
307 号	SK 256	土 壇	円 形	逆梯形	145	155	135.7	土師器(杯・直)、瓦器(碗)、須恵器(盃・盆)、輸入陶器(盃・盆)、中國白磁(碗・直・直)、瓦、骨	中世
308 号	SK 257	土 壇	椭 圓 形	逆梯形	60			土師器(杯・直)、黑色土器(碗)、須恵器(盃)、土師質土器、瓦質陶器、輸入陶器(盃・盆・直・直)、中國白磁(碗・直)、國宋(碗)、鐵鋸	近世
309 号	SK 258	土 壇 不整圓形	逆梯形	約 190	164	53.1	土師器(杯・直)、黑色土器(碗)、須恵器(盃)、土師質土器、瓦質陶器(盃・直)、伊万里窯器(直・直)、輸入陶器(盃・盆)、中國白磁(碗・直)、國宋(碗)、鐵鋸	近世	
310 号	SE 064	井 戸	円 形	數 濟 圓錐形	(外径) 64 362	45 205	165.7	土師器(杯・直)、黑色土器(碗)、須恵器、土師質土器、輸入陶器(盃・盆・直・直)、中國白磁(碗・直)、瓦、鐵鋸、鐵輪、鐵鏈	中世

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壤・井戸)一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形 怪			規模(片割面、単位: cm)	出 土 物	時期	復 動	
			平	圓	剖面					
311 号	S.E. 065	井 井	円	形		(井筒) 48 150	48 195	133.8	土師器(杯・盤)、瓦器(碗)、漆器器、土師質土器、瓦質土器、漆器質土器、漆器質土器、漆器質土器、輪・鉢・花鉢)、輸入陶器(唐・宋・元・明)、鉢・皿、圓錐形、圓錐形、圓錐形、中國白磁(碗・皿・合子)、瓦、調理器、青銅器(鐘)、鐵錠	中世
312 号	S.K. 259	土 壤 田 形	逆梯形			100	85	24	土師器、燒土器(盤)、土師質土器	中世
313 号	S.K. 260	土 壤 田 形	圓錐形			25	88	29.1	土師器(杯・盤)、瓦器(碗)、漆器器、圓錐形器、輪・鉢・花鉢)、輸入陶器(唐・宋・元・明)、木炭、泥石石灰、鐵錠	中世
314 号	S.K. 261	土 壤 田 形	逆梯形			58	48	29.2	土師器(杯・皿)、瓦器、漆器器、輸入陶器器	中世
315 号	S.K. 262	土 壹 田 形	逆梯形			85	85	26.1	土師器(杯・皿)、土師質土器(鍋)、鐵錠(碗)	中世
316 号	S.K. 263	土 壹 田 形	圓錐形			107	85	31.4	土師器(杯・皿)、瓦器、中國白磁(碗)	中世
317 号	S.K. 264	土 壹 田 形	逆梯形			80	50	33.2	土師器(杯・皿)、土師質土器、輸入陶器器	中世
318 号	S.E. 066	井 井	圓	形	圓錐形	(井筒) 45 230	45 約 200	210	上井筒(杯・盤)、瓦器(碗・皿)、漆器器、土師質土器、漆器質土器(盤)、圓錐形器、輸入器器(盤・盤・盤)、中國白磁(碗・盤・合子)、同安(碗・水舟・瓦)、鐵錠 上層-土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、漆器器、土師質土器(盤)、輸入陶器(盤・蓋・蓋・盤・盤)、中國白磁(碗・皿・合子)、中國青磁、瓦、鐵錠、滑石石灰 下層-中國白磁(碗)、中國青磁(碗)	中世 中国陶器は上層から認められなかつた。底層に井附あり
319 号	S.K. 265	土 壹 圓 多方形				55	40		土師器(杯・皿)、瓦器、漆器器、土師質土器、輸入器器(盤・盤・盤)、同安(碗)、中國白磁(碗)	中世
320 号	S.K. 266	土 壹 圓 多方形	逆梯形			111	110		土師器(杯・皿)、漆器器、土師質土器(鍋・鍋)、圓錐形器(盤・蓋)、輸入陶器(盤・蓋・盤・盤)、中國白磁(碗・盤)、燒土、圓錐形、同安(碗)、鐵錠、鐵錠	近世
321 号	S.K. 267	土 壹 不整円形	逆梯形			90	80		土師器(杯・皿)、瓦器(碗)、漆器器、中國白磁(碗)、鐵錠、刀子、剪輪	中世
322 号	S.K. 268	土 壹 田 形	逆梯形			100	90		土師器(杯)、燒土器、土師質土器(盤・鍋)、燒土器(盤)、中國白磁(杯)、圓錐形器、輸入器器(盤・盤・盤)、中國白磁(碗)、同安(碗)、滑石石灰、鐵錠	
323 号	S.K. 269	土 壹 田 形	逆梯形			90	90		上井筒(杯・皿)、漆器器、土師質土器(鍋)、瓦器上器、圓錐形器(盤)、輸入陶器器、瓦	
324 号	S.K. 270	土 壹 圓 多方形	逆梯形			90	80		土師器(杯)、漆器器、土師質土器、輸入陶器器、鐵錠	
325 号	S.K. 271	土 壱 極 田 形				50	80			
326 号	S.K. 272	土 壱 極 田 形	角底形			117	50	67.5	土師器(杯・皿)、土師質土器(鍋)、輸入陶器(盤)、中國白磁(碗・盤)、同安(碗)、瓦	中世
327 号	S.K. 273	土 壱 極 田 形	角底形			約 40	約 118	135.1	土師器(杯・皿・碗)、中國白磁(碗・盤)、漆器器、圓錐形器(盤)、輸入器器(盤・盤)、中國白磁(碗・盤)、瓦器(碗・皿)、漆器器、土師質土器、漆器質土器(盤)、圓錐形器(盤)、輸入器器(盤)、中國白磁(碗・皿)、瓦、鐵錠	近世
328 号	S.K. 274	土 壱 田 形				95	80	22.5	土師器、圓錐形器、輸入陶器器(盤)、中國白磁(碗・皿)	中世
329 号	S.K. 275	土 壱 圓 多方形	逆梯形			163	120	20.4	土師器(杯・皿)、土師質土器、瓦器上器、圓錐形器(盤)、輸入陶器器	

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壙・井戸)一覧表 ⑩

整理番号	分類番号	遺構名	形態				規模(±面積、厚さ: cm)	出土遺物	時期	備考
			平面形	断面形	長	幅				
330 号	SK 276	土 壁 不整円形	逆錐形		90	20	50	土師器(杯・皿), 瓦質土器(甕・瓶), 輸入陶器(盤・盞), 中白磁(碗)	中世	
331 号	SK 277	土 壁 横円形	逆錐形	約 387		165	107.5	土師器(杯・皿), 陶瓦器, 上部灰土器(甕・瓶・瓶), 瓦質土器(甕・瓶・瓶), 圆底罐器(甕・瓶・小杯・合子), 輸入陶器(甕・甕・瓶・瓶), 中國白磁(碗), 瓦鼎(碗), 鋼刀, 鋼劍, 鋼鏡(鏡)		複数地にあり
332 号	SK 278	土 壁 横円形	逆錐形	136		73	20.4	土師器(杯・皿), 土師燒(碗), 瓦質土器(甕), 輸入陶器(甕・甕・瓶), 中國白磁(碗・皿・瓶), 中國青瓷(碗), 瓦, 瓦砾	中世	
333 号	SK 279	土 壁 不整地円形	レンズ状	203	約 150	51		上部器(杯・皿), 瓦器, 陶瓦器, 土師燒土器, 輸入陶器(甕・瓶・瓶), 中國白磁(碗・皿・瓶), 瓦, 瓦砾		
334 号	SK 280	土 壁 横円形	レンズ状	約 125		89	37.5	土師器(杯・皿), 土師燒土器, 輸入陶器等		非常に、SK 342 と同
335 号	SK 281	土 壁 不整円形	逆錐形	622	約 140	50.4		土師器(杯・皿・瓶), 土師燒(碗), 瓦質土器(甕・瓶・瓶), 瓦器, 大瓶, 瓶詰, 瓶水跡, 薄底器(甕・皿), 伊万里系(甕・小瓶・小瓶), 輸入高麗器(甕・安政・瓶・皿), 瓦, 鋼刀, 青銅, 木製品, 盆, 銀輪, 青銅鏡(鏡盤), 錠大頭銅製品	近世	
336 号	SK 282	土 壁 横円形	逆錐形		約 85	52.5		土師器(杯・皿), 上部灰土器, 瓦	中世	SK 300 と切合
337 号	SK 283	土 壁 円形	逆錐形	107		92	22.7	土師器(杯・皿), 土師燒土器(甕), 輸入四脚器, 瓶輪	中世	
338 号	SK 284	土 壁 横円形	逆錐形	175	約 120	32.5		土師器(杯・皿), 上部灰土器, 陶瓦器土器, 圓底灰器, 輸入陶器(甕), 中國白磁(碗), 中國青瓷(碗), 瓦砾		
339 号	SK 285	土 壁 円形	逆錐形	138	約 110	32		土師器(杯・皿), A器(甕), 圓底器(甕・瓶・瓶), 土師燒土器(甕), 瓦器(甕・瓶), 瓦, 瓦砾, 輸入高麗器(甕・瓶), 中國白磁(碗), 銀刀, 銀輪	中世	
340 号	SK 286	土 壁 円形	逆錐形	約 95		36.7		輸入陶器等	中世	SK 217 と切合
341 号	SK 287	土 壁 横円形	逆錐形	120				土師器(甕), 土師燒土器(甕), 瓦質土器(甕), 輸入陶器(甕・瓶・瓶), 中國白磁(碗), 銀刀	中世	
342 号	SK 288	土 壁 横円形	逆錐形	135		107	80	土師器(杯・皿), 瓦器(甕), 陶瓦器(甕・瓶), 輸入高麗器(甕), 瓦砾	中世	
343 号	SK 289	土 壁 不整地長方形	レンズ形	215		135	39.3	土師器(杯・皿・瓶), 瓦器(甕), 陶瓦器(甕・瓶), 上部灰土器, 陶瓦器土器(甕), 輸入陶器(甕), 中國白磁(碗・皿), 銀刀	中世	同一七種名あり
344 号	SK 290	土 壁 円形	レンズ形	70	約 65	54.7		土師燒(甕), 土師燒土器(甕), 瓦質土器(甕), 輸入陶器(甕・瓶・瓶), 中國白磁(碗), 銀刀		
345 号	SE 067	井戸 円形	逆錐形	92		35	130.8	土師器(杯・皿), 瓦器(甕), 陶瓦器, 土師燒土器, 輸入陶器(甕・瓶・瓶), 銀刀(碗), 中國白磁(碗・皿), 銀刀	中世	
346 号	SE 068	井戸 円形	逆錐形	85		85	95.8	輸入陶器, 瓦, 銀輪		
347 号	SK 291	土 壁 円形	逆錐形	60		50	32.5	土師器(甕), 瓦器(甕・瓶), 土師燒(甕・瓶), 輸入高麗器(甕・瓶), 銀刀, 銀輪	中世	内部に繩・入骨土器等か?
348 号	SK 292	土 壁 横円形		60		160		土師器(甕), 瓦器(甕・瓶), 陶瓦器(甕), 土師燒土器, 陶瓦器土器(甕), 輸入高麗器(甕), 銀刀	中世	
349 号	SK 293	土 壁 円形	逆錐形	110			45.4	土師器(甕), 土師燒土器, 瓦器(甕), 輸入陶器等	中世	SK 310 に切合される
350 号	SK 294	上 壁 横円形	逆錐形	約 112		100	36.3	土師器(甕・瓶), 瓦器(甕), 陶瓦器(甕), 土師燒土器(甕), 瓦質土器(甕), 輸入高麗器(甕・瓶・瓶), 中國白磁(碗・瓶・瓶), 銀刀, 銀輪, 銀輪	中世	同一番号の上蓋あり

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覧表 ②

整理番号	分類番号	遺構名	形 動 慢				出 上 遺 物	時期	考	
			平 庫 形	圓 庫 形	長 棒 形	短 棒 形				
351 号	S E 669	土 壤	円 庫 形	逆棒形	50	45	土師器、瓦器、土師質土器、輸入陶器、鐵輪	中世		
352 号	S K 295	土 壤	馬頭形	逆棒形	100	80	土師器（杯・瓶）、瓦器（碗・盤）、須恵器（壺）、土師質土器（碗）、須恵器（盤）、圓底白盤（碗）、鐵輪、鐵釘、鐵輪			
353 号	S E 666	瓦井戸	円 庫 形		(約) 55 約 110	55 94	16.4	土師器（壺）、土師質土器、中空陶器（碗）、中國青磁	中世	
354 号	S K 296	土 壤	円 庫 形		約 66		35			
355 号	S K 297	二 壁	馬頭形		150	約 140	土師器（杯・瓶）、瓦器（碗）、土師質土器（碗・盤）、須恵器（壺）、圓底白盤（碗）、圓底（碗・瓶）、中國白磁（碗・盤）、瓦、鐵輪	中世		
356 号	S K 298	土 壤					土師器（杯・瓶）、須恵器（壺・瓶）、瓦器（碗）、圓底白盤（碗・盤・水瓶・瓶）、輸入陶器（壺・瓶・瓶）、圓底（碗）、中國白磁（碗）、瓦、鐵釘、滑石繩、鐵輪	近世		
357 号	S K 299	土 壶	円 庫 形		60					
358 号	S K 300	上 壤	格 円 庫 形	逆棒形	920	約 538	185.6	須恵器含層・土師器（杯・瓶）、瓦器（碗・瓶）、須恵器（碗・盤）、土師質土器（碗・盤）、須恵器（碗）、伊万里呂（碗・盤・蓋・蓋）、中國青磁、白磁（碗・瓶）、刀子	近世	
359 号	S K 301	土 壽	格 円 庫 形	逆棒形	約 115	約 90	163.6	土師器（杯）、瓦器（碗・瓶）、土師質土器（碗）、須恵器（碗・盤）、圓底白盤（碗）、輸入陶器、圓底（碗）、中國白磁（碗・小皿）、瓦、鐵輪	中世	
360 号	S K 302	土 壽	不 壁	逆棒形	300	400	126.1	七輪器（杯・瓶）、土師質土器（碗・盤）、須恵器（碗・盤）、伊万里呂（碗・盤・蓋・蓋）、輸入陶器、瓦、鐵輪	S K 130 之前・近世	
361 号	S K 303	土 壽	馬頭形	逆棒形	275	94	77.6	土師器（杯・瓶）、瓦器（碗・瓶）、須恵器（碗・盤）、土師質土器（碗・盤）、伊万里呂（碗・盤・蓋・蓋）、輸入陶器、瓦、鐵輪	近世	
362A 号	S K 304	上 壽	格 円 庫 形	逆棒形	約 75	60	20.9	土師器（碗）、瓦器（碗）、須恵器、土師質土器（碗・盤）、鐵輪	中世	
362B 号	S K 305	土 壽	不 壁	馬頭形	65	60	13.7	上師器（碗）、須恵器、土師質土器（碗・盤）、鐵輪		
363 号	S K 306	土 壽	格 円 庫 形	逆棒形	90	35				
364 号	S K 307	土 壽	格 円 庫 形	逆棒形	100	約 80	上師器（碗）、瓦器（碗）、土師質土器、瓦質土器（碗）、輸入陶器、瓦、鐵輪	中世		
365 号	S K 308	土 壽	馬頭形	逆棒形	約 140	90	20.4	土師器（碗）、圓底陶器、中國白磁（碗）	太陽	
366 号	S K 309	土 壽	格 円 庫 形	逆棒形	約 115	93	22.4	上師器（杯・瓶）、圓底陶器（碗）、輸入陶器		
367 号	S K 310	土 壽	円 庫 形		76	90	54.5	上師器（碗）、中國白磁（瓶）	近世	
368 号	S K 311	土 壽	円 庫 形	逆棒形	88	約 54	31.2	土師器（杯）、瓦器（碗・瓶）、須恵器（碗）、土師質土器（碗・瓶・七輪）、須恵器（碗）、輸入陶器（碗）、鐵輪	中世	
369 号	S K 312	土 壽	格 円 庫 形	逆棒形	約 94	約 150	127.2	土師器（杯・瓶・碗）、瓦器（碗）、須恵器（碗）、輸入陶器（碗・瓶）、中國白磁（碗）、鐵輪、鐵錐	中世	
370 号	S K 313	上 壽	円 庫 形	逆棒形	約 112	95	28.1	上師器（杯・瓶）、土師質土器、輸入陶器、中國白磁（碗）、瓦、鐵釘、鐵錐	中世	同一番号の土壤あり

※約は現存の細・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構（土壤・井戸）一覽表 ②

監理 番号	分類 番号	遺構名	形 態			規模(計測値、単位: cm)	出 土 遺 物	時期	調 査	
			平 面 形	断 面 形	長 幅					
371 号	S E 070	井戸	円 形	(井戸) 約 45	47	約 230	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶・瓶)、須恵器(甕・瓶)、土師質土器、須恵質土器(甕)、輪入陶器(甕・瓶)、灰陶(甕・瓶)、鐵石、鐵鋸、鐵鎌、灰瓦(甕)、中國白瓷(瓶・瓶)、鉄刃、瓦砾、鐵鏈、鐵釘、鐵錐	中世		
372 号	S K 314	土 壤	横 田 形		200		土師器(杯・瓶)、瓦器、輸入陶器(甕・瓶)、中國白瓷(瓶)、瓦、鐵打、鐵鋸、鐵鎌	中世		
373 号	S K 315	土 壤	横 丸 方 形		45		1.1			
374 号	S K 316	土 壤	横 丸長方 形	逆梯形	約 150		1.9	土師器(杯・瓶)、土師質土器、輸入陶器等、鐵鎌	中世	
375 号	S K 317	土 壤	不 整 圓 形	逆梯形	200		二層器(杯)、瓦器、須恵質土器、中國白瓷(瓶・瓶)、鐵鎌、鐵鋸	中世	青洋か	
376 号	S K 318	土 壤					土師器、須恵質土器、輸入陶器等、X.	中世		
377 号	S K 365	土 壤	横 九 方 形	逆梯形	102	80	66.2	土師器、瓦器(瓶)、須恵質土器、輸入陶器等、鐵鎌	中世	
378 号	S K 319	土 壤	円 形	逆梯形	100	100	72	土師器、土師質土器、須恵器、中國白瓷(瓶)、山國白瓷(瓶)、瓦、鐵釘	中世	
379 号	S K 320	土 壤	横 田 形	逆梯形	340	約 200	84.8	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶・瓶)、須恵器、土師質土器(瓶)、瓦質土器、須恵質土器、鐵鎌、輪入陶器(甕・瓶)、中國白瓷(瓶・瓶)、瓦、鐵打、鐵鋸、鐵鎌、井戸、土師器、輸入陶器等	S K 338 に切られ る	
380 号	S K 321	土 壤	円 形	逆梯形	50	50	9.4	中國白瓷、瓦		
381 号	S K 322	土 壤	圓 田 形		180	170	95.1	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶・瓶)、須恵器、土師質土器(甕)、中國白瓷(瓶・瓶)、木炭、鐵打、鐵鋸	近世	
382 号	S K 323	土 壤	不 整 形				14.3	土師器(杯・甕)、輸入陶器(甕・瓶)、中國白瓷・青 磁、瓦	中世	
383 号	S K 324	土 壤	横 丸長方 形	—	約 140	約 133	37.5	土師器、須恵器等、輸入陶器等	近世	未調
384 号	S K 325	土 壤	横 田 形		140	100	27.7			
385 号	S K 326	土 壤	横 不 整 形	逆梯形				土師器、土師質土器、輸入陶器等	中世	未調
386 号	S K 327	土 壤	横 田 形	逆梯形			23.6	土師器(杯・瓶・甕)、瓦器(瓶)、須恵器(杯)、土師質土器(甕)、須恵質土器(甕)、須恵器(甕)、中國白瓷(瓶)、瓦、鐵釘、鐵鋸	S K 324 に切られ る	
387 号	S K 328	土 壤 (井戸)	円 形	逆梯形	約 375	300	203.9	土師器(杯・瓶・甕)、瓦器(瓶)、須恵器(甕)、須恵質土器(甕)、須恵器(甕)、輪入陶器(甕)、輸入陶器(甕・瓶)、鐵鎌、鐵鋸、鐵釘、鐵鋸 掘り口・土師器(杯)、瓦器(瓶)、土師質土器(甕)、須恵器(甕)、須恵器(甕)、中國白瓷(瓶)、鐵釘、鐵鋸、灰瓦(甕)、中國白瓷(瓶)、瓦、鐵鎌	近世	同一土壌名あり
388 号	S K 329	土 壤	横 田 形	逆梯形	125	100	44.8	土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器、中國白瓷(瓶)、輸入陶器(甕)、中國白瓷・青磁(瓶)		
389 号	S K 330	土 壤	横 田 形	逆梯形	約 70	約 115	28	土師器、瓦器、輸入陶器、中國白瓷(瓶)、鐵釘	中世	
390 号	S K 331	土 壤	円 形	逆梯形	約 150	約 145	95	土師器(杯)、瓦器(瓶)、須恵器、土師質土器、輸入 陶器等	中世	

* 約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺物(土器・井戸)一覧表 ②

整理 番号	分類 番号	遺構名	形 性			規格(計測値、単位: cm)	出 土 遺 物	時期	備 考
			平	面	裏				
391 号	SK 332	上 墓 円 形 逆傾斜	約 195		222	130	土師器(杯), 中国白磁	中世	未発
392 号	SK 333	土 墓 楕 円 形 逆傾斜	233	約 80	85		土師器(杯・瓶), 黒色土器(杯), 瓦器(瓶・瓶・瓶), 陶器(瓶), 人形埴輪(瓦・瓶・瓶・瓶), 五, 鉄釘	中世	
393 号	SK 334	上 墓 円 形 逆傾斜	約 149		約 120	130			未発
394 号	SK 335	土 墓 不整円形 逆傾斜	約 200				土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 陶土器, 土師質土器(瓶), 朱漆漆器, 輸入陶器, 中国青磁, 白磁(瓶), 瓶, 瓶, 小刀, 泥んこ, 鋼輪	中世	境界地未発
395 号	SK 336	土 墓 楕大長方形 逆傾斜			270	91	上傾器(杯・瓶), 陶器, 上部質土器, 瓦質土器, 陶土器, 輸入陶器, 中国青磁, 白磁(瓶), 瓶, 銀釘, パラス製品, 錫鏡 井戸内・十神器, 瓦質土器, 中国青磁, 中国白磁, 鉄釘	近世・現代 か	同一番号の土壇あり 代々か, 井戸か
396 号	SK 337	土 墓 不整円形 逆傾斜	132	約 92	35.6		土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 酒器器, 七神器七器, 輸入陶器	中世	同一番号の土壇あり 0
							土師器, 瓦器, 旗面器, 七神質土器, 輸入陶器等, 丸		少声か, 未発 只一上場名あり
397 号	SK 338	土 墓 楕大長方形			230	135	50.5		近世
							井戸内・上傾器(杯), 上部質土器, 瓦質土器, 輸入陶器, 錫鏡一方上傾器, 旗面器, 土師質土器, 瓦質土器, 旗面質土器, 輸入陶器(瓶・瓶・瓶), 中国白磁, 青磁(瓶), 五, 鉄釘, 鋼輪		
398 号	SK 339	土 墓 四方長方形 逆傾斜	約 260	約 220	39.8		上傾器, 上部質土器, 輸入陶器等, 刀子, 鋼輪	中世	境界地 同 土壇名あり
							土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 旗面器, 土師質土器(瓶), 瓦質土器(性), 旗面器, 旗面質土器(瓦器), 陶器陶器(旗・瓶・瓶・瓶), 伊万里系(旗), 旗面, 陶器(旗), 中国白磁(旗・瓶), 五, 銀釘, 合子, 中国時代(旗), 瓶, 瓶, 銀釘, 鉄釘, 錫製品 井戸内・土師器, 大器(旗), 旗面器(旗), 輸入陶器(旗), 中国白磁(旗)		伊万里(既17世紀 後)
399 号	SE 071	井戸 円 形 逆傾斜	(井深) 70 330		76 318	170			近世
							土師器(杯・瓶), 輸入陶器等, 五		
400 号	SK 340	土 墓 不整円形 逆傾斜	約 740				土師器(杯・瓶), 輸入陶器等	中世	土壇3つに分離
401 号	SK 341	土 墓 不整円形 逆傾斜	約 275	約 200	35.3		土師器(杯), 輸入陶器等, 五	中世	井戸脇の方か
402 号	SK 342	土 墓					土師器(杯・瓶), 上部質土器, 瓦質土器, 輸入陶器(旗・瓶・瓶), 中国白磁(旗・瓶), 中国青磁(瓶), 瓦, 銀釘	中世	
403 号	SK 343	土 墓 楕 円 形 逆傾斜	約 175	約 80	61.9		土師器(瓶), 土師質土器, 輸入陶器	中世	
404 号	SE 072	井 戸 円 形 逆傾斜	(井深) 67 138		68 125	29.8	旗面器, 土師器, 土師質土器, 輸入陶器(旗・瓶), 瓶等(旗), 五, 銀釘, 鉄釘, 石政	近世	
405 号	SK 072	井 戸 楕大長方形 逆傾斜	(井深) 62 190		57 185	63.8	土師器(杯・瓶), 瓦器(瓶), 旗面器(旗), 土師質土器(旗・瓶・旗・旗・七輪), 旗面質土器(旗), 陶器陶器(旗・旗), 伊万里系(旗), 輸入陶器(旗・瓶・瓶), 耳付壺・瓶・瓶・旗, 旗面(旗・瓶), 井安(旗), 中道白磁(旗・旗・旗), 五, 銀釘	近世	
406 号	SE 073	井 戸 円 形 逆傾斜	約 275	260	60		上傾器(杯), 上部質土器(旗), 輸入陶器(旗), 中国白磁(旗), 五	中世	井戸か さK 300 の
407 号	SK 344	土 墓 楕大長方形 逆傾斜	約 172				上傾器(旗), 旗面器, 輸入陶器等		

*約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壙・井戸)一覧表 (2)

整理番号	分類番号	遺構名	形 線				規模(引脚部、半径: cm)	出 土 通 物	時期	備 考
			半 径 形	周 長 形	長	幅				
408 号	S K 345	上 壇 不 整 形 逆梯形			100	90	60.7			
409 号	S K 346	上 壇 横 円 形 逆梯形	約 268		154	89.8				
410 号	S K 347	上 壇 円 形 植物形	165	155		117.8				
411 号	S K 348	土 壇 1/4 形 植物形	約 30	約 155		34.4				
412 号	S K 349	土 壇 楕丸長方形 痘跡形	約 143	130		19				
413 号	S K 350	土 壇 项先長方形 逆梯形	約 170	約 60		4.5				
414 号	S K 351	土 壇 楕丸長方形 逆梯形	約 150	約 77		19				
415 号	S K 352	上 壇 楕丸長方形 舟底形	約 142	110		89.4	土師器、中国青磁、白磁、瓦、埴輪	中古		
416 号	S K 353	土 壇 円 形 植物形	76	67		57.9	土師32(杯・瓶)、中国青磁、輸入陶器、中国白磁(碗)、同型、瓶类、瓦	寺社 近世	戸高か 振り方は大きい。	
417 号	S K 354	土 壇 横 円 形 植物形	262	80		111	瓦器(碗)、須志質土器、輸入陶磁器、埴輪	中古		
418 号	S K 355	土 壇 円 形 植物形	154	60		6.8	刀子、ガラス製品、土師器、輸入陶器、瓶类			
419 号	S K 356	土 壇 不 整 形 植物形	約 100	約 60		9.3	上等器、瓦器、瓦足器、土師質土器、須志質土器	木原		
420 号	S K 357	土 壇 不 整 形 逆梯形	約 205	130		72.5	土師器			
421 号	S K 358	土 壇 横 円 形 植物形	210	150		41	伊万里器(碗)	近世		
422 号	S K 359	土 壇 楕丸長方形 逆梯形	約 87			7.9				
423 号	S K 360	土 壇								
424 号	S E 074	井 戸 円 形 逆梯形(舟底)	65 65	約 120		127.2	土師器(杯)、土師質土器(瓶)、江戸陶器(瓶)、輸入陶器(瓶・錠)、中代白磁(碗)、瓦、瓶类、埴輪	埋骨地		
425 号	S E 075	井 戸 楕丸長方形 逆梯形	99	約 60		19.9				同一土壤名あり
426 号	S K 361	土 壇 楕丸長方形 植物形	約 200			41.5				
427 号	S E 076	井 戸 円 形 円筒形(舟底)	60 約 250	約 205	58	169.2	上等器(碗・杯・瓶)、瓦器(皿)、須志器(瓶・杯・瓶)、土師質土器(瓶)、須志質土器(瓶)、中国白磁(碗)、輸入陶器(瓶・錠)、同安(皿)、中代白磁(碗)、瓦、瓶类	木原 同・土壤名あり		
428 号	S K 362	土 壇 円 形 逆梯形	約 150			7.0	土師器(杯)、瓦器、中国白磁	中古	S E.066 と切合?	
429 号	S K 363	土 壇 横 円 形	70	190			中国白磁(合子・蓋)	中古		
430 号	S K 364	土 壇 楕丸長方形 U字形	81	66	40		土師器(杯・瓶)、瓦器(瓶)、須志器(瓶・瓶)、同安(皿)、輸入陶器(瓶)、中国白磁(瓶)、埴輪	中古		
431 号	S K 365	土 壇 円 形 逆梯形	約 115	100		107.2				
432 号	S K 366	土 壇 横 円 形 植物形	約 124			113.3	瓦器(瓶)、土師質土器(杯・大合)、瓦質土器(瓶)、同安陶器(瓶)、伊万里器(碗)、中国白磁(碗・皿)、吉州器(透青)、分	近世		

* 約は現行の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺物(土器・井戸)一覧表 ②

登録番号	分類番号	遺物名	形態			規格(計測値、単位:cm)	出土遺物	時期	備考	
			平面形	断面形	長					
433号	SK 367	上 壇	椎 円 形	逆梯形	70		上部器(杯・皿), 深窓器(縫), 上部貫土器(縫), 固底陶器(縫), 伊万里器(縫), 輸入陶器(縫・縫), 瓦土器	近世		
434号	SE 977	井 戸	不整円形	逆梯形	(脊高) 70	約 121	130			
435号	SE 978	井 戸	椎 円 形	逆梯形	(脊高) 約 60 約 253	108	55.8	上部器(杯), 比器(縫), 深窓器(縫・縫), 上部貫土器(縫), 固底陶器(縫・縫), 輸入陶器(縫・縫), 中国白器(縫), 五代, 不整, 逆梯	近世	
436号	SE 979	井 戸	円 形	逆梯形	(分段) 64 均 150	76 約 114	146	上部器(杯・皿), 水器(縫), 深窓器(縫), 上部貫土器(縫・縫・七輪), 瓦片土器(縫), 固底陶器(縫), 灯明器(縫), 伊万里器(縫), 輸入陶器(縫・縫・縫・縫), 中山田器(縫), 瓦, 銀波, 鋼製品(瓦等)	近世	
437号	SK 368	上 壇	円 形	逆梯形	120	119	24	上部器(杯), 丸器(縫), 深窓器(縫・縫), 上部貫土器(縫・縫・六分), 瓦片土器(縫), 深窓貫土器(縫・縫), 輸入陶器(縫・縫), 中国青磁(縫), 中国白器(縫・縫・五代, 瓦, 瓦, 瓦)	中世	SE 978の井戸側水差
438号	SK 369	上 壇	不整円形	盒 園 円 形	約 190	約 422	166	上部器(杯・皿), 丸器(縫), 深窓器(縫・縫), 深窓貫土器(縫), 輸入陶器(縫), 錐条(縫), 中国白器(中世)	井戸	
439号	SK 370	土 壇	椎 円 形	逆梯形	60	60	50			SK 369と切合?
440号	SK 371	土 壇	椎 円 形	逆梯形	60	内 60		土師器(杯)		
441号	SK 372	土 壇	円 形	逆梯形	90		9.5	土師器(杯・杯・縫), 丸器(縫・縫), 深窓器(縫・縫), 土師貫土器(縫), 固底陶器, 輸入陶器(縫・縫), 中国白器(縫・縫・丸, 錐条, 逆梯)		
442号	SE 980	井 戸	円 形	逆梯形	120	約 90		土師器(杯), 丸器(縫), 深窓器(縫), 土師貫土器(縫), 瓦片土器(縫), 輸入陶器(縫・縫), 中国白器(縫・縫・五代, 瓦)	井戸あり	中世
443号	SK 373	土 壇	圓 形		30	50				
444号	SK 374	上 壇	鍋九辰方形	逆梯形	70	50		上部器(杯), 丸器(縫), 深窓器, 深窓貫土器(縫), 固底陶器, 輸入陶器(縫・縫・縫), 瓦, 上絞, 銀波, 水差		
445号	SK 375	土 壇	円 形	逆梯形	110	110		土師器(杯・皿), 丸器(縫), 深窓器(縫・縫・縫), 深窓貫土器(縫), 大絞糸, 輸入白磁(縫)	中世	
446号	SK 376	土 壇	不 整 形	逆梯形	108	109	25	上部器(杯), 丸器(縫), 深窓器(縫・縫・縫), 深窓貫土器(縫), 固底陶器(縫), 輸入陶器(縫・縫・縫)		
447号	SK 377	土 壇	鍋九辰方形		160	約 73		土師器, 瓦器(縫・縫), 土師貫土器(縫・七輪), 瓦片土器(縫), 固底陶器, 輸入陶器(縫・縫・縫, 本絞, 起立), 中国白器(縫), 瓦, 土抜, 銀波石鏡, 逆梯		
448号	SE 981	井 戸	円 形	逆梯形	150	150	197	上部器(杯・皿), 丸器(縫), 上部貫土器, 固底陶器, 輸入陶器(縫・縫), 中国白器(縫), 中国青磁(縫), 五代, 逆梯	井戸	
449号	SE 982	井 戸	不整圓形	逆梯形	165	110	18	土師器(杯・皿), 土井只(土器), 瓦片土器, 輸入陶器(縫・縫・縫・縫・縫), 五代(縫), 中国白器(縫・縫・合子), 中国青磁(縫・縫), 逆梯	中世	二層少

※約は現存の幅・長さを表す。

Tab. 6 第28次調査遺構(土壤・井戸)一覧表(2)

遺構 番号	分類 番号	遺構名	形 態		規模(計測値、単位: cm)			出 土 遺 物			時期	解 説
			子 細 形	断面形	(井筒)	160	142	約 270	162.2	上	中	
450 号	S E 083	井戸 円 形			(井筒) 291	約 270				上部器(杯、瓦、小鉢)、瓦器(筒)、鐵器、土師質土器、鐵込土器(筒)、輸入陶器(筒)、鐵釘、鐵輪、上層一二時器(侈、直)、瓦器(筒)、須恵器、輸入陶器、中國青銅、白銀(筒)、瓦器(筒)、鐵輪、下層一十時器(侈、直)、瓦器(筒)、須恵器、土師質土器、輸入陶器、中國青銅(筒)、鐵	中世	
451 号	S K 395	井戸 円 形				240	240			掘り方一土師器(杯、直)、瓦器(筒)、須恵器(筒、直)、土師質土器(筒、直)、鐵器、土師質土器(筒)、瓦器(筒)、鐵器、輸入陶器(筒、直、侈、直)、鐵、鑿、同文(筒)、中世白銀(筒)、五、鐵釘、鐵劍、半刀、鐵輪、井筒一个土師器(侈、直)、瓦器(筒)、須恵器(筒)、土師質土器(筒)、瓦器(筒)、鐵器(筒、直、侈)、輸入陶器(筒)、鐵、鑿、同文(筒)、中國白銀(筒)、五	近世	
452 号	S E 084	井戸 円 形	逆拡張		80			119.5		井筒一土師器、上部瓦器(筒)、輸入陶器(直)、中世白銀(筒、直、合子)、中國青銅(筒)、鐵釘、骨	中世	骨頭あり
453 号	S K 375	土 壤								上部器(直)、須恵器、輸入陶器、瓦	中世	
454 号	S K 336	井 戸 円 形	逆拡張		234	約 264	151					骨頭あり
455 号	S K 380	土 壤 不 積 形	粗拡張		約 450	300				上部器(杯)、須恵器、土師質土器、瓦質土器、輸入陶器(直、侈)、小口青銅、白銀	小世	
456 号	S K 383	土 壤 円 形				136	130			土師器(筒)、輸入陶器(直)、中世青銅(筒)、中世白銀(筒)	中世	
457 号	S K 382	土 壤 円 形	逆拡張		104	104	69			上部器(杯、直)、須恵器(筒)、土師質土器(直、侈)、須恵器(筒)、瓦器(筒)、須恵器(直)、瓦、鐵、鐵、輸入陶器(直)、須恵器(直、侈、直)、鐵、鑿、同文(筒)、中世白銀(筒)、所氏(筒)、井筒一骨	近世	
458 号	S K 383	土 壤 事先長方形				110	80			土師器(杯、直)、瓦器(筒)、上部瓦器、輸入陶器(直、侈)、中世白銀(筒)、青銅器(滑鉢)、瓦、鐵、鐵、鑿、鐵釘	中世	
57 号	S K 385											
125 号	S K 387											
147 号	S K 388											
168 号	S K 389											
169 号	S K 390											
175 号	S K 391											
182 号	S K 395											
212 号	S K 395											
213 号	S K 396											
202 号	S K 395											
379 号	S K 396											
390 号	S K 397											
396 号	S K 398											
397 号	S K 399											
398 号	S K 400											
399 号	S K 401											
405 号	S K 402											
422 号	S K 403											

*約は現存の幅・長さを表す。

付録 I

博多遺跡群第28次調査出土の硯について

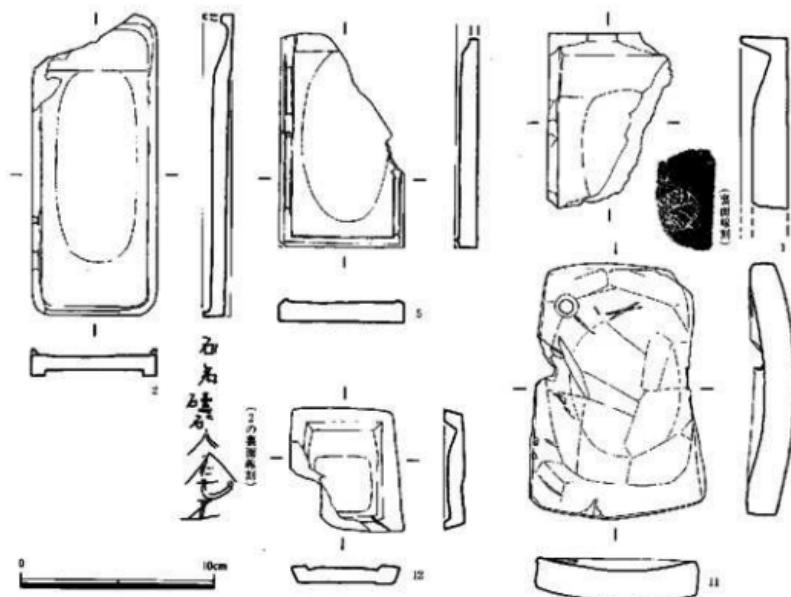
池田洋子(福岡市埋蔵文化財センター)

博多28次調査では14個の硯が出土した。すべて石硯である。陶硯については各方面で報告されてきたが、石硯については最近ようやく形態分類がなされてきたところである。折角の機会であるのでこれらの硯の分類と時期とを考えてみたい。

硯の形態としてはA～Iの9グループに分けられる。まずA類としては(8)の台形硯がある。特徴として硯頭部の縁帯幅と側面の縁とに差がないこと。硯頭部から海部への削りが鋭角である。内面に角が付いている。裏は平坦である。側面はわずかに上へ開く傾斜をもっている。以上の事から水野分類の台形硯Ⅰ A c - ①に、又横田分類のⅢ Aに属する。このタイプは博多遺跡群第35次調査、御笠川南条坊遺跡、大分県佐世保山城跡等があり、14世紀を代表する形態である。B類としては(9)がある。内面が角をもち、側面がわずかに上へ開く。裏は平坦である。方形硯Ⅰ A c に属し、北九州市長野D遺跡、博多遺跡群高速鉄道関係祇園町工区、御笠川南条坊遺跡等があり、14世紀後半～15世紀後半頃の時期が与えられる。C類としては(2)がある。内面が隅丸で、側面は垂直、裏は中国の太子硯を模して、硯頭より3cmだったところより幅0.5～0.8cmの脚を削りだしている。長方形Ⅰ Baに属し、16世紀以降に比定される。有脚の例としては大宰府史跡70次調査があるが、これは裏面をU字状に削ったものである。本調査の(6)もU字状に脚を作っているが破片の為形態分類ができない。D類としては(12)がある。中が隅丸で、側面がわずかに傾斜し、裏は平坦である。長方硯Ⅱ A c に属し、15世紀前半以降と思われる。E類は数が多く(1)、(3)、(4)、(7)、(12)が含まれる。中が隅丸、側面は垂直、裏面は平坦である。長方硯Ⅱ B c に属し、15世紀に比定されるものと思われるが、水野氏が類別として掲げられている朝倉氏史跡35次調査のような装飾があるものではなく、簡易なものであり今後検討を要する。F類としては(5)がある。内面に角をもち、側面は垂直、裏は平坦である。側面より3mm内側に縁帯を巡らせているので、蓋が付くものと思われる。長方硯Ⅰ B c に属し、16世紀以降幅広く見

(単位:mm)

番号	出土地点	種類	形態	長	幅	厚	石	材	内面形態	側	面	裏
(1)	SK 018	石 硯	長 方 硯	現存 5.5	現存 3.6	2.0	真	岩	馬先	垂直	平	面
(2)	SK 019	石 硯	(隅丸) 長方硯	16.6	6.25	約 1.4	小豆色凝灰岩	円	丸	垂直	有	縫
(3)	SK 097	石 硯	長 方 硯	12.2	5.8	現存 0.94	真	岩	馬先	垂直	平	面
(4)	SK 118	石 硯	長 方 硯	16.4	8.1	2.3～2.4	真	岩	満丸	垂直	平	面
(5)	SK 118	石 硯	長 方 硯?	現存 10.9	6.4	現存 0.95	小豆色凝灰岩	角	半	垂直	平	面
(6)	SK 121	石 硯	長 方 硯?	現存 6.3	現存 5.9	1.65	小豆色凝灰岩	ハ	等	不規	U字断	
(7)	SK 131	石 硯	長 方 硯?	現存 3.9	7.25	1.95	真	岩	馬先	垂直	平	面
(8)	SE 071	石 硯	台 形 硯	現存 8.7	現存 6.3	2.2	小豆色凝灰岩	角	縫	斜	平	面
(9)	SD 02	石 硯	長 方 硯	現存 3.6	現存 1.9	1.35	小豆色凝灰岩	角	縫	斜	平	面
(10)	SD 06	軽田側		11.15	8.1～9.3	1.1～1.8	滑	石				
(11)	トレンチ	石 砚	方 形 砚	6.2	5.2～5.4	0.7～0.8	滑	石	角	縫	斜	平
(12)	石 壁	石 砚	長 方 砚	現存 15.6	7.3	2.8～2.9	中粒砂岩	馬先	垂直	平	面	
(13)	包含層	石 砚	長 方 砚	現存 7.15	6.8	2.1	中粒砂岩	馬先	縫	斜	平	面
(14)	包含層	石 砚	傳 円 砚	12.3	最大 5.75	1.3	真	岩	馬先	垂直	平	面



博多28次調査出土窓実測図 (1/3)

られるようである。G類としては(4)の梢円窓がある。側面は垂直、裏は平坦である。梢円窓は12世紀末より14世紀に主流となるが、本窓は窓頭部の削りが直角的な事、梢円の幅が狭い事から、更に時代が降るものと思われる。H類として(1)がある。滑石製窓で、大宰府史跡33次、45次調査に類例がみられる。小形で手持ちで使うものである。縁帯の割付けに0.6~1.1cmの幅があり、角に切込みすぎがあること等調整は稚拙である。側面は上に向って広くなり傾斜角が大きい。I類として、(10)の滑石製石鍋の再成品がある。海部は設けられていないが、中央部に磨滅痕と墨痕と思えるものが見える。石鍋を再利用した滑石製窓は11世紀後半頃から見られ、日本で窓材が採石された12世紀末~13世紀初頭頃まで作られている。

次に石材に関しては、頁岩、凝灰岩、中粒砂岩等がみられ、(1)、(3)、(4)、(7)、(10)は対馬の若田石、(12)、(13)は天草石と思われる。中でも目立つのが小豆色の凝灰岩で(2)、(5)、(6)、(8)、(9)があり、その他石組井戸から長さ22.7cm、幅8.5cmの窓の素材が出土し、荒掘の段階で割れた為製作を中止し捨てられたものと思われる。同じく長さ5.4cm、幅4.9cmの台形窓の頭部も製作途中で発見された。その他多くの中・近世の造構より小豆色凝灰岩の端材が出土している。中にはノコ引きの線が見られるものもあり、当地で作窓されていたようである。

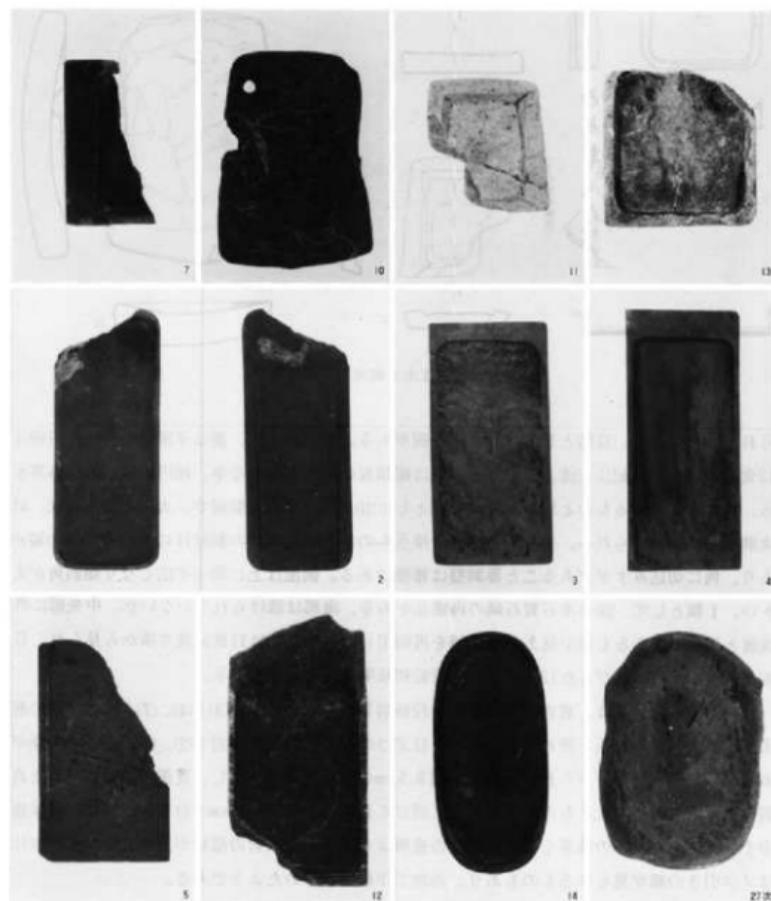
博多28次調査で目を引くのはおびただしい数の中国産青磁・白磁碗であり、墨書き土器も數多く、145点出土している。中世博多の対宋貿易の輝しい名残りであろうか。今後、これらの置物と硯との関係、石材の種類、小豆色凝灰岩の硯の分布等を研究課題としていきたい。

参考文献

水野和雄「日本石硯考—出土品を中心として」考古学雑誌第70巻第4号 1980

横田賛次郎「福岡県内出土の硯について一分類と編年に関する一試案」九州歴史資料館研究論集9 1983

玉口時雄「軒用硯考—墨書き土器研究への考察—」『古代探査』尾口宏先生古稀記念考古学論集 早稲田大学出版部



第28次調査出土硯写真(第27次調査出土の硯は須恵器の軒用硯である)

付録 II

博多遺跡群第28次調査出土中世人骨

中橋 孝博・永井 昌文

(九州大学医学部解剖第2講座)

1985年5月～8月、福岡市博多区御供所町において、ビル建設にともなう考古調査（博多遺跡群、第28次調査）が行われ、馬等の獣骨と共に、1体の人骨が出土した。保存状態が悪く、残念ながらその形質を十分には窺い得ないが、当地では数少ない中世人資料であり、以下、知り得たところを報告しておく。

（検出状況）溝状のくぼみの中から、馬等の獣骨類や土師器等と共に検出されたもので、頭蓋1個が後頭部を上にした状態で出土した。他にこの遺体のものと思われる四肢骨片も見出されたが、保存状態が悪く、取上げは不可能であった。この四肢骨に近接して獣骨が見出され、墓壙も検出されなかったこと等から、埋葬遺体ではなく、他の獣骨類と共に溝に流れ込んだものと推察されている。

（所属時代）頭蓋に近接して出土した土師器や他の考古学的所見から、12世紀後半頃の人骨とみなされている。

（人骨所見）観察可能な遺存部位は、頭蓋冠部に限られ、顎面部は歯小片を残して消失している。（図参照）

眉間部の膨隆、鼻根部の陷凹は共に弱く、側頭線の粗様度も弱い。また、主縫合の外板にはまだ開離している部分がみられるが、内板はほとんど癒合しており、熟年に達した女性人骨とみなされる。

計測はほとんど不可能だが、頭蓋の上面観において、頭蓋最大幅、最小前頭幅が共にかなり狭い特徴が窺え（それぞれ約130mm・約82mm）、頭蓋最大長は180mm近くに達するので、その頭型はかなり長頭に傾くものと推察される。

また、鼻根部はかなり扁平で、その弯曲示数は88.9を示す。（表参照）

以上、当女性人骨には、長頭性と扁平な鼻根部といった特徴が見出され、これらはいずれも從来より中世人骨の特徴として指摘されていた点に合致するものである。同じ博多区の上呉服町から出土した2体の中世人骨（中橋・永井、1986）もやはり長頭性が強いので、今回の資料を加えて、これまで旧博多市街区内から出土した中世人骨3体はいずれも長頭性をその特徴としてもつことが判明した。古くから港町、商都として栄えた博多の住人がどういった形質をもつ人々であったのか、特にその頭形は、同じ博多の近世人（中橋、1987）や他地方との関係上、

非常に興味深い問題点を含んでおり、今後はその長頭性の程度と、時代変化をみきわめる必要がある。現状では（今回の資料を含めて男性1、女性2）まだまだ統計的に有意の議論は不可能だが、少しづつでも資料が蓄積され、いずれそうした問題の検証が可能になることを期待したい。

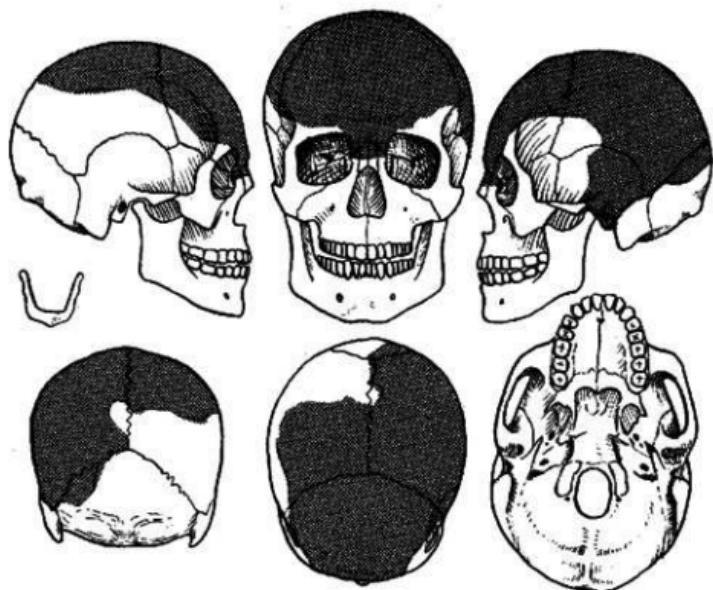
（当人骨を研究する機会を与えて下さった福岡市教育委員会の諸先生、諸士に感謝致します。）

文 獣

中橋孝博・永井昌文(1985)「山口県下関市吉母浜遺跡出土の弥生・中世人骨」吉母浜遺跡、下関市教育委員会。

中橋孝博・永井昌文(1985)「博多遺跡群、第26次調査出土中世人骨」福岡市埋蔵文化財調査報告書第144集、福岡市教育委員会。

中橋孝博(1987)「福岡市天福寺出土の江戸時代人頭骨」人類学雑誌、95。



頸蓋骨遺存部位

計測値の比較(女性)

博多第28次調査	吉母浜(中世)	
	n	M
M.1 頭最大長(175~178)	26	176.4
M.8 頭最大幅(130)	26	132.0
M.8/1 頭長幅示数(73~74.2)	26	74.9
M.9 最小前頭幅(82)	25	91.4
M.50 前眼窩間幅 16	25	17.8
F 鼻根横弧長 18	25	19.8
50/F 鼻根弓曲示数 88.9	25	90.3
M.57 鼻脊最小幅(8)	24	7.7

博多 VII

福岡市埋蔵文化財調査報告書第167集

1987(昭和62)年3月31日

発行 福岡市教育委員会
福岡市中央区人名2 10-29
福岡ようきビル内

印刷 福岡印刷株式会社
